

総合研究

第9号

2021年3月

講演録

- コロナ禍の中の日本の政治 橋本五郎
- オリンピックまで一年を切った日本の政治・外交・
経済・そして秋田 ー大混乱になるか 日本の政治ー 福岡政行
- ー不在の日本ー 福岡政行
- コロナショック・リストラショック
そして菅新総理誕生の背景 ー解散・総選挙はあるのかー 福岡政行

研究論文

- 江戸初期勧善の文学（一） 花田富二夫
- 大学生の散文理解における知識利用
ー誤信念理解と類推を規定する作業記憶ー 光田基郎
- 修辞判断における
固有情報の使用に及ぼす認知負荷の影響 瀧澤純

研究ノート

- 人と想像力ー『鬼滅の刃』の死生観ー 橋元志保

目 次

講演録

- コロナ禍の中の日本の政治 橋 本 五 郎 (1)
- オリンピックまで一年を切った
日本の政治・外交・経済・そして秋田
— 大混乱になるか 日本の政治 — 福 岡 政 行 (19)
- 不在の日本 — 福 岡 政 行 (39)
- コロナショック・リストラショック
そして菅新総理誕生の背景
— 解散・総選挙はあるのか — 福 岡 政 行 (61)

研究論文

- 江戸初期勧善の文学 (一) 花 田 富二夫 (79)
- 大学生の散文理解における知識利用
— 誤信念理解と類推を規定する作業記憶 — 光 田 基 郎 (95)
- 修辞判断における固有情報の使用に及ぼす
認知負荷の影響 瀧 澤 純 (105)

研究ノート

- 人と想像力 — 『鬼滅の刃』の死生観 — 橋 元 志 保 (115)

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「コロナ禍の中の日本の政治」

講師 読売新聞社特別編集委員
ノースアジア大学 客員教授
ノースアジア大学 教育諮問会議委員 橋 本 五 郎

司会 ノースアジア大学総合研究センター長
本学経済学部教授 藤 本 剛

日時 令和2年10月18日 午後1時30分～3時00分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館271教室

藤 本 本日は2020年の公開講座ということで、橋本五郎先生にお越しいただきました。“コロナ禍の中の日本の政治”と言うタイトルで、お話しいただきます。日本の政治も大きく変わろうとしています。秋田にゆかりの深い首相が誕生したということもございますが、橋本先生は本当に秋田を思ってください、そう言うお話を毎回聴かせていただいております。今日も大変楽しみでございます。では、よろしくお願い致します。

橋 本 秋田は半年ぶりです。前は4月3日、秋田放送の新社屋が出来たということで特別番組があり、出演するため来ました。それ以来、何回か来ようと思ったのですが、東京からコロナを持って来たと言われるのではないかと控えていました。実は私、近くに二人陽性患者が出ました。ミヤネ屋で、隣に座っていたある弁護士が陽性になり、連絡がきました。一番怖いのは保健所から「あなたは濃厚接触者だ」と言われることです。これをやられるともう身動きがとれなくなる。ただ、アクリル板を介して隣にいたので「濃厚接触者ではありません」と保健所からは言われました。でも家ではだめです。トイレはその日から別。二階にするか一階にするか、度々上がって行くのはいやだったので一階にしたのですが、タオルも別、ご飯は私の分だけお膳で小さく取って他に触らせない。完全にコロナ扱いで、何もなくてこうですから、まして濃厚接触者になったり陽性になったりすると、もう大変ですね。スイス大使になった私の読売での一年先輩が、この前ようやく帰って来ることが出来た。一時帰国ですが、14日間は外に出ては駄目で、空港からも電車等は駄目で家族が迎えに行かなければならない。全く身動きがとれない。コロナの怖さは、それによってその間何も出来なくなってしまうことです。

テレビもリモートで、別の部屋や自分の家からやる。楽は楽なのですが、その場の、スタジオの雰囲気分からない。例えば、私がこういうことを言いたいというときがある。そうすると、加藤浩次も宮根誠司も辛坊治郎君も目を合わせると分かる、言いたいなというのが。そうすると指されるわけです。ところがリモートでやっていると分からない。その場の空気が分からないのはやりにくいですね。それから割り込みがなかなか出来ない。その後だんだん慣れて割り込みも出来るようになったけれど、リモートでは限界がある。ただ、体がとても楽になった。講演もなければ、テレビ局の行き帰りだけだから、家にいる時間がすごく長くなる。そこで、家の片づけも出来る。二つ目は、懸案だった本を出そうと思い、この間、二冊出しました。ひとつは『新聞の力』。新聞は、例えばコロナの問題についてどう報じてきたか。そこで何が分かったか。また、元号はどう決まったのか。新聞はどう報じてきたかということ、それを中心に、

新聞はどう作られていくのかも含めて、『新聞の力』というのを出しました。それからもう一冊は『虚心に読む』という、私の二冊目の書評集です。読売新聞で二十数年書評をやっているのですけれど、『「二回半」読む』に続く二冊目の書評集です。それから、かねてから疑問に思ってきた空海について調べました。空海という人は天才的な人だった。遣唐使として困難に遭遇しながら唐に渡って、わずか三か月で中国の僧侶さえ出来なかった密教の極意を体得するのです。何で彼はそういうことが出来たのだろう。いろいろ調べてみると、結論的に言えば、若いときに徹底的に努力した。頭がいいのはもちろんだが、考えてみれば単純なことで、人一倍努力した。空海に関する本をいろいろ読んで、その道の専門家はあたりまえと思っているかもしれないが、私にとってはすごく疑問だったことが分かった。そういうことをやることが出来ました。

その意味でコロナ様々なのです。でも不安で、毎日、三回体温を測っています。一回でいいのですが、やはり怖いのです。そもそも低いので、今朝も測ったら34度5分でした。冷血人間みたいに思われるけれど、高くなれば人に迷惑はかからない。それだけ敏感になっている。コロナはインフルエンザよりも感染力が低いはずなんです、人に迷惑をかける点でこれほどのものはない。

インフルエンザは世界的に流行するのですが、日本の場合、1918年から1920年にかけて、一説によると75万人の日本人が亡くなっています。1918年の10月から翌年の春まで、また1919年の12月から翌年の春まで、前流行と後流行といましたが、この1918年は第一次大戦の年です。世界のあちこちに展開するアメリカの兵士が持っているのです。世界が大変だったし日本も大変だった。今までの説では死者は45万人だったのですが、綿密に計算した人がいて、それによると外国にいた日本人も含めて75万人に上りました。

その時政治は何をやっていたか。当時は原敬内閣です。日本で最初の政党内閣です。平民宰相といわれた岩手県出身の原敬が首相だった。日本に民主主義が訪れたと言われた時期です。速水融という慶応の歴史人口学の人を書いた『スペインインフルエンザ』という本があるのですが、地方紙の記事がいろいろ取り上げられている。これによると例えば長野県では棺桶がなくて死体を茶箱を使ったり野積みしたりするなど、すさまじいものだったようです。また、今と同じで「一生懸命手洗いしなさい、うがいしなさい。マスクをしましょう」と言っている。勿論ワクチンも無いし、何ら手の施しようもなかった。私が注目したのは、その時に、時の総理大臣は何をしていたかということでした。そして『原敬日記』という、政治家の日記のなかでも最も詳しい日記を調べてみました。毎日のことがきれいな文字で書かれている一級の資料です。で、その日

記は一週間分、メモしたことが筆でキレイにまとめられている。その原敬日記にインフルエンザのことがどう書かれているか、いろいろ調べてみました。3カ所しか書かれているところがありません。それも、自分がどうも流行性感冒（スペイン風邪という）にかかった、と。かかった状態で天皇に会えばうつしてしまうから参内できない、今回は行けない。で、今度は直ったと、三回しかない。人がこれほど死んでいるというのに、日記に言及が無いのです。当時は米騒動があったり、第一次世界大戦後の好景気で沸いたりしていた。だからその方に気を取られたということがあったでしょう。しかし、これだけの人が亡くなっているのに総理大臣の日記にそれが出していないというのは、それだけ人の命が大切にされていなかったということなのです。私に言わせれば、今のトランプみたいなものだ。政治に問われるのは何かというと、それは結果なのです。どれほどの人を死なせたか。どれほどの人を苦しめたか。そのことが問われるのです。

だから今の安倍内閣ですが、むしろ褒められてしかるべきなのです。初動の対応が悪かったとか、いろいろ言われている。けれど、これだけ、アメリカの百分の一位の感染者でしょう。死者もヨーロッパ先進国に比べても格段に少ない。褒められていいのに何で褒められないのか。安倍さんが辞める前に『中央公論』で対談をしたときに、「褒められてしかるべきなのになぜ褒められないか」と聞いた。本人の体調も少し悪かったのでしょう。「私の不徳の致すところですよ」という答えだった。それに対して「それだから駄目なんだ。不徳の致すところ、で片づけられてはいけません。なぜそうなるのか。自分たちはちゃんとやっているはずなのに、それが評価されていない。なぜそうなのかを分析しなければ何の役にも立たないでしょう」と聞いた。そうしたら「確かにおっしゃるとおりです」という答えでした。発信が足りない、記者会見をなかなかやらなかった。理由は分かる。桜の問題があったから。桜でいろいろ聞かれるから、記者会見をするのがいやだった。桜の問題は後で話すとして、その後水曜日にミヤネ屋という番組で聞かれたので、「最高指導者は仁王立ちで国民を守る姿勢を示さなければいけない。それが足りない」と話したら、宮根氏が「そういう話は総理にしてくださいよ」と言う。また帰りに羽田から家に向かう途中で、大学の同級生から、「おまえ、今日いいこと言った。しかし本人に届いていなければ仕様がなから、本人に電話しろ」と言う。その夜、電話しました。出たくないのは分かるけれど、こういう時こそ国民に直接呼びかけなければいけませんよ。フランクリン・ルーズベルトという、第二次世界大戦当時のアメリカの大統領は炉辺談話というのをホワイトハウスでやった。「炉

辺談話の前例があるから、首相官邸から直接国民に呼びかけたらいい。記者会見をやらなくても、国民に気持ちが伝わる」と言った。すると「私もやりたいたいんだけど、秘書官が反対するんです」と言う。私が反論すると「分かりました。ただ、秘書官には連絡してください」と言うので、電話しました。その翌日、イベントの一斉中止、金曜日には学校で一斉休校。そしてようやく土曜日に記者会見をやった。1回目は途中で打ち切ったけれど、翌週は打ち切らなかったですね。これが大切なのですよ。

昨日、中曽根さんを偲ぶ会がありました。ずっと延期されていて、2月の予定だったのがコロナで出来なくて、ようやく昨日行われて、私も行ってきました。偲ぶ会は歴代首相、やっているのですけれど、橋本龍太郎、宮沢喜一の時より2千万円多くなって、9千万円になっている。こんな金使う必要があるのかと批判された。しかも、文部科学省が国立大学とかに弔意を示してほしいと、強制ではないけれど通知を出した。これはおかしい、公権力の乱用だと非難された。しかし官房長官の説明によると、やはりコロナ対策でお金がかかったという。しかも、雨の日ということもあって1400人のところ640人しか人が来なかった。人の心は薄いものだとつくづく思った。席はガラガラ。限られた人しか招待しないわけです。席は決まっている。にもかかわらず来ない人がいる。何だと、中曽根ファンの私としてはそう思った。総理大臣を勤め上げた人は敬意を持って見送らなければならないのは当然のことです。アメリカでもそうです。ケネディ空港があるでしょう。ケネディの名が空港に付いているでしょう。民主党の支持者も共和党の支持者もそこから乗っている。それでも違和感はない。道路なんか皆そうですよ。もちろん総理大臣にも問題のある人はいますが、総理大臣になったからには一党、一会派の総理大臣ではなくて、日本の総理大臣だという気持ちでやってもらわなければならない。

三種町にある図書館、橋本五郎文庫をつくる時、誰に看板の字を書いてもらおうかということになり、私は家内に相談しました。自分だったら一番尊敬できる総理大臣経験者に書いてもらおうと思っている、と話したところ、家内が、「中曽根さんでしょ」って言いました。夫婦の間で初めて意見が一致しました。それで、中曽根さんをお願いしました。中曽根さんは「光栄です」と言って、縦横いろいろ書いてくれました。ところが、私は「橋本五郎文庫」と書いてもらおうと思っていたんですが、中曽根さんが書いてきたのは「橋本五郎記念文庫」。記念というのは死んだ後、つけるものなので困りました。でも、看板は字をそれぞれ拡大して彫るので、その時「記念」を取ればいいから問題解決ですが、看板とは別に大きな書を額に入れているんです。それには橋本五郎記念

文庫とある。削るわけにはいかないからそのままにしてあるんです。これは「記念」に取っておこうと思いました。ちょっと座布団を一枚ぐらいですかね・・・

私は戦後の総理大臣を三人挙げるとすれば、吉田茂、佐藤栄作、中曽根康弘と書く。順番を付けるとすると文句なく、中曽根、吉田、佐藤と書くと言ってきました。吉田にはマッカーサーという大変な権力者が背後にいた。マッカーサーを利用していろいろなことをやるわけですよ。占領された人間が占領者を利用してですよ。佐藤栄作には高度成長という時の味方があった。何もしなくても発展するという時だった。ところが中曽根には何もない。何もないところでない。田中角栄が圧倒的な力を持っていた。角さんが、無理難題を突きつける。だから内閣が出来た時には田中曾根内閣、角栄内閣、ロッキード内閣などという見出しが踊るんです。そういうなかで出発するんですよ。ですから、吉田、佐藤とは格段に違う。だから私は中曽根を一番にするんです。その人が亡くなったのだから私はそれなりの礼儀があつていいと思う。九千万円は、それは遣いすぎと言う人がいるかもしれない。しかし、サッチャーにしろレーガンにしろ、亡くなった時に莫大な金をかけている。私はそれぐらいの余裕というか礼儀があつてもいいと、そう思うのです。だからすごく腹立たしい。百一歳。最期の最期まで、ベッド上で本を離さない。そういう人でした。そういう人を追悼する会までが、金が高いのと議論している。何だか心が狭いなと、私は思っています。

昨日、弔辞を読んだのが菅義偉さんだった。この菅内閣、私は公言していた。菅さんが総理になれるのはただ一つ、安倍晋三が途中で辞める時だと。それしかあり得ないと。ただ私は、安倍さんが途中で辞めることがあり得ると思っていなかった。辞める日の前の夜、ちょっと心配になって安倍さんに電話した。出なかったね。いつもはその時出なくても、すぐかかってきます。でも出なかった。麻生太郎さんが電話しても出なかった。もう心に決めていたから、出ちゃうといろいろ説得されちゃうから。つい二三日前、ご苦労さん会をしました。結構日本酒も飲んでいて、これなら辞めない方が良かったかなと、本人言っていました。私は未練を残すぐらいの方がいいんだと話しましたが。安倍内閣はどんどん支持率が下がって行く。桜、モリカケ、コロナも日本はまずかったと、もういわれちゃっているなかで菅さんは引き継ぐわけです。ものすごくマイナスなはずでしょう。ところが自民党総裁選で圧勝した。議員票で圧勝しただけでなく、地方票でも圧勝した。よく派閥の論理で選ばれたと言われますが、本人が言うには、私は派閥から選ばれたわけではありません。私が手を挙げたのです。派閥は後から付いてきたのです。全くそのとおりだ。だから、自分は派

閣とは全然関係ないと言っている。圧勝した背景には何があったか。一つは私が言っている安倍辞任効果です。安倍さんが辞めたことで安倍内閣の支持率は20ポイントも上がった。これは辞め方が悪くなかったことがあります。自分の病状をちゃんと説明しました。政治家が自分の病気をあれだけ詳しく説明することはありませんよ。9月に人事をしなければならぬが、その人事をやるにあたって正常な判断が出来ないようでは迷惑をかけるわけだから、今辞める、ということ正直に言いました。だから上がったのです。安倍第一次内閣の時には、投げ出したと批判されました。後から聞いて、私は何で慶応病院で記者会見しなかったかと思いました。私なら救急車で慶応病院に運ばれ、病室から辞任表明するのです。私は辞めたくない。けれどこの病気はどうしようもない。これ以上やったら迷惑をかけるので、辞めます。どうか許してくださいと言います。あれを病院からやっていたら全然違っていましたよ。今度は完全にそれをやった。自分の病気を全部説明して、今後のコロナの対策も決めたくて辞めたのです。だから20ポイントも上がったのです。上がると同時に、今まで散々安倍を批判していた人も病気に対してあまり言えない。と同時に、冷静にこの7年8か月は何だったのかということを考えるようになった。そうすると、いろんなことやりましたね。賛否両論あったけれど、この内閣ほど懸案を処理した内閣はないんです。そうやってみると割合公平に評価が出来るようになる。しかも、桂太郎を抜いて憲政史上一番長い政権だった。3188日。私この前、ご苦労さんというので万年筆を贈った、安倍さんに。それに3188と書いた。そんなひどい内閣だったら3188日も持ちませんよ。と言うことはわりかし公平な評価がそれでなされることになった。だけれども、この内閣がいろいろやっただけで、総理大臣だけでやれるわけではない。それは菅という官房長官が居たから出来た。こういうことになるわけです。その菅が、今立とうとしている。だから、あれだけ病気も正直に言って自分が辞めると言ったこと、それによって支持率が20ポイントも上がるということがなければ、菅さんの圧勝はなかった。これは安倍辞任効果です。

二つ目は、非常時効果です。今は、ある意味で非常時です。コロナと闘っていかねばいけない非常時です。その非常時に、誰に託せばいいのか。経験していない人に託すのは不安で仕様がな。批判はあるけれど、やって来た人にやってもらうのが一番安心ではないかと自民党員も思った。よく言うじゃないですか。アメリカの大統領。一番強いのは戦争をやっている時ですよ。替えるわけに行かない。大統領のもとで結束しなければいけないからです。親父のブッシュが一期しかできなかったのは経済政策を誤ったからです。平常時は

人々の暮らしが良くならなければ駄目ですから。しかし非常時は今までやった人、慣れてる人が安心できるのです。この非常時効果は、私は大きいと思う。

三つ目は生い立ち効果です。自民党総裁選に出馬表明する時に最初に菅さんは何と言ったか。私は雪深い秋田で生まれて、農家を継ぎたくなくて東京に出てきた。しかし大学に直ぐには入れなくて、2年間、工場で働いて、2年後法政大学に入ると、あれやられると駄目なんですよ、田舎出身は。何人かから電話があった。感動したという電話。ふるさと納税やったとかいろいろ実績はありますけれど、演説は非常に大きかった。私も誤解していた。彼は古里を捨てたと思っていた。だって神奈川から出たんだし、11年間神奈川でずっと秘書やっていたんですから。でも彼には古里への思いがあった。この演説は大きかった。考えてみれば東京に住んでいる人だって地方から出てきて居るんだから、私は菅さんの姿は戦後日本人の自画像だと言っている。親も寝ないで働いて、仕送りして、そして子どもをともかく大学に行かせて、出来れば良いところの会社に勤めてもらう。そのために、親は自分を捨ててやってきたわけですよ。そして、子どもはそういうことが分かるから、怠けたり出来ない、自分に言い聞かせてきた。多くの人はそうだったと思う。それを彼自身が体現しているということなんです。鈴木宗男という、北海道出身の議員が居るでしょう。彼を大学に入れるために親は牛一頭、馬一頭売ったというんです。そうやって本当にみんな苦労してやって来た。地方から子供を大学にやるということは大変なんです。東京にいる人、そこから通う人と比べて。それを皆やって来ている。それをモロに出されたのでは参っちゃうね、これは。菅さんには派閥を超えて支えている若手の人たちが結構いました。その人たちが古里を前面に出そうとした。雪の深いところに、菅さんが居るような写真を探したのだけれど、何にもなかった。ということだが、古里の強調はまんまと当たった。生い立ち効果によって、地方で強いはずの石破が敗れたのです。

私は『官房長官と幹事長』と言う本を、青春出版社と言うところから、一昨年出しました。その中で、菅がなぜ戦後最強の官房長官になり得たかを書いたのです。先ず一つ目は、安倍晋三との間に隙間風がないことです。歴代の官房長官ではナンバー1は後藤田正晴氏と思ってきた。中曽根内閣の官房長官でした。私は識見、経験、決断力、統率力でダントツだと思っていた。しかし菅は完全に後藤田を抜いたと私は思う。なぜなのだろう。官房長官というのは総理の女房役と言われます。この亭主と女房の間には隙間風が吹いていなかった。菅はひたすら安倍のためにやった。官房長官になると大概は自分のためにやるんですよ。というのは、官房長官をやった後何をやるか。自民党の三役ですよ。

出来れば幹事長。そしてその後、総理を狙うわけです。そうすると、官房長官になったとたん自分のためにやっちゃう。菅はそう言うところを全く見せなかった。心の中ではあったかもしれないけれど見せなかった。ナンバー2に徹した。これが二つ目。自分が首相を脅かすような存在とは見せなかった。これはなかなか出来るものではない。この強さですよ。三つ目。失言しない。失言したとしたら、一回位しかなかった。「コロナは東京問題だ」と言った。小池百合子が怒った。あれくらいのもんです。慎重なんです。こういうのを私たちは「ブリキのパンツ」と言います。ブリキのパンツをはいていると襲われないという。口が堅いという。面白くもおかしくもないけれど、失言で足を取られることがない、ということがありました。それから、省庁を掴んでいた。従わない人間はポストを替える。政府の方針として決まったことをちゃんとやらない官僚は飛ばして当然です。そうすると強権だとか、必ずそういうことを言われる。もちろんその前に、ちゃんと役人の言うことも聞かないと駄目ですよ。聞いた上で決めた。決めたことにはちゃんと従ってもらわなければ困るんです。国民から選ばれた政治家として、そこはガツツと掴んでいた。そこからまた問題になるのは、強すぎると忖度しちゃう。言われる前にこうじゃないかと思って遠慮しちゃう。そういう問題は出てくるが、それはやりよう。そういう意味で、中央省庁を掴んでいた。

官房長官にはいろんな役割がある。総理の女房役であり、官邸を治めなければならぬ。さらに霞ヶ関、中央省庁をちゃんと押さえなければいけない。それから与党との間、自民党との間、公明党との間をうまくやっていかなければいけない。当然ながら野党との間もうまくやらなければいけない。いろんな役割があるんですよ。それから内閣のスポークスマン。一日2回、記者会見を開いて私たちはこんなことを考えています、ということをやらなければならぬ。だから官房長官をやっていると、一つの大臣をやるよりもはるかにいろんなことを知ることが出来る。菅氏は酒を飲まない。我々は酒を飲むので、人の話を覚えていないけれど、彼は飲まないから覚えている。総理番日誌を見ていけば分かるでしょう。朝、キャピトル東急ホテルの折り紙というところで食事をして、秘書官から説明を受けたり、他の人と会ったりして話を聞くわけです。晩飯でもいろんな人の話を聞く。それが大事な情報源で、その聞いたことによって、例えば省庁から来る情報も一面的で、違っているのではないかということが分かるわけです。

だが、私にいわせれば、官房長官時代それをずっとやってきて、今も同じことをやっているのは問題です。総理大臣というのは、それをある程度人に任せ

ながら、もっと大きいことを大所高所で判断しなければならない。それを全部、自分がコマネズミのように走り回ってやっているという感じなのです。これは途中でちょっと変えなければいけない。新しく首相補佐官になった柿崎明二君、横手高校の出身です。私、柿崎君に言ったんだけど、今、いろんな人と会っている、これから改革をやるために、先手を打つように会っている。携帯電話料金の引き下げ、オンライン診療だとか、デジタル改革だとか、みんなその道の人とやっている。だけれども、気を付けなければいけないのは、それぞれが利害を背負っている。例えば詳しくれば詳しい人ほど、その人が自分の本業とかかわりあったり、真っ白の人はいないのだから、利害が絡まっているわけです。そうすると、あらぬ疑いをかけられてしまう。その危険はあるわけです。だから、最高指導者が個別の企業の人とやるのは気をつけなければいけない。他の人からの嫉妬も絡む。何であの人の意見聴いてばかりなのか。そうすると、他の人を敵に回しかねないわけです。だから公平にやらないといけない。例えば東日本大震災の時に、津波にやられたところをどうするかという話があったんです。太平洋側にね、ずーっと太陽光パネルを敷き詰めるという話があった。私、おかしいと言った。だって海岸を太陽光パネルだらけにするのが日本の景色ですか。そう聞いた。唱えている人は太陽光パネルをつくっている会社と関わりがあるのです。頼まれてやっている。これは危険です。個別にばかりやっては駄目です。誰かを間に入れて話を聞く位にしないと。最高指導者なのだから。今は、この改革、走り出さなくてはならないからやっているのでしょうけれど、ここに私はちょっと危険さを感じる。

菅内閣の支持率は戦後統計を取るようになってから三番目だった。一番は小泉で、これはダントツだ。87%だから。二番目は鳩山由紀夫。高いからと言って直ぐ駄目になることもあるし、分からない。安倍を引き継いで、あまり高く出ないのではないかと思っていた。ところが、三番目ですよ、鳩山と並ぶ位に。どうしてなのか。私はそれを、「国民目線の各論効果」と言っている。この内閣、期待できそう。公約して着々とやっている。携帯電話の値下げの問題、デジタル化、さらに細かくなつてはんこ止めようとか、それからオンライン診療だとか、不妊治療に公的保険の適用とか、徹底して各論で来ている。普通、総理大臣というのはそうじゃない。大きな構想を打ち挙げる。例えば田中角栄は日本列島改造論を唱えた。これは、北海道の最果てにいても、東京のど真ん中にいても、同じ暮らしが出来る。そのためにはどうしたらいいか。新幹線を全国に張り巡らす。高速道路を全国に張り巡らす。そうすることによって今日北海道で採れたものが、夜、東京の食卓に並んでいると。そういう趣旨なんです。

大平正芳は田園都市国家構想でした。みんな都会になればいいものじゃない。それぞれの地方に自分の家の周りに田んぼがあって、働いているところは都市部。だけれど、20分もすれば自分の家に着く。そうすると、風鈴や虫の音を聞いて、静かに眠りにつく。そういう田園都市、それがいっぱい日本にある。そういう落ち着いた国にしたいと思ったんですね。大平は打ち上げただけで亡くなってしまった。だけれども、やはり最高指導者というのは、日本をこういう風にしたいという構想がなければいけない。中曽根康弘は戦後政治の総決算を前面に出しました。戦後いろんな問題点があった。それを洗い直ししようと。ところが、菅という人は、在るのか無いのかよくわからないが、ただひたすら、携帯電話を引き下げるとか、はんこをなくそうとか、個別政策を打ち出している。それが総理大臣のやることかと言う声も無いことはない。無いことはないけれど、みんな実感として、たとえば10万円にしたって、なんでね、直ぐ来ないんだらうと。例えばマスクね。みんなマスク無いんだから、その日のうちにきてくれたら、こんなありがたいこと無かったね。けれど、待てど暮らせど来ない。何だ、って話になる。来てみたら不良品だという。間違いのものは言えば出来ると思っていたことです。PCR検査にしても、現場を知らないで言うからその通りにならない。徹底的に厚生労働省が反対する。そんなことは出来ませんと。彼らはサボタージュ出来るからね。ハイ、ハイと聞きながらやらなければ良いんだから。現場を知らないというのが一番の問題点だったのですよ。言ったことがちゃんと通るのかを見ながらやらなければならない。ということを見ると、今度の政府の場合は、今、安倍政治の継承と言っているんだけど、全然継承じゃない。まるっきり違うことをやっている。もう、徹底して具体的。だから普通の人にとっては、我々にとっては、ストーンと落ちるわけ。確かに携帯電話、40%も引き下げることが出来るんだと。だったら、やってくれりゃいいじゃないかと。その意味では、私は45年間政治記者をやっているけれど、こういう内閣はありませんでしたね。徹底的に各論。だけれども、私が言っているのはこれからの日本をどうするのか。少子化をどうするのか。不妊治療はその大事な一部だけど、もっと大きい構えで同時にやらないといけない。ということで、目線という言葉は私あまり好きでないのだけれど、大きな目線が必要だ。私もよく言われる。テレビで何かしゃべっていると、娘なんか見て「偉そうにお父さん言っている、ああいう上から目線の発言、良くないよ。」「何言ってるんだ。目線には上からもあれば下からもある。横からもあれば斜めからもある。いろんな目線があるんだ。上から目線だって必要なんだ。」と、こう言っているんですけどね。なんかいかにも傲慢だと言うように受け取ら

れる。それは気を付けなければいけませんけれど、やっぱり普通の人がおかしいなと思っていることは、どんどんやったらいい。しかもこの内閣、スピード感でやると言っている。ここは非常に大事なところだと思う。そして、ただ少しね、暗雲立ちこめてきたようなところが一つありますね。これが日本学術会議の問題だ。

日本学術会議というのは、最高の学者が集まった組織なんですね。会員は210人で任期が6年で、3年ごとに替えられる。今回はその3年ごと、105人ずつ替えていくという、参議院みたいなものですね。この内の6人が、任命されなかった。それで大きな問題になった。これは学問の自由を侵すものであると批判を受けた。今までは、そういうことがなかった。学術会議側が推薦する。その推薦に基づいて総理大臣が任命する。それは、よほどのことがない限りそのまま認めてきた。だんだんそうじゃないことが分かってきた。それは、補充の時に、亡くなったりして欠けた時に、その時だけもっと多く出してほしいと言うこともあった。基本的には推薦してきた人は、そのとおりに認められるというのが普通だった。今回はしかし、6人について認められなかった。何でなんだろう。その説明はない。それで、学問の自由が侵されている、侵害しているという話だ。学問の自由が侵害されるというのはえらいことですよ。この問題が起きた時に、私がテレビで聴かれて言ったのは、これは学問の自由の侵害ではないということです。なぜそうじゃないか。だって、推薦するのは学術会議。しかし任命するのは総理大臣。で、何で任命権は総理大臣にあるか。それは内閣府の中の一つの機関なわけ。きわめて独立色の濃い機関ではあるけれど、国から10億円の金を出している。50人の職員を出している。そのために総理大臣が任命するということになっているわけです。正確にいきますとね、こうなっている。日本学術会議法は会員の選考方法について、学術会議が優れた研究または業績がある科学者から会員候補を選考して推薦する。そして推薦に基づいて首相が任命する。こうなっている。推薦されなかった人を選ぶのは、明らかに日本学術会議法違反ですよ。推薦されないのに別の人間を選ぶのは。しかし、推薦された人間を選ばなかったということが法律違反か、じゃ何のために総理大臣が任命すると書いてあるのか。こうなりますよ。ですから私は、「6人が選ばれなかった、これは学問の自由の自由が侵害されている、これは会議法違反だというには当たらないと。しかし、選ばれなかったのはなぜかということをちゃんと説明してもらわないと困る。その人の名誉にかかわることだ。学問的に駄目なのか。あるいは過去、何か不祥事起こしたか。何か理由が在るでしょう」と。こういう話になる。その説明が「総合的俯瞰的」に考えたではよく分

からない。まあ全体的に考えてということなんだろうが、全体的に考えてと言うけれど何か決定的に選べない理由があるのでしょうかという話になるわけですよ。その説明がされていない。これはよろしくないですよ。

学術会議では「学問の自由」が犯されたとおっしゃいます。しかし学術会議では、軍事的な研究やっちゃいかんと決議している。それで北海道大学はある研究が出来なかった。しかし、今や軍事か民生かというのは境目が分からなくなっている。あらゆるものが軍事技術の転用という形になりつつある。アメリカにしても中国にしても、皆そうだ。それを分けられるかっていう話です。分けられるかっていうことと同時に、軍事研究をやるなっていうことこそ、学問の自由をおびやかしているのではないですか。それは軍事研究やったから軍事的に協力したという話になりますか。直ちにいかない。そうやって考えると、学術会議の方がよほど学問の自由を犯しているのではないかという人もいる。だから今度は自民党は「学術会議の在り方」を議論しようとした。でも、これはすり替えだ。6人何で認められなかったかその理由を言えといっている時に、学術会議の在り方、とこちらの方に話を移してしまっているわけだから。しかしそれにしても学術会議側も、俺たちが推薦したのだから、認めなければ学問の自由を侵しているという、これも傲慢な話だ。わたしはそうおもいます。だからここはね、拒否したからには拒否した理由がある、それを明確にしなければならぬ。

選ばれなかった人たちの、よく言われている理由は、安保法制に反対したという。ところがこれも矛盾がある。安保法制に一番反対した平田オリザという演出家、この人はちゃんと選ばれている。そうやってみると必ずしもそうでないかもしれない。おそらくあそこの105人の中で99人の選ばれた中に、安保法制に反対した人はかなりいると思います。となると、なにか隠された理由があるだろうと、こういうふうに来るわけです。私も経験がある。公安審査委員会の委員を、6年ぐらいやりました。民主党政権の時、その委員としては認められないのではないかと言われていた。民主党が、マスコミの人間が入るのは良くないという意見だった。私はそれに異論がある。いろんな意見の人が入っていいはずだから。それで私は選ばれないかもしれない。否決されるかもしれない。あるいは衆議院で可決されても参議院で否決されると駄目です。国会同意人事ですから。その時私は、よし、選ばれなかったら新聞に書くと決めていました。なぜ、私は選ばれなかったか。顔が悪いからか。子どもの育て方が悪かったからか、と書こうと思って準備していた。ところが、その前の日に、民主党の国対委員長、安住淳から「橋本さんは大丈夫ですから。認めます」と連

絡が入った。一番反対が強そうな山岡賢次という議員は、その後会った時に「私、最初に賛成しましたから」と言っていた。だから、選ばれなかった人は何かおかしいところがある、と思われてしまうわけです。現に、国家公安委員人事で、産経新聞の千野境子さんという人は、野党の反対で駄目になった。この人は何で選ばれなかったんだろう。後々その人の傷になりますよ。選ばれなかったのが、むしろ光栄だというのものもあるかもしれない。けれども、しかし、ということを考えてときに、ここはやはり、選ばれなかった理由をちゃんと言ってもらわないと、その人の名誉にかかわる。だから、それはやらなければならない。と同時に、学術会議の在り方というのは、やはり検討されなければいけない。私はそう思います。だから、ある野党の大物議員が言っていた。「野党があまり深追いすると、逆にブーメランのように、自分に跳ねかえってくるぞ」と。今はもう学術会議も、学問の自由を侵害している、と言わなくなりました。個別の研究をやるなというほうが、よほど自由を脅かしているわけです。しかし、これからもこれはかなり内閣支持率に効いていくでしょう。

NHKの調査で、この前7ポイント位支持率が下がって55%になり、不支持が13%から20%に下がった。あの10万と30万の迷走も影響したでしょうね。わたしは最後まで10万円の一律給付には反対だった。大金持ちにとって10万はどうしてもいいお金でしょう。だったら困っている人に30万円あげたほうが圧倒的に役に立つでしょう。時間がかかるといふのなら、最初、まず配ればいい。高額の人からは後から返してもらえばいい、年末調整などで。だから記者会見などでも聞いた。政治の公正さから言って、みんな一律10万円というほうがよっぽどおかしい。ぶれるのがよくない。また変わるのじゃないか、ということになる。学校の一斉休校。あれも評判が悪いが、学校からクラスターは出ていません。今、大学の合宿所とか、いろいろ出てます。でも、あの一斉休校をして、結果的にはクラスターが出ませんでした。良かったということですよ。自信無げにやっているからいけないんで、堂々と言えばいい。だから、今度の学術会議のことも、自信をもって説明すればいい。ところが説明しないところを見ると、何か隠された理由があると、皆そう思ってしまいますから。だから出来るだけオープンにしたほうがいい。自分に疚しさがなければ、疚しさがあつたら謝って、やめればいいんです。確かに、自分の弱いところを突かれたら、大声を張り上げたり、いろいろなことがある。この前の候補者の討論会の時に、あまり表情を出さない菅が、私がこう質問したらキツとなって反論した。外交について、「安倍さんの健康が許せば、協力してもらったらいい。首脳外交するにしても、これから信頼関係を築くのに時間がかかるわけだから、

そこは安倍さんに登場願って、「やったらどうですか」と聞いた。それについては、「ご協力して頂きます」と言ったんだけど、その後、「私は、安倍・トランプ会談、二十何回やった。そのうち一回、沖縄に行ったとき同席できなかったけれど、それを除いて全部同席していました」と言う。そこで私は「だって同席したということと自分が首脳として交渉するということとは、違うでしょう」と、つい聞いてしまった。秋田の人に怒られるかなと思ったけれど。聞いたら気色ばんで「じゃあ、私は何もしてなかったというんですか」とムツとした。「いやいや、別にそういうことを言おうとしたんじゃないよ」と言ったんだけど、首脳会談はすべて私が事前にきちんと準備してやったのだ。何を言うかと思ったのでしょうか。そのとおりでとも思うが、実際にやるのと、相互に信頼関係があってやるのとは違う話だから。あの時、一斉にテレビでも、新聞にも書かれたね。弱いところを突かれた、と。でも、私は一瞬そう思ったけれども、彼の性格から考えて、弱いところを突かれたというより、俺がこれだけやってきて、陰でみんな支えてきた。私が外交やったのを、みんな分からないんだな、何だ、という自信の表れではなかったのかと、いいように解釈した。実際に、彼はそれだけのことをやったと思う。安倍晋三は総理大臣になって最初に中国に行った。菅は、アメリカは大統領選挙だから行くわけにはいかない。というわけで、今度、ベトナム、インドネシアに行く。これは、やり易いところからやっているなという感じです。ちょっと肩慣らししているなという感じはあるけれど、それはそれでいい。安倍晋三だって、最初から首脳間の信頼関係を築いたわけではない。やっているなかで、あれだけ長くやっていたら親しくもなる。菅のいいところは、一度決めたらびくともしないということ、これはすごく大切なことだと思う。その意味で期待している。ですから、これからは、大きな日本の在り方、例えば中国との関係をどうするか。アメリカと中国は真っ向から対立している、そういう中で、おそらくバイデンになっても、中国に対する強い姿勢は変わらないだろう。なぜかという、アメリカ全体が中国に脅かされているから。その時、日本は中国と仲良くやらなければならないといっても、そのことによって中国を利することになる、それでいいのかということになる。その時日本は、米とも中とも同じように正三角形というわけにはいきません。やはりアメリカとの関係は基軸ですから、その立場を失ってはいけない。しかしアメリカの言いなりというわけにもいかない。それは安倍だってそうだ。プーチンとあれだけ会って、アメリカは面白くない。今、経済制裁している所ですよ。だけど、日本には日本の立場がある。ここは明確にしていかなければいけない。日米、これが基軸。しかしそれはほかの国と仲良く

しないというわけではないということを、粘り強くやっていかなければならないということです。そのためには、多くの人を味方につけなければいけない。今度の東南アジアに行くというのも、やはりそういう意味がある。それからインドと仲良くするというのもね。だから、大きな戦略的に考えてどうするか、これからやらなければいけません。

それから、ふるさと納税にしたって、地方をどうするかです。ふるさと納税、あれは菅が最初にやった。たしか、ふるさとに40万か、第1号として、寄付しているんじゃないですか。私はそう聞かされた。菅さんが40万だから、五郎さんはその倍ですね、と要求されましたよ。だけれど私は、金額がどうか、見返り品を求めてではなくて、自分は少しお金を出せるようになったのだから、地元のためにこれを使ってくださいと、こういうふるさとを思う純粋な気持ちが薄れてしまうようでは困る。泉佐野市みたいに、手当たり次第に莫大な景品を出して、そのために何割も使うというのはおかしい。私は、踏みにじられたという気になる。あんなのを許しておいてはいけないと思っている。私にとっての三種町へのふるさと納税は橋本五郎文庫です。最初から決めていた。図書館を作るのが私のふるさと納税だと。ふるさと納税については弊害をいろいろ直していかなければならない。

東京一極集中しないために、東京に大学の新しい校舎を作らせない。定員を増やすようにしないと文科省が決めたために、大学が困っている。東洋英和女学院は六本木のところに校舎がある。そのあたりを森ビルが再開発しようとしている。六本木の裏側、東洋英和が相当土地を持っているので、高層にして、大学を全部移そうとした。ところが東京都内の定員の数を増やしていけないという話になって頓挫しようとしている。一極集中をやるのに、東京に来るなという形でやるか、そうではなく地方に行くように誘導するか、どちらが早道かということです。地方に魅力があったほうが、東京に来るなと防いでみても、どこかの地方が栄えるのかという話になる。地方も栄えるようにして、自然に東京に行くのが減る、こういういいところがあるのだと思わせないといけない。ふるさと納税も大事だけれど、根本的な解決の話ではない。そういうこともやってもらわないと困る。菅の任期は来年9月までだ。どうなるかは即断できない。今の内閣はしばらく続くかもしれない。これからどうするかを、同時に走らせなければならぬ。そこが足りない。私が総理大臣だったら、直ちにそのための組織を別に作ります。デジタル改革をやったり、ハンコを駄目だと言ってみたりというのはこっちでやっておいて、一方で成長戦略会議というのをやるのだけれど、いかにも企業をどうするかというような話で、日本の全体をどうす

るかという感じではないところがある。商売の話みたいところがある。そうではなくて、日本全体をどうするかを同時に走らせるということをしてはいけないと思う。そこが、これからやるべきこと。だから正直なところを言えば、学術会議の6人を認めるか認めないかというのは、これからの内閣がどうするかを考えれば、どうという話ではない。何故そんなことをやらなければならなかったのか。こういうことに足をすくわれるのは、桜と同じですよ。森加計と一緒に。森友の何に安倍が関与しましたか。迷惑を受けただけです。ただ、明恵さんが役員をやったとか、一緒に写真撮ったとか、村度があったとか、そういうつまらないことをやっている。大事をやる場合は、つまらないことに足を取られないことです。私は今の内閣に、それをすごく心配する。先に話した、個別にいろんな人と会うのはいいのだけれど、その人たちが背後にどういう利害を抱えているのか、必ず利用する人は出ますから。僕らだってそうですよ。講演に行ってその後の懇親会で、写真撮ってくれと言われれば写真撮ります。それがどう使われているか知りません。あまり使い出はないかもしれないけれど。だから政治家が桜の会で写真撮られたって、断るわけにいきません。それこそ水商売だから。羽鳥慎一なんか外に出たときに、羽鳥さんじゃないですかと聞かれると、人違いですって、必ず言うのだそう。私の心配は、やはり政治はスピード。昨日できれば良かったことが今日、明日に持ち越されたことによって、元も子もなくなることがあるんです、人の命と一緒になのです、昨日やっていたら命は助かったのにと。政治はスピード。そのためには早く決断しなければいけない。その決断に当たってはいろんな人の意見も聞かなければいけない。そして、慎重に判断しなければいけない。そして一度決まったら、断固として曲げないでやる。これが大事です。その意味では、菅にかなり期待しているところがあります。秋田というだけでなく。この前も安倍晋三に会ったら「菅ちゃんよくやっているな」と言う。二人はまるきり違う。生い立ちも違う。いいとこのボンボンじゃないし、政治の手法も違う、「戦後レジームからの脱却」などということは言わないし、ひたすら具体的な話をしている。日本の政治には振り子の原理というのがある。日本の総理が変わる時、前の人とタイプの違う人を選んでいく。今度の場合、安倍政治の継承だというけれど、やっていることも政治のスタイルも全然違う。違うから逆に、前に引きずられない。7年8か月、一緒にやってきたけれど、逆にやり易いところもあると思うのです。だから、期待しているところ大、なのです。気を付けなければいけないことも一杯あると、そう思います。この前、秋田の人からも電話がかかってきて、記者会見で「せっかく総理大臣になったんだから、仕事しなきゃいけない」言った

が、この「せっかくなっただから」というのは、何か嫌々やっているみたいに聞こえる。チャンとなったんだから仕事しますよと言うべきで、言葉遣いを気を付けたほうがいいと言っていました。侃々諤々(かんかんがくがく)を「けんけんがくがく」と言ったとか。漢字知らないと、直ぐ電話がかかってくる。本人に言ってくれ、という。そんなわけで、ちょっと面白い内閣なんだなと思いますね。ただし、具体的に約束しただけに、それが実現できないと、今度は跳ね返ってきますからね。なんだ、と。きわめて分かりやすいですよ。何としてでも実現しなければ駄目だ。それが賛成であろうが、反対であろうが。そういうリスクも伴っている、ということですね。

今日は5分ぐらい、飛行機の関係で、早く終わることになってしまいました。今度は秋田放送の「五郎が斬る！」の画面で、この場面もちょっと使わせてもらうことになります。どうぞ宜しくお願いします。ということで、お仕舞いします。ありがとうございました。

藤 本 五郎先生、どうもありがとうございました。今日は時間の関係で、ご質問を受けることが出来ませんが、また、次回を楽しみにしたいと思います。もう一度、先生に盛大な拍手をお願いします。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「オリンピックまで一年を切った
日本の政治・外交・経済・そして秋田
—大混乱になるか 日本の政治—」

講師 白鷗大学 名誉教授
ノースアジア大学総合研究センター客員教授 福岡 政 行

司会 ノースアジア大学総合研究センター長
本学経済学部教授 藤 本 剛

日時 令和元年9月14日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館 271 教室

藤 本 本日は令和元年度前期ノースアジア大学講演会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。前期講座の最後を飾る公演として福岡政行先生のお話を伺います。本日の演題は「オリンピックまで一年を切った日本の政治・外交・経済そして秋田―大混乱になるか 日本の政治―」です。内閣改造が行われたばかりですので、関連したタイムリーなお話を伺わせていただければと思います。どうぞご期待ください。それでは福岡先生よろしく願いいたします。

福 岡 平成元年と令和元年について、今商工会議所や銀行の講演で話すとみなさん「えっ」と言います。平成元年に消費税が3%で始まりました。小渕恵三官房長官が平成という元号を発表しました。前にみなさんにお話ししたように、私が「学生が平成のおじさんだと言っていますよ」と話したのをきっかけに「平成のおじさん」と言うようになりました。それを真似して「令和のおじさん」と言ってその気になった秋田県出身の官房長官がいます。この人が横浜市長を使ってカジノを含むリゾート開発のIRを横浜に誘致することを裏でやりました。横浜市長があのお見の後、分厚い資料を持って部屋に入るところをTBSが映していました。映像にはその分厚い資料をバーンと投げたシーンも映りました。彼女も本心ではありません。おそらく、官房長官がアメリカに行っているいろいろな話を聞いて世界一の博打屋さんと話をしたら「大阪ではなく横浜がいい」となったのだと思います。どう考えても横浜の方が交通の便も良いです。それで怒った横浜のドンが、実は私の後見役です。福井県出身で大学の先輩です。その世界では有名な89歳の方ですが、命を懸けて止めさせると言っています。博打は瞬殺だそうです。一瞬で大金が死んでしまうという意味で瞬殺という言葉を使っています。この成り行きは簡単ではないと思います。官房長官は少しい気になっているように見えます。次の総理は麻生さんはずして進次郎と自分でやるんだというかんじです。今回の組閣で、それが表れていました。バタつきがあって、最後の土壇場に進次郎君が入閣したことにそれが見えています。進次郎君は来年1月か2月に育休を考えていて、そのときは3ヵ月くらい仕事をしないで休むと言っていました。これも大臣となった今は公務優先です。そういういろいろな動きがあります。

令和元年は10月から消費税が10%に上がります。あと2、3週間後で、もう間もなくです。コンビニに行くといろいろな還元ポイントのことを言われますが、私はケチなことはしません。PayPayも平々もしません。平成元年に3%になったときのことを思い出してください。そしてその翌年のことも思い出してください。今から31年前、1980年か1979年頃のことです。ガタガタッと

傾きが来てバブルが崩壊しました。デジャブとも言いますが、それと同じように同じような悪夢がまた来年もあるかもしれません。令和2年の日本経済は消費税10%です。

平成元年は3%で翌年のバブル崩壊です。30年経った今でもGDPも実質賃金もみんなマイナスです。それでもアベノミクスの成果がどうのこうのと言われていますが、うまくいっているとは思えません。昨日の新幹線こまちは満席でした。いくつかのイベントが重なったからで経済状況とは別問題です。おそらく今年の暮れから来年にかけて、同じように日本経済にはデジャブが起こるのではないかと思います。ネットで通販などで買いためも自由にできるようになっているので、早めを買っておこうという動きも起きません。消費税を8%と10%に分けて計算することになりましたが、そんな面倒なことをコンビニのレジでも始めると、ただでさえ人手不足なのに手間が増えて大混乱が生じると思います。羽田空港でも東京駅でも大混乱です。私はカードで支払いをしますが窓口で並んで買う人たちは大変だと思います。ちょっと30年前の出来事を思い出してください。来年、再来年はガタガタになって景気が良いという人が誰もいないと思います。不動産会社を営んでいる知人も「オリンピックだからと言っても不動産は売れなくなった」と言っています。中国が手を引き始めているそうです。「一棟丸ごと保有していたマンションも手放し始めている」と話していました。「価格は3割引きで売りに出しているので買わないか」と言われましたが、年齢的なことを考えても、今不動産を買って固定資産税を払い続けるより安いところで暮らしている方が面倒がないと思いました。とにかく不動産が売れなくなっていて、東京も少しおかしくなっているということについて触れました。デジャブという言葉はフランス語ですが、経済が失速するのではないかとこのことを冒頭でお話ししました。

レジュメの一番目、「安倍内閣と進次郎」についてお話しします。進次郎自身に、今度の入閣でかげりが出ています。それから何人かの自民党の政治家に聞くと「彼は物分かりがいいし理解力も早いけど、新しい何かの方向を打ち出せる力はない。言ったことをよく覚えていて、それをちょっと言い換えたりして反応は早い。だけど彼が農業問題に関わって日本の農業の何かが変わったのか。農業従事者の数がどんどん減って大変だということは分かっても、だから何か新しい手腕が出てきたのかといえば何もない。自民党の厚生労働部会長をやっても、おそらく何も出てこないでしょう。年金の問題も何も変わらない」と言っていました。そういう話が出始めてかげりが出て来ました。理解力があって言葉のメッセージの送り方は抜群に上手いです。顔もいいです。小泉純一郎

の奥さんはエスエス製薬の泰道社長のお嬢さんです。昔、泰道三八という政治家がいたことを覚えているでしょうか。私と同級生なんです。宏池会の集まりで一緒にゴルフをしたことがあります。その三八さんの姉妹が小泉さんの奥さんなんです。三番目の子どもを身ごもっているときにお別れをしました。その子供は確か、京都外語大学を出て某商社に勤めています。もの凄くイケメンです。兄弟の中で三番目が一番イケメンだと思います。お母さんもとても綺麗な方で某大学のミスでした。泰道三八は今は政治家を辞めています、彼もわりとイケメンの財閥の御曹司です。進次郎は関東学園で大学までずっと野球をやっていました。礼儀正しいし、非常に挨拶もきちんとしています。何より福島にはおそらく私よりも多く行っていると思います。数十回くらいだと思います。私は福島だけでなく岩手の大船渡や宮古にも行っていますし、宮城県の被災地にも行っています。彼は福島に行くと一時間以上いるんです。ちゃんと集会室に入って地元のみなさんの話を聞いています。メモもとっています。そういう姿を見ると「頑張れよ」と応援したくなります。他の政治家はお菓子を持って仮設住宅を訪ねても、被災者と写真を撮ってホームページに「みなさん大変ですが頑張っています。何とかしなければなりません」と載せるだけです。そういうことをしている政治家が何人かいますが、口だけで言うなと思います。

進次郎はここきて「福島に来るとほっとするんです」とコメントしました。ほっとしないと思います。行くたびに復興が進まない様子にガクッと来ると思います。そういうところが段々出て来ました。被災者や福島の人を感じるものがあると思います。「小さいときからスキーは福島だったんです。親と一緒に福島でした。小さいときの思い出がたくさんあります」と言うのはいいけれど、福島のみなさんは困っているんです。そこに「ほっとする」は違います。福島の人たちは大変なんです。そういう言葉の使い方は、これから変わってくるかもしれません。そういう進次郎に対する批判が『日刊ゲンダイ』や『週刊文春』などに出てくる可能性があります。でも基本的に頑張ってもらいたいと思っています。

それに千葉県今の状態を見ると、環境大臣なら今は福島ではないでしょう。避難所では熱中症で3人の方が亡くなっています。そういう姿を見たら、何で東京電力は電源車をすぐに現地に持って行かないのでしょうか。そんなことは当たり前の行動です。今、幕張のホテルは空室ばかりでガラガラだそうです。高齢者やや体調の悪い方をご案内してもいいのではないかと思います。「どうぞ電気が通るまでみなさんここにいてください。お金は国と千葉県が負担します」となぜ出来ないのでしょうか。県知事も青春ドラマか何かのように、格好

つけてやっているだけではダメです。このことも進次郎に見えるかげりのひとつだと思います。

アベチルドレンについては、今回の組閣でも、どうでもいい大臣職に4、5人入っています。バカなテレビは小泉進次郎一色で報道して、何もわかっていません。これから週刊誌はいろいろやってくると思います。嫌ですが、これから1ヵ月はそういうことが話題になると思います。

安倍晋三さんがあまり嬉しそうではなく内閣改造の組閣をしました。どうもわかりませんが、麻生さんや菅さんが自分たちの仲間や部下を入れることに躍起になって、思うように自分のチルドレンよりも関係者が入ってしまったようです。それで「これでは内閣支持率の人气が出ない」となって、菅さんが土壇場で進次郎を入れたのです。でもそれに傷がつくようになるとどうなるのかなと思っています。

それからもう一点、あまり触れられていませんが二階幹事長を外そうとしました。奥様が亡くなってあまり体調も良くありません。30分以上椅子に座っていることも難しい状態なので「外して誰か代替りの人を」ということになったようです。もしかすると、それは菅さんだったかもしれません。二階さんが「俺を外したら暴れるからな」と言って因縁をつけたという話があります。「二階のハシゴハズシに失敗したよ」というのが番記者たちのコメントにありますので、この様子もちょっと見て下さい。

二階さんは親中派です。中国と仲良くしたいと思っています。野中広務先生が亡くなり古賀誠さんが引退しました。そういうことを思うと、こういう人が頑張らないと、本当に中国との問題は解決できないと思っています。でも、なかなかしたたかだなというところで、どっともどっちだということを頭の中に入れておいてください。

2つ目は、「安倍首相の体調と決断力」についてです。これはお気付きの方もいると思いますが、最近化粧をして表に出て来ていることがはっきりと分かります。時々何か白っぽくテレビに映ることがあります。顔のむくみのようなものは彼の病気特有のもので、手もゴワゴワになったりします。頑張ってもらいたいと思いますが、この人にはおごりがあります。前に触れたと思いますが、総理官邸から公邸に入ると15分くらい怒鳴り叫んでいるそうです。「なんだ、あの報道は！あの新聞は何だ！何やっているんだ、野党の〇〇は！」というようなことを怒鳴っているそうです。そういうことを近くにいる番記者やゴマすりの評論家たちが、みんな見えています。こんなことですから、萩生田をはじめとする多くの人が「今度こそ本当に終わってしまうかもしれない。今なっ

ておこう」と無理矢理大臣になつたらしいということが、昨日から今日にかけてメールで入ってきている情報です。

解散の時期は来年の春だと言われていましたが、一部には年末だという人もいます。でもおそらくできません。内閣支持率が65%から50%くらいまで戻ればできるかもしれませんが、今の40%そこそこの状態ではまず無理です。その理由は2枚目のレジュメにデータがあります。「資料5 自民党の比例票の推移」というところを見て下さい。私が前に書いた本のデータで、その頃はまだ2019年の数字が出ていませんでした。前回の講演の後のことになりますが、第25回参院選が今年7月に行われました。令和に改元した後始めての選挙です。自民党の比例票が参議院で1,771万票です。これは相当悪いです。前回の第24回よりも二百数十万悪いです。「悪かった」と言われた第23回よりもさらに悪いです。自民党が下野した第22回の1,407万票よりは良いのですが、実は投票率が低かったのですが、野党がだらしなかったから勝てただけなんだという分析です。こういうことでは選挙になりません。もうひとつ今見ていただいた資料の上にある「正念場の公明党 公明党の比例票の推移」を見て下さい。山口那津男は私が携帯に連絡しても、遂に出なくなりました。「下駄の雪」などと悪口ばかり言っているからだと思いますが、同じ葛飾の人間です。手書きですが今回の公明党の比例票は654万票です。公明党はこれまで750万票は獲れていましたが「2017年の衆議院で700万票を切ってしまって大変だ。この夏の選挙は全力を上げて」と言っていて654万票でした。これも低い得票になりました。つまり創価学会の高齢化と安保法に対する婦人部の反発の影響なんです。「なんでこんな戦争を起こすような法案に賛成してきたの」というのが出て来ています。

自民党も公明党もこういう状態なのでしばらく動くことができないと思います。「オリンピックが終わってからだ」と言う人もいますが「それまで持たない」とも言われています。見ていただいた数字にも出ていますが、そういうことがあって「どうも選挙はできないだろう」というのが永田町や国会近辺の話となっているのです。そして側近不在なので、本当にニッチもサッチもいかないような状態になりました。

野党についてですが、参議院選挙で「NHKから国民を守る党」というグループが出て来ました。代表の人は警察に2度呼ばれています。NHKの後輩に聞くと「相当乱暴です。言っていることは当たっていますが、上手いかわからないかもしれません。ここにきて黨員や地方議員から訴えられたり、いろいろなことが起きています」と言っていました。このN国党というグループは、ちょっ

ともう限界かなと見ています。それでも百何十万票を得票するのですから、後で触れますがその理由は大きなことだと思います。

それよりも山本太郎君が獲得した票に注目です。「れいわ新選組」というところです。彼は昨日か一昨日、共産党の志位と握手をして原発反対や消費税8%継続、シングルマザーやシングルシルバーの全面支援をすと言って協力関係に入りました。野党協力政権、野党連合政権をつくろうとしています。こういう動きは昔、小沢一郎さんがやったことがあります。立憲民主党の枝野幸男は栃木の宇都宮高校から東北大学に進んで弁護士になった人ですが、実を言うと私も彼の選挙応援してしまったことがあります。埼玉選挙区で、なかなかプライドの高い男です。何か「俺が中心なのに」というところがあります。これに国民民主の玉木代表が一緒になっていますが、会派の名前も決まりません。野田佳彦はイオンの岡田克也などと一緒になっていますが、「野党は全部一緒にやるしかない」と言っています。これは私が前から言い続けてきたことです。野党全部が一緒になってやるしかないのです。これにれいわの山本太郎までが入ると自民党からも2、30人が加わると思います。石破茂も含まれていくかもしれません。衆議院選がダブルになると変わるよと言われていました。今回はダブル選挙にはなりませんでしたが、次の総選挙の衆議院選ではそうなるという想定で動いているようです。共産党と山本太郎が先に手を組んだことで、立憲民主や国民民主はちょっとおよび腰になってしまいました。でもやっぱり組むしかありません。

山本太郎の人気はなかなかのものです。新宿でしていた街頭演説を20分くらい見ましたが、野次られても全部応じます。「今そこで喋った人、一緒に喋ろうよ」と巻き込むのです。役者さんだからなのか、そういうところは上手くて「うるさい」などと言いません。自民党のように警察官が来るような騒ぎにはしないのです。抱き込み作戦というか、ああいったやり方を見ると、彼にはすごいものがあります。もしかすると大化けする可能性があるかもしれません。彼本人には議員バッジが付いているわけではありません。でもハンディキャップを背負った人が議員になって「何が出来るんだ」という人もいますが、そういうことを全部巻き込んで代弁して行けばいいのではないかと思います。そういう方々の声も多いのです。野党のまとめり方がちょっと躊躇していますが、自民党もためらいがあります。これが秋から年末、お正月頃にかけて出てくるかもしれないいろいろな動きということで触れてみました。

3番目は「外交の問題」です。北方領土については毎回お話ししているように、石ころ一つ戻りません。前回「ジョバンニの島」という映画の話をしまし

たが、今鈴木宗男さんにも一生懸命に見て欲しいと話しています。誰が考えても北方四島は日本の島です。この映画はほぼ史実に合ったアニメーションです。みなさんにも見ていただきたいと思っています。まずプーチンのいろいろな動きを見ていても、ロシアもガタガタになってきたなと思っています。こんなときに北方領土問題を妥協するなんてできないと思います。

それよりも大問題なのは日韓関係です。何でここまでこんなふうになってしまったのでしょうか。この間、同級生で日韓関係の専門家している人に会いました。私は拉致問題のことをするために北朝鮮の平壤に2回入りました。小泉純一郎さんに「外務省とは別に、なんとか先例をつくる役割をしたい」という話もしました。「それだったらわかるだろうけど、朝鮮半島の人たちは殴られた人間だからな」と言われました。私たちが子どもの頃に殴られたりしたことをずっと忘れませんが、大人になってから相手にそれを言っても覚えていなかったりします。殴った人は忘れてしまうけれど、殴られた人は覚えているのです。朝鮮半島の人々の歴史的な感情の中には「あのとき殴られた。やられた」という、言葉はあまりよくないけれど恨みのようなものがやっぱり何十年もあるのです。日本の植民地のようになって従軍慰安婦などのようないろいろな問題があるのです。その中にはもちろんお金で行った人もいたかもしれませんが、そういう感情を抱かせることがあったのです。

日本語ができる朝日国交正常化交渉担当大使の宋日昊も、あれだけ仲良く一緒にカラオケを歌っていても、拉致問題のことをちょっと話ただけで一瞬で表情が変わって「俺のおじさんは日本の兵隊に銃剣で殴り殺されたんだ」とハングルで感情的に言ってきます。そういうものを持っているのです。三菱重工の元顧問だったという駐韓大使が、テレビで偉そうなことを言ったりしますが、なぜ誰も抗議しないのだろうかと思います。三菱重工業は韓国で裁判になっていたりするからかもしれません。もしかすると三菱重工業からお金を貰っていたりするのかもしれませんが、そんな発言がすーっと通ってしまうのはなぜなんだと思います。これについてはあるところに私が言って活字になりつつありますが、韓国の歴史は「恨みの歴史」なのです。簡単に韓国との問題を“やあやあ”“まあまあ”に解決することはできないのはそういうことです。徴用工や慰安婦の問題などのいろいろなことも、日本側に落ち度はないと突っぱねていますが、韓国には相当な金額のお金を渡しています。

私が今全然テレビに出ていないのはテレビタックルで「北朝鮮の拉致は誘拐ですからね。誘拐はまず誘拐犯の要求に応えるのがセオリーです。交渉は相手の立場に乗ってからするしかない」と言ったからです。関係者は喜んでくれま

したが一緒に番組に出ていた弁護士や大学教授たちからは「甘いです」と言われました。そして官邸サイドから「ああいう人は外すように」となったので出られなくなったのです。テレビに出ないので私が死んでしまったという噂もあるようです。

日韓関係はまず相手の土俵に立つしかありません。何を言われても「このあたりでなんとか収めて欲しい」と言って交渉するしかないと思います。お金も100億円あったらなんとかなりますが、国は出すことができないでしょう。この間食事をしていたある人に「お前、顔で100億円集めろ。俺が持って行って交渉してくるから」と言われました。100万円ならなんとかならないことはありませんが、100億円は難しいです。優良企業の社長さんたちに声を掛けると、5億円くらいは集まるかもしれません。補償金として従軍慰安婦とか徴用工で傷ついた人たちに一千万円くらいずつ渡せたらいいと思います。国からはもうなかなか出しにくいですが、どこかで割り切ってそういうことをしなければならぬと思います。そんなある時、日韓議連の会合に同級生の額賀福四郎が遅れて入って来ました。会合に出ていた人がこの話を要約して伝えたら「そんな簡単な話じゃない。誰が行くんだ。お前が行ってきてみたらどうだ」と言われました。日韓議連の会長なのだから韓国側の議員にそういう話が出る人を知っているだろうと思いました。黙って民間からのお金です。そこから話を動かしていくのです。週刊ポストは「嫌韓」「断韓」と韓国を拒否する記事を書いて、ヘイトだと問題になりました。来週九州の別府に行ってきますが、韓国からの観光客が減って大変なことになっています。7割減だそうです。有名な杉乃井ホテルさんも元々は経営が上手くなかったのですが、韓国からの観光客でもっていたようなものです。別府は韓国から近いのであまりお金のない韓国人が船で遊びに来て、温泉に浸かって美味しい物を食べて来て2泊3日くらいを過ごすのです。韓国のユニクロの売り上げも7割減だそうです。ユニクロは困っていないので表だって何も言いませんが、隣の国と仲良く出来ないのは最悪です。それは韓国だけでなく中国も北朝鮮も一緒です。こういうようなことが官邸の中には全くなくて、行け行けドンドンです。自国ファーストやジャパンファーストは当たり前ですが、世界の人たちと仲良くすることについては憲法の前文にも「世界の中で役割を果たす」と示されているのです。そういうようなことをきちんとできないのは安倍晋三のスケールの小ささだと思います。本には書きませんでした。下関でTBSの対談を安倍慎太郎さんや阿川佐和子さんとしたことがあります。吉田松陰が入ったという有名なお風呂があるところでしました。その間の1時間くらい、メモも何もしないで木陰で漫画

本を読んでいたのが安倍晋三です。一度生番組で言ってやろうかと思っ
ています。二世や三世であってもそれはないと思います。ジュニアやボン
ボンなどと言われるのは嫌がると思いますが、嘘でも対談の中にそうい
う態度はどうかと思います。

日韓関係は本当に酷いです。観光で韓国を訪れていた日本人女性が韓
国人の男に暴力を受けたというニュースも辛いです。それを聞いた日本
のある大学の先生が「今度は韓国の女性が日本に来たら日本の男性が
殴れ」と平気で言っていました。その人はテレビによく出ている人です。
そういうようなありえないことが続いているのが今の世の中です。テ
レビもどうでもいいような感じですよ。

9月10日、11日は組閣のことより重要なことがあったはずですよ。
千葉が災害で停電になっているなら電源車を被災地に動かすとか、コ
ンビニから氷や冷たい水を持っていくということをやればいいのに全
然でした。私は葛飾区に住んでいますから千葉には歩いて行くことが
できます。あの倒壊したゴルフ場には歩いて行けます。どれくらい
の範囲まで災害があるのかはわかりません。倒木で動きがとれないと
分かっているのに平気にしている。すべきことがあったはずですよ。
テレビの報道も暢気でした。とにかく韓国の問題はもうちょっと
気を利かせてやらなければなりません。額賀にも「日韓議連の会長
なんだからやれ」と何度も何度も言っていますがなかなか進みませ
ん。

日中関係については、11月に天皇陛下の行事などの関係で習近平
が来日する予定があるようです。これで話がつながるかと言えば、
それは無理だと思います。韓国を中国はまるめ込もうとしています。
当然ロシアもです。北朝鮮はトランプがいろいろなことをやっていま
すが、それは来年の大統領選挙のためです。最近また大統領補佐官
を解任しましたが「北朝鮮は酷い」と言っていたのはあの補佐官でな
くトランプ本人です。それを辞めさせた補佐官の責任にして、それ
でも尚且つ「金正恩はいいやつだ」とやっています。あの調子だと、
北朝鮮がミサイルを何発出しても関係ありません。もう少し外交をう
まくやれるようにしなければならぬと思います。私なら、カップ麺
100万個でもお米100俵でも北朝鮮に持って行って届けたいと思
います。今、外交で一番力があるのは習近平だと思います。進展が
なく苦しんでいる北朝鮮のことも韓国の問題も、習近平に話を
つけてもらうという方法があることは外務省の職員は分かっている
ことです。少なくとも課長補佐クラスは気づいています。「先生、
こんなことをしていてもダメだと思います」というので「逆らって
やればいいじゃないか」と話しました。すると「霞が関は村度社会だ
から」というのです。立身出世のためには上の言うことを聞かな
ければいけないのです。

日米関係については、とにかくトランプの支持率が上がりません。あとやれることは北朝鮮とどうするか的一点だけです。そのためにはあらゆることを妥協する。金正恩をホワイトハウスに招いて「分かった。一切の責任は問わない。賠償保障は安倍晋三に言うておくから日本から数千億円もらって、向こう10年間で国を立て直せ。言葉は通じるのだから10年後に南北朝鮮半島を統一して38度線をなくす」というようなことを、アメリカの有能な人間が数人が動くかもしれません。トランプが再選するためには金正恩を来年早々にアメリカに呼ぶ。そのためにはあらゆる妥協をするという方法をトランプはやるでしょう。元々経営者ですから、自分に得になるようなことだったら何でもするような人間だと思います。大統領を辞めたくありません。政府専用機でいろいろな所に行けます。行くと色んな人が会いたいと言うし、38度線を越えて行ったり来たりするなどということは、普通はなかなかできません。トランプのわがままで北朝鮮の情勢が変わる可能性があります。今、北朝鮮から来てくれないかという話が私のところにきています。行って見ようかと思いますが、命の保障はありません。でも74歳になりましたし、夏休みに孫と3日間暮らして毎晩アイスクリームを食べたせいかA1cが上がってしまいました。「これ以上だとインスリンですよ」と医者に言われましたが、美味しいものを食べてお酒も飲んだので、もういいかなとも思っていますので行くかもしれません。

4番目は「日本経済の現実」についてです。ここから話は暗くなります。国債の残高は約1,000兆円あります。自転車操業の日本の国家予算です。財源として約35兆円の国債を毎年予算の中に入れていきます。約100兆円の予算の3分の1になります。35兆円分の国債は日銀が印刷します。それを還さなければなりません、その毎年の借金払いが25兆円の公債金です。35兆円借金して約25兆円利子を払っています。皆さんが毎月35万円をどこかから借りて毎月25万円還していたとすると、毎月手元には10万円しかありませんよね。そんなことをやり続けています。その結果の国債の残高が約1,100兆円です。

予算の硬直化については、歳出予算の総額は約100兆円です。そのうち約25兆円が今お話しした公債費の借金で、未払いや国債を還すのに遣います。国債は3年物や5年物などがあります。3分の1は地方に渡す地方交付金なので約17兆円は秋田県や他の県などに自動的に渡すことになっています。貧しい県や市町村ほど多く渡すことになっています。東京都は1円も貰っていません。秋田県はあまり裕福ではないので多めに貰っている方の県です。その中でも裕福でない市町村には交付金が多めに渡ります。何もしない方が国や県からお金が多くくるんだと考えている悪い市町村長がたくさんいることも覚えてい

てください。

社会保障費は約 34 兆円です。約 100 兆円予算のうちの 3 分の 1 です。皆さんの多くが貰っている年金や医療費の不足分が含まれます。私も貰っています。国だけで 34 兆円でその他に県などの地方も約 10 兆円くらい出しています。この公債費と地方交付税と医療費を合わせると約 78 兆円になります。100 兆円予算のうちの 78% は自動的に遣うところが決まっているのです。使えるのは残りの 22% しかありません。そのうち 5 兆円は防衛費です。F とか B なんとかという飛行機も買いましたが今の設備ではまだ足りないらしく、1,100 億円もするイージスアショアを配備しようとしています。山口県と秋田県への配備で動いているようですがどうなるかわかりません。

とにかく日本の国が大変なんです。この社会保障費がどんどん増えていく予想なんです。2000 年は 80 兆円、2010 年は 105 兆円、2018 年には 115 兆円です。2025 年には 140 兆円を超えと言われていています。年金財源は今 60 兆円しかありません。皆さんや企業が納めている年金の掛け金です。私はまだ掛け金を払っていますが、偶数月に年金支給もあります。70 歳まで受け取らなかったのが受取額は割り増し分が付いてそれなりの額です。資料の「年代別一人当たりの年間医療費の推移」を見て下さい。65 歳から 70 歳未満までの高齢者は年間 45 万円です。医療費負担割合は 3 割かもしれません。70 歳から 75 歳未満までは年間 62 万円です。私は 74 歳と 10 日になりましたので 75 歳として見ると、75 歳から 80 歳未満のところでも一人当たり年間 75 万円です。80 歳以上は年間 100 万円です。このあと 2、3 年で団塊世代の人たちが 75 歳以上になっていきます。どんどん高齢化が進みますしこの世代は長生きです。

もう一つ「日本の将来人口の推移」という人口統計の資料を見て下さい。2055 年の 15 歳から 64 歳までが 4,595 万人で全人口約 9,000 万人の約 50% となっています。この年代は生産年齢人口といって日本の経済を支えている人たちの人口です。2005 年には 8,442 万人でした。今はすでに 8,000 万人を切ったと言われていています。

同じく 2055 年の 14 歳以下の子どもは 752 万人、65 歳以上の高齢者が 3,646 万人となっています。高齢者のうち後期高齢者が約 3,000 万人、そのうち 80 歳以上は 1,800 万人と言われています。これに先ほど見ていただいた医療費の 100 万円を掛けると 2055 年の年間医療費がいくらになっていくのかが分かります。超少子高齢社会となりますが、これが進みすぎると日本の国はだめになると思います。

2100 年には全人口が 5,000 万人を切ってしまう予測です。人口が減って全

人口が約9,000万人になる2055年にどうするかというのを考えて、厚生労働省が「一億総活躍社会」と言っています。つまり死ぬまで働かなければなりません。こんな統計がすぐのできるのだから、今40代、50代の人間違いなく年金受給開始年齢が70歳から75歳になると思います。つまりお金がないので75歳まで働きなさいということです。企業の定年退職年齢も65歳から75歳になります。もしかすると今40代の方は、そのうち80歳以降でなければ年金を貰えない時代になるかもしれません。早く死ぬか長生きして年金を貰うかのどちらかになると思います。弟子の自治医大の医者が「平均年齢は間違いなく85歳を超える」と言っています。薬の開発や医療技術が進歩しているのであと4、5年で一部の部位を除いて、癌はほぼ治るようになっていくそうです。IPS細胞など活用も進歩してくる時代になると思います。そうやって長生きになっていきます。長生きはいいことですが、ピンピンコロリで死にたいと思います。こうやって日本の未来は暗い話になってしまいます。

レジュメは※をつけた「財源」のところですが、年金財源は60兆円ですが、国から30数兆円出ています。地方からも10兆円出ています。それでなんとか賄っています。秋田県は国から地方交付税をもらっているのでも、地方も出しているといってもその中から出していたりします。財源が足りなくなれば税金を入れるか、雑収入の積立金から引き当てます。積立金はこのところ増えてきて160兆円くらいになって、それなりにあります。麻生さんが株の運用を考えてやっているからです。ところが去年の秋からは株価が下がったので落ちてきています。普通は国債や外債を買うとか金の延べ棒を買うなどの元本が保証されるもので運用します。今国債はマイナス金利なのでうまくいきません。麻生太郎になってから優良株で運用するようになって積立金が増えていましたが、秋頃から株価が下がっても株はすぐに売る訳にいかないのでもち続けています。国債は株のように下がらないので、日銀は刷ってガンガンやっています。それは安倍さんと黒田さんのアベクロ経済です。本当はアベノミクスとしては失敗だと思っています。積立金が160兆円と聞くと凄いように聞こえます。今はGPIFが運用して積立金を増やしているのですが、いろんなところでこの積立金を遣い始めています。遣い出したら年間40兆円も社会保障費がかかるのですから、あっという間で10年くらいしかもたないと思います。そこで新しい財政検証というのがやっと始まりました。それは年金をカットするか支給年齢を引き上げるかということになります。すでに70歳からの支給という話が出ていますが、もう75歳からというのも見えています。私も調整されて70歳からの支給でしたが、黙っていてもお金が振り込まれているというのはいいこ

とで、支給日はやっぱり楽しみです。

次はレジュメの「日本人の年収」についてです。大問題について触れていきます。暗い話なので耳を塞ぎたくなるかもしれません。日本人の収入については調べるとすぐに分かります。私のある団体のアシスタントは52歳でNHKを辞めてしまった者です。「なぜ辞めたんだ。馬鹿だな」と言ったら「やってられません。ゴマすりの忖度ばかりです」と言っていました。番組の出演者も○と×がはっきりしていて、出演依頼は現場が思うようにできないそうです。報道局長や理事などが「あの人はいい。あればダメだ」などという人たちののです。

国家公務員と地方公務員を合わせた平均年収は686万円です。平均なので45歳前後だと思えます。NHK職員の平均は1,124万円です。高卒から大学院卒までの平均です。それなのに今、民放のテレビ番組に元NHKアナウンサーが解説員などで出ているのはなぜでしょうか。4、5人いると思えます。あの人はNHKを早期退職しているので退職金も割り増しだったと思えます。年金は3階建てです。年金の1階は基礎年金といわれる自営業や農家の人たちの年金です。40年間納めて満額支給で1ヵ月約6万5千円です。自営業や農家の人が基礎年金だけなのは死ぬまで働くことが出来るからだそうです。厚生年金は会社に勤めている人の年金です。共済年金という学校の先生などの年金もありましたが、今は厚生年金に統一されています。これが2階建ての部分です。私は70歳まで貰わなかったのが割り増しが付いています。10年近く貰わなかったのが国民年金も9万円くらいになっています。NHKのような大企業はその上に企業年金という3階部分が載っています。これは普通の人にはない部分です。私にもありません。この部分の掛け金はNHKと本人の折半で半分ずつ負担しています。この3つを併せて年金の支給額は1ヵ月あたり50万円くらいになると思えます。この人たちは早期退職なので60歳から65歳です。1ヵ月の年金額が30万円を超えていたら、私はもう働かないと思えます。食べられる量も決まっているので、食費もそんなにかかりません。焼肉などの外食に行っても昔のようにたくさん食べられません。こういうことが分かっている人はNHKを潰した方がいいと思うので、やっている人がいい加減だけどN国党に入れてしまうのです。

国民全体の収入はパートやアルバイトの人も含んだ平均なので432万円です。男性の正職員だけを見ても560万円くらいです。でも公務員に比べると安いです。この数字で計算したのを見ても432万円の人は年金や保険の掛け金、所得税や住民税などの税金を合わせて年間86万円くらい払っ

ているそうです。そのほか私が計算した数字になりますが、消費税8%を16万円くらい支出していることになります。これは少なく見積もった金額です。86万円と16万円の合計102万円を432万円から引くと、手元に残る手取り額は330万円です。それを平均すると月額は27万円から28万円です。家賃がなくても子育てできる金額ではなくて、産んでも教育費は払えません。幼稚園でも月2、3万円くらいは必要だと思います。私は盲導犬協会の理事をしています。栃木にある盲導犬訓練所のとても良い女性職員の訓練士が辞めると言ってきました。なぜかと聞くと「同僚と結婚することになりました。子供が欲しいのですが2人のお給料を合わせても30数万円くらいにしかならないので、子供を育てることができません。彼も東京でタクシーの運転手をするにしました。月30万円くらいの収入になるようです」と言っていました。今タクシーで30万円を稼ぐのは大変だと思いましたが「頑張ってるね」としか言えませんでした。とても良い訓練士なので何とかならないものかと思いましたが、これが実態です。

結びの「地方の貧困の理由」についてです。人口が減っていく話はずっとしてきました。古今東西、人口が減って景気が豊かになったという歴史は間違いなくありません。秋田は高齢化で子供がいません。今日は宿泊したホテルの近くでイベントをしていて、子供たちもたくさん集まっていました。秋田にも子供がいるんだと思いました。私は葛飾に住んでいますが、とにかく近くに子供がたくさんいます。東京はまだ子供がたくさんいるんです。地方には雇用がない。働く環境がないので東京に人がどんどん出て来ます。立派な県立美術館を作っても子供は増えません。中心部の文化施設の中で野菜の産直販売をしているのもどうかと思います。もっと違うことをしてみるといいと思います。県民のせいではありません。県や市にセンスがないのです。

二重の集中が起きています。私は日本国中を歩いていろいろな所を見ているのですが、東京周辺と県庁所在地周辺くらいまではなんとか人口があります。秋田市もいいとは言えませんが、その他の市町村よりはまた良いです。昨日は新幹線で秋田に来ましたが、盛岡秋田間の途中の駅では降りる人が殆どいませんでした。人口減少で人がいないせいでしょうか。

農業の衰退と担い手不足も問題です。今、専従農家の65%が65歳以上の高齢者で女性が多いです。3人に1人は高齢者なのであと15年もしたら、さらに減少していきます。例えば大学生や高校生に1週間の農業従事期間を作ってみたらどうでしょうか。その期間は学校に出席しなくていいようにするのです。送迎バスを出して道具も貸し出して、学校として農業をしている場所に学生を

行かせるのです。どうしてそういう案が出てこないのでしょうか。秋田県知事からもそういう話は出てきません。農業が盛んな千葉県の知事や市長も、どの自治体の長もブツブツ言っているだけです。

工場も海外にどんどん移転しています。ミャンマーは2、3万円のお給料です。私の関係の工場も2つくらい移転しています。仏教の国なので真面目です。日本語ができる人もいて、算数というか計算が得意で2桁の暗算すつとできるそうです。

地方出身の優秀な若者は地元に戻ってきません。一流大学を出ても地方には雇用がないので戻ってこられないのです。東京の良い大学に行っても、秋田県庁も秋田市役所も地元の大学も採用人数が決まっています。親が地方にいて一人っ子だから戻ってきて欲しいと言っても、働くところがないので東京で就職してしまいます。一流企業があるし賑やかな街も、おしゃれな女性や男性がいるので、地方には戻りたくないという思いもあるのかもしれない。これから加速度的に地方は大変になるだろうと思います。

私に提言があります。レジュメに初めて書きました。社会保障費を少なくするには「健康元気クーポン券」を出すのです。65歳以上の人で1年間に医療機関に支払った金額が5千円以内の人にクーポン券を出すのです。皆さんの中にもそういう人がいると思いますが、ほとんどの人が年間5千円以上病院などに支払っているのです。私は7種類の薬を飲んでいますが、診察代が1回約3千円、薬が3割負担で約8千円です。すると私はダメでクーポン券は貰えません。私の同級生に静岡県警の元警察官だった人がいます。空手五段で、日本空手協会の副会長です。身長はそんなに大きくはありませんが、顔はやくざ以上です。その人が27歳のときにやくざの親分をボコボコにしてしまって、狙われるようになってしまいました。しかたがないので留置所の係を5年間していました。彼は三流大学出身で、空手ばかりしていた人ですが、その間、時間に余裕があったので彼は勉強をして署長になりました。この間、その人が持っている三ケ日の山と一緒にミカンを採りに行きました。「久しぶりに風邪をひいたので病院に行って1,800円払った」と言っていました。久しぶりとはどのくらいぶりなのかと聞くと、十数年振りだったそうです。子供たちの空手を教えたりしているので丈夫です。そういう人もいるのです。65歳を過ぎて3年間元気で10万円の健康クーポン券が貰えたら、お孫さんと旅行に行くことができます。旅行だけじゃなくて食事でもいいと思います。この話を厚生労働省の関係者に言ったら「面白いですね」と言っていました。この10万円は商品券で、旅行だけではなく買い物もできます。家族みんなで旅行に行くときは少しお金を足

さなければいけないかもしれませんが「お祖父ちゃんお祖母ちゃんが元気だから、みんなで旅行に行けた。おいしいものが食べられた」となったら自慢や自信のひとつになると思います。ヨタヨタして心配されるお祖父さんさんより良いでしょう。高齢者が健康を維持する努力をするようになると思います。私も今、散歩をしています。金町の公園か柴又帝釈天のどちらかまで歩いています。まだまだ健康とは言えませんが、それでも体重が少しずつ減ってきています。また3年経ったら10万円のクーポン券をあげる。75歳になったら20万円の健康クーポン券でもいいかもしれません。さっき見た年間医療費のことを考えたら、20万円でも良いと思います。東大から霞が関に行った頭の良い人たちは、そういう計算ができません。数学はできるかもしれませんが、算数はできないのです。後期高齢者は1人当たり70万円から80万円も医療費がかかっている人がいるのだから、健康な人には20万円のクーポン券をあげてもいいと思います。毎月2万円くらい病院や薬に払っている人は、保険で負担している部分もあわせておそらく年間100万円近く医療費がかかっていると思います。元気で暮らせば孫と旅行や食事ができます。私も孫と出かけるのがとても楽しみです。デパートで待ち合わせしたりすると遠くから「じいじー！」と走ってきます。さっそく「何を買ってくれるの？」と言ったりして憎らしいところもありますが、孫は何をやってもかわいいです。

最後に、前もお話ししていますが「シルバー食堂」について触れます。今日のゼミで使う予定だった資料をみなさんにもお配りしています。「ジィジィババの寄り添いカフェ」と書いてあります。この話は100人くらいのある地方議員の集まりでも話しました。20人くらいの議員が「面白いです」と言って帰りました。シルバー食堂は一人暮らしの高齢者の憩いの場です。みんなでわいわいガヤガヤ笑って、昔を語ってメンタルを元気にして、ボケを防止するんです。家でじっとテレビを見ているだけではダメです。世話好きなおせっかいおばさん（時にはおじさん）が、みんなのコーディネータ役です。プランは、時間が10時から3時くらいまでです。費用はランチを食べる人は500円から700円くらい、ランチを食べない人や半日しかいない人はお茶やお菓子、おつまみ代として200円か300円です。利用する人の中から食事係を2、3人決めてランチのお料理を作ります。世話好きでお料理が上手なおばちゃんもいると思います。食事を配膳したりする係も必要です。元警察官や消防士、自衛官は運転のプロです。まだまだ運転ができるので低層ワゴン車を使って送迎係ができます。元保育士の人は子どもや孫の面倒を見て、近所のお医者さんや元看護師、介護士などは体調管理の係ができると思います。何もできないと思って

いる人も、話し相手や雑用係です。そういう係は基本的に全部有償ボランティアです。例えば時給 200 円か 300 円で安いかもしれませんが、それでも 5 時間やったら千円です。夕食のおかずやお酒のつまみが一品買えると思います。送迎車は 6 人か 7 人乗りのワゴン車です。場所は自治体が空き店舗などを用意します。地方には空き店舗がたくさんあります。机や椅子、大型冷蔵庫や空調などの設備補充は全部自治体が出します。初期費用は市町村が税金から負担して、民官一体です。ここは大事なことです。「民」が先ですよ。国や公務員は必ず官民一体と「官」を先に言いますが違います。本当は「民」が先で官は支えるだけです。私は 20 年前からそう言って戦っていますが、テレビや新聞は「官」を先に言います。民がやることを官が支えるのが本当です。日本は民間の方がはるかに有能です。公務員は口を出さずにボランティアで支えて「元気シルバーワキアイアイ」になるのです。

補足です。ある方から「そのまま 3 時過ぎから子供食堂にしたらどうですか」と言われました。これは無料提供です。夜 8 時過ぎに親の迎えがくるまでです。実際の子供食堂では迎えがそのくらいの時間になることがあるそうです。「迎えが来ないので、まだ居ても良いですか？」ということがあるので、後片付けを手伝ってもらったりしながら迎えくるのを待っているのだそうです。元教師が勉強を見る係をしたり作文を書くのを手伝ったりします。小さい子どもには読書係が本の読み聞かせをしたりします。ゲームはさせません。紙芝居係はお絵かきを手伝ったりするのも良いと思います。実は私が作った紙芝居の原案があります。得意な方がいたらどうか絵を描いて欲しいと思っています。悩み事相談も良いと思いませんか。時間に余裕のある弁護士や税理士、社労士などが相談にのります。シルバー食堂と子供食堂として朝から夜までやるので、地域自治体の協力が必要なんです。岐阜でやってみようと思っています。岐阜は知事が後輩で市長は選挙を応援した人です。ぜひ協力して欲しいと思っています。岐阜の大学でも 200 人くらいの講演会でこの話をしました。これに興味のある人はこの後のゼミで詳しくやりますので、ぜひ参加してください。

次は「気づき」です。児童相談所は気づいていても、この間の子のように悲惨なニュースになってしまいます。たくさんの大人が気付いていたはずです。引っ越す前に住んでいた児童相談所も、今住んでいたところの児童相談所も、学校の先生も気づいていましたが救うことができませんでした。栃木の小山でも教え子がコンビニでアルバイトをしていて、買わないのに毎日来て見ているだけの子がいると気づきました。アザがたくさんあるという相談があったので、当時の市長が後輩だったので急いで言って児童相談所に連絡をしました。すぐ

に保護して、セパレーションと言いますが親と離してケアすることができたのでセーフでした。イギリスでは問題があった場合、すぐにセパレーションします。この間の子は警察が児童相談所に言って親に戻ってしまったので、痛ましい結果になりました。裁判で「死ぬほど悲しい」と母親は言っていましたが嘘です。「夫の暴力が怖かった」と言って懲役十数年になりましたが、本音は子供の面倒を見ているより、男と一緒にいる方が楽しかったのです。そういう相談を岐阜の柳瀬でも何人も聞きました。子供がいるのに男を作ってしまうのです。「この人が好きで離れられない」という人はたくさんいます。警察、学校、病院は様子ですぐに気づくはずですが、ところが公務員はお節介なことはしません。児童相談所の所長がテレビで「いろいろ検討したのですが」とは言っていましたが、絶対に許されない結果になってしまいました。

「虐待」や「いじめ」、「孤独死」は無い方がいいに決まっています。奥さんを亡くして3年の同級生が亡くなりました。「いい奥さんだったから、やる気を失っていた」と聞きました。でも「そうだな、悪い奥さんだったら違ったかもな」とは言えません。

ぜひシルバー食堂と子供食堂をやってみてください。全国に子ども食堂は5千箇所あります。シルバー食堂も数件あるようですが、週に1日だけだったり、限られた時間だけでやっているようです。来週、岐阜でやっているところに行ってみようと思っています。そういうところがちょっとあって、ただおしゃべりしているだけで良いと思います。秋田でやるという人がいれば、本気でアドバイザーします。秋田県の議員や市の議員さんにも話しに行こうと思っています。最近、小池百合子が「先生、相談があります」と言ってきています。これを教えたなら彼女は都知事選に再選するかもしれません。でも言いたくありません。

残り時間が少なくなりましたので、質疑応答にしたいと思います。ありがとうございました。

藤 本 福岡先生、ありがとうございました。福岡先生にもう一度盛大な拍手をお願いします。この後、休憩をはさんでゼミを開催いたします。ご希望の方はぜひご参加ください。本日はお集まりいただきありがとうございました。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「－不在の日本－」

講師 白鷗大学 名誉教授
ノースアジア大学総合研究センター客員教授 福岡 政 行

司会 ノースアジア大学総合研究センター長
本学経済学部教授 藤 本 剛

日時 令和元年12月7日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館271教室

藤 本 本日は足元の悪いなか、福岡政行先生の講演会にお集まりいただきありがとうございます。今日は「不在の日本」というインパクトの強いテーマでお話をいただきます。最近出版された本や最近の日本の状況についてもお話しいただけるとと思います。それでは福岡先生よろしくお話をいたします。

福 岡 こんにちは。昨日秋田に入ったのですが雪が結構あったので、もしかしたら今日は中止になるかなと思っていました。寒いですがせっかくみなさんにお集まりいただいたので、気合を入れてお話しします。

冒頭になりますが、中村哲さんが亡くなったことについてお話ししたいと思います。彼と私は面識がありました。師匠の筑紫哲也さんととても仲が良く、テレビ番組にも随分一緒に出ていました。収録が終わった後、食事をしたりするときいろいろな話をしました。会うたびに本当に目が優しくなっていました。人道支援の活動をしている人たちはとても優しい目をしています。

前にも度々触れていますが、相馬雪香先生が「難民を助ける会」の理事長をずっとしていました。作家の尾崎行雄のお嬢さんです。福島の前相馬藩に嫁いで、様々な人権活動や支援活動をして96歳で亡くなった方です。国会の中にあるみんなが講演などをする憲政記念館は、昔は尾崎記念館と言われていました。今では三木武夫さんや中曽根康弘さんの方が長く国会議員をしていますが、尾崎行雄の衆議院名誉議員を記念して建てられたところです。先日亡くなられた緒方貞子さんも相馬雪香先生に同じような指導をされてきた方です。私たちはルワンダなどに贈りたいと思っていた井戸掘り機を、ある方から貰ったことがありました。結構大きな物だったのですが、それが難民を助ける会に寄贈されました。そうしたら筑紫哲也と私が相馬雪香先生から呼ばれて「なんとかしなさい」と言われたのですが、大きな機械をルワンダまで送るには何か所かを經由しなければなりません。輸送費が800万円くらいかかりそうでした。「他の方法はないのですか」と聞かれて、私はふと「自衛隊の輸送機に乗せるとなんとか運べるように思います」と言うと「すぐにあなた達が知っている政治家を呼びなさい」と相馬先生に言われました。私たちは小淵恵三さんの後輩にあたります。ちょうど小淵さんが外務大臣のときで、すぐに連絡をして自衛隊の輸送機でルワンダに届けたことがありました。そのときに言われたのが「あなたたちはお金がないし力もない。力は学生たちが出せばいい。でもあなたたちは人の前やテレビでいろいろなことを発言できるのだから、いろいろな人にもっとそういうことを言いなさい」でした。当時90歳を過ぎていたであろうお婆ちゃまに、こっぴどく叱られました。何度もお話ししていますが、私たち

は三木睦子、加藤シヅエ、相馬雪香という三人のお婆ちゃまから指導を受けてきました。この中村哲さんもその関係でペシャワールに行っていました。ペシャワールはパキスタンですから、まだ安全な部分のあるところだったのですが「アフガニスタンは危険なんだ」と筑紫さんもずっと言われ続けていました。そういうところで起きたことなのです。おそらく医者として殺害されたのではなく、運河を作って水路ができたことで土地の値段が上がってしまったことで、おそらく政府などの関係ではなく最近のISなどのグループの意図的な犯罪です。そんなことをやっても何になるのかという思いがします。きっとご本人も悔しい思いで亡くなったことと思います。今日のテーマとは少し違いますが、このことはぜひお話ししたいと思って、急遽補足しました。

今日は「不在の日本」というテーマです。1ヶ月にわたって「桜疑惑」のことが続いているような状況です。桜が散るかどうかという問題です。この話を中心的に話ししていきます。

長期政権のゴマすりというか忖度があります。内閣府の官房長官や課長補佐は国家上級職試験を受けて合格した600人の中の人たちです。合格順位が上から20～30番までの人は財務省に配属されます。100番くらいまでの人は外務省と経済産業省です。厚生労働省や農水省などはあまり合格順位が高くない人たちが配属されるので、上級職としては三流になります。内閣府は各省から調整役としてくる人たちなので配属とは少し違います。前川喜平さんという事務次官がいました。株を公開していませんが、前川製作所という大型冷蔵庫を作っている世界的に優良企業の御曹司です。彼は10番台で受かっていますが、彼は文部省を希望して入省しました。そういう人たちもいます。報道ステーションに出演していた古賀茂明は経済産業省の出身です。テレビ局を追われてしまいました。彼と私は大変親しくしています。彼は麻布高校から東大法学部に進んで国家上級試験を受けました。10番台で受かりましたが、彼は城山三郎先生の『通産官僚の夏』という本に憧れていて、強い思いで希望して通産省に入省して審議官になりました。次は次官だということまで来て、国会で3.11の時の政権だった菅政権の対応を批判したことで外されてしまいました。ブログは大変人気があるようですが、今は何もやっていません。

霞が関の人間は殆どヒラメです。上しか見ていません。筋を通すことをしません。みなさんもお気づきのように、無くなったと言われていた文書がリークされて出て来ました。コンピュータの大元にあったはずのサーバーのデータももしかすると誰かが持っていて、何とかすると出てくるのではないかと内閣府やいろいろな関係機関が犯人捜しをしています。「なぜ共産党が次々にデータ

を入手するんだ」とやっています。だから志がある人がいるのなら出て来て、はっきりと「私のところにそのとき貰ったものがあります」とやればいいのです。テレビ局に持ってくるくらいの覚悟の人がいればいいなと思います。もしかすると、もう一つ大きなことが出てくるかもしれないという話が、昨日一昨日あたりから出回ってきています。ここ1、2週間くらいで安倍政権が飛ぶようなデータが出てくる可能性があります。

桜疑惑について7点触れていきます。まず1点目、これだけで通常はアウトです。税金をつかっています。1,700万円くらいの予算だったものが4,700万円くらいかかっています。会計検査院は何をしているのでしょうか。会計検査院というところはかなり厳しいです。通常は執行額が予算の倍近くなった段階で、なぜ予算通りになっていないのかチェックを入れます。「それは総理大臣の関係者を招待しているのだ」と言われても、会計検査院の人に志があれば戦うのかもしれませんが、会計検査委員長などは退職後の天下りのこともありますから、問題を荒立てたりしません。会計検査院にいと退職後はメガバンクの重役などに天下って70歳ころまで二千万円くらいの収入です。車も個室も秘書も付いているような待遇があるとすれば、人はそこに憧れていくのだと思います。

それから、選挙の有権者千人を接待したらそれだけで公職選挙法の違反で犯罪です。そのことについては内閣府が隠したい事例としているようです。それに二千万円近くかかっている食事代も問題です。最近の報道でも分かるように、その業者は昭恵夫人のお友達です。一緒に映っている写真をインスタグラムで見ることができます。私も昭恵さんと一緒に食事をしたことがあります。悪い人ではありませんが森永のお嬢様ということもあって、なんとなく感覚が違います。彼女にゴマをするような人がいるとすごく大切にします。「先生、この人をよろしくお願いします」と言われることがあります。結構問題がありそうな人が多いような気がします。そういうところもあって、本当はひとこと言ってあげればいいのかもありませんがそうするつもりはありません。

とにかく税金をつかって選挙運動などをやるなんて、とんでもないことです。問題の昼食代はホテルニューオータニです。問題の食事は五千円でできなくても、できることにしています。「桜を見る会」の数か月後に、内閣総理大臣主催の三百人くらいのパーティをした書類が出て来ました。その食事代は一億数千万円でした。海外の元首が出席しているものなのですごい高級ワインなどを使っていたかもしれませんが三百人で一億円、一人当たり何十万円もかからないと思います。ホテルニューオータニはそういうパーティとバランスをとって

調整して「桜を見る会」は1人当たり五千円でできると言っています。ホテルニューオオタニのオーナーの大谷家も安倍晋三さんととても近い関係の人です。私は今まで会員になっていましたがこの件でやめて、もう宿泊しないことにしました。

二つ目は反社会勢力やマルチ詐欺と安倍晋三です。ジャパンライフと一緒に写した写真が出回っているので「同席したことはある。ただそれだけです。そんな人を招待するわけがない」と国会答弁で言っています。30年前、安倍晋太郎さんが外務大臣をしていたときの外遊にジャパンライフは同行しています。そのときの第一秘書は安倍晋三です。秘書として一週間ほど一緒にニューヨークに行っていました。だから「会っただけ」という関係ではありません。昨日の夕刊誌等々に出てきたのは、30数人のお中元リストに安倍晋三さんの名前が載っているというものが、ジャパンライフから出て来たということです。霞が関の人の中から「私も持っていますよ」という人たちが出てくればいいなと思います。国会議員の中にもお中元をジャパンライフから貰っている人が32人います。テレビでよく聞くような人も含まれています。多くの人たちがジャパンライフと関わっていて、リークが続いています。ジャパンライフは相当始末が悪いです。ニュースで見ているとわかるように2014年の段階で行政指導を受けています。その段階で「この会社は危ない」と言われて国会招致の話も出ましたが、政治的圧力がありました。そうなった元の資料があるそうなので、おそらく共産党は手にしていると思います。それを内閣府が提示してくださいと言っても「ありません」と言っています。はっきり「ない」と言ったことを確認してから、もしかすると来週のどこかで出してくるかもしれませんが、そのときには政治的な波紋が生じると思います。お中元をやっていて加計学園のときと同じように、総理官邸の安倍サイドにしょっちゅう連絡を入れています。「とにかくそんなことしたら、うちは潰れてしまう」と言ったのだと思います。そして2015年の桜を見る会の招待状を出して、ジャパンライフはあえて出席しないでそのコピーを宣伝に使って勧誘のときに信用させています。そしてどんどん詐欺の被害者が出てきてしまったということです。実を言うところの問題をやったのが沖縄で有名なヤクザの方だそうですが、どうも1人ではなく数人の反社勢力のようです。

私は『夜郎自大の安倍政権』という本を7月に出しました。9月ごろに完売したので2刷に入っています。日本の有名な出版社や進歩的な新聞社が出せないというので自費出版をしました。その中にはいくつかの情報が書いてありますが、時間の関係もあるので1点だけ紹介します。今から7、8年前に「下関

火炎瓶事件」というものがありました。下関の市長選挙がありました。安倍晋三さんの関係者が出馬していたのですが負けそうでした。一生懸命にやっていますが、世論調査になると 53 対 47 くらいで逃げ切れそうではありましたが、危ない状況でした。そんな選挙戦の最中に怪文書が撒かれました。「対立候補の〇〇にはいろんなスキャンダルがある。一つ目はこんなこと、二つ目は何々、三つ目は…」と書かれてありました。約一万五千世帯にそのビラ配りをしたのが、下関の山口組系の工藤会というところの親分と数人の組員です。北九州で山口組と対立して潰されたことが最近ニュースになっています。ビラ配りのお礼の約束は 500 万円くらいだったようです。選挙が終わってみると安倍サイドが勝つことができたのですが、実際に払われたのは 200 万円か 300 万円くらいだったようです。それで頭にきて「約束が違うと言って」工藤会の関係者数人が、下関の安倍晋三の自宅と事務所の駐車場に火炎瓶を投げ込んで火を付けました。ボヤ程度で済みましたが、そのとき捕まった工藤会の親分さんは今でも刑務所に入っています。放火で人身的な被害がなかったのに懲役二十年です。検事をしている後輩にさりげなく聞いたところ「人が死んでいなくて、ただ放火で二十年というのはどう見ても重い」と言っていました。判決というのは前例や判例に従うものです。放火と言っても駐車場で何も燃えないボヤのようなものです。時の総理大臣の自宅と事務所の二か所を狙ったと言うのは確かに大変なことだということで懲役二十年です。けど今でも刑務所に入っていて、北九州の工藤会がついに潰されました。大きなニュースになっています。いわゆる反山口組ですが反社勢力です。そこにかつては頼み事をしていたのです。これはどういうことなんだと思います。私の友人のジャーナリストが、『テーマミス』という雑誌にこのことを書いた後、新宿の地下鉄の階段の十七段目から突き落とされて、救急車で東京女子大に緊急搬送されました。右肩骨折のだけがです。それから公安にいる私の教え子から「新幹線に乗る時はホームの線路際には立たないで、電車が止まってから動いてください」と言われています。

3 点目はテレビ局の教え子たちと連絡をしていることです。招待者名簿の数字についてです。60 番から 63 番が「総理大臣等」となっているのがよくわからないから、実物を出さなければならないと野党も攻撃しています。60 番台が総理大臣の関係者で、61 番が官房長官の関係です。62 番と 63 番は副官房長官です。副官房長官は政治家で二人います。これは誰が見ても分かることです。リストを作って分けするのは官僚の得意技です。誰が誰を何人呼んでいるのかが分かりやすく、間違わないようになっています。60 番台が安倍総理の関係者であることは間違いなくて、0001 から 1000 数百番第まで山口県下関

防府の選挙区のPTAや知り合いの連中が全部入っています。800人だけでもニューオオタニで食事をしています。その他の人も知り合いや友達として来ていたのです。そして2000番からがジャパンライフを含む業界の関係者です。3010番台が昭恵さんの関係です。そんなことは少し調べるとすぐに分かります。そんなふうに区別しています。官僚たちに聞いてもそういうことは常識の範囲だと言っています。ジャパンライフが勧誘に使った受付票は、会に出席した人はみんな受付で回収されます。ジャパンライフは出席しないで宣伝用に手元に残したのだと思います。そういうことを現物がなくても、もっと鋭く突っ込めばいいと思うのですが教え子がたくさんいる野党も攻めきれいていません。これはぜひ参考にしていただいて、テレビ局などにも言ってみてください。先週仙台でも同じことを話しました。そしたら某テレビ局から「妙なタレコミがありました、先生の関係ですか」と問合せがありました。

4番目は内閣府からリークやコピーがかなり出ています。出ているのですが忖度してそのことを答えない人もたくさんいます。モリカケ問題のとき、柳瀬というのが「記憶にありません」と答えて大問題になりました。あれだけ問題になった彼は3年経たないで天下って、今は国際協力銀行の幹部です。将来は頭取か総裁ですね。まだ60歳そこそこです。こういうことが行われています。古賀茂明は完全に消されましたが頑張っています。前川次官は前川製作所の株もあるのでお金には困っていないと思います。こういうことを考えると、天下りのことしか考えていないのかもしれませんが。とにかく35歳くらいでメインのところで課長補佐から課長になったかどうかの影響するのです。財務省なら主計局か主税局がメインです。理財局や関税局はメインではありません。将来、次官や局長・審議官になれるかどうかは35歳で決まります。嫌な世界ですが、みんなそういうことを考えているのです。奥さんの実家や妹さんの嫁ぎ先が力のある国会議員や官僚の関係ならば、もちろんまた少し話は違います。でも男としてどうかと思いますが、そういう結婚をしている人が3人に1人はいます。上級国民なので世界が違います。忖度すれば天下りができるという霞が関の不文律です。

5番目は安倍総理の理不尽についてです。この間、近畿理財局の自殺された職員のお父さんがTBSの番組に出ていました。やれるのはTBSだけです。日本テレビとフジテレビは絶対にやりません。出て来て遺影はもちろんばかされていましたが「かわいそうだった」と言っていました。この人は高校卒でJRに就職した人だったのですが、夜間大学で勉強して大阪の国税局に入った頑張り屋でした。理財局の平職員ですが、佐川に言われて書類を改ざんして「つら

い。こんな馬鹿なことがあっていいのか」と言っていたそうです。遺書というよりはメモのようなものだったそうですが「こんな理不尽なことがあっていいのか」と書いていたそうです。私はすごく気持ちが分かります。私は駒澤大学で34歳のときに時の法学部長に逆らって17年間助教授をしていました。ずっと窓際です。でもそのときゼミ生が「先生は窓際だけど陽が当たっているから大丈夫」と言ってくれました。38歳くらいからいろいろな仕事をしていましたが、理不尽なことはあります。とにかく改ざんと隠蔽とシュレッターです。今は何でもすぐにシュレッターです。でもシュレッターしてもプロが見ると元々のデータはパソコンに残っていて復活できるんだそうです。シュレッターの中にあっただのが行政文書ではなかったというのなら、復活させた文書をまた印刷すればいいのです。そういうバカなことをしているのです。菅官房長官には悪いけれど、ああいうやりかたがまかり通るとするのは子供達には悪い教育になります。筋を通して生きた方がいいということを教えた方がいいと思います。

後輩の柳井というのがヒートテックを作って500万着完売になりました。新年会で先輩風を吹かせて「来週ゴルフだから一着くれよ」と言ってみました。すると「完売してしまって在庫がないんです。僕ので良ければ」と立ち上がって脱ごうとしました。もちろん断りましたが、その時の彼の言葉が「次が勝負です」でした。Next One なんです。

6番目は反安倍をテレビから追い出すということを萩生田文部大臣がやっていました。彼が副長官だったときにスタッフ5人くらいで全てのテレビチャンネルを見てチェックして「テレビタックルで福岡がこんなことを言っていた」などとやっていました。早稲田実業高校から早稲田大学には8割進学できます。でも彼は行くことができなくて明治大学に行きました。あるところに「実はいじめられっ子だった」と書いていたことがあります。今はあんな偉そうな態度をしていて、とてもいじめられっ子にはみえませんが、彼はそういう卑小な男です。反安倍は私だけでなく、いろいろな人が同じようなことをされています。

7番目はポスト安倍です。本当にポスト安倍がいません。野田聖子というわけにもいきません。岐阜のパーティで彼女が秘書を怒鳴っている姿を見たことがあってうんざりです。田中角栄が言ったことは「人前で人を怒鳴るな。人前でお金を渡すな」でした。一緒に仕事をしたことがありませんでしたが、角栄さんの関係の仕事をするとう秘書がトイレの側までついてきて人目につかないように「ありがとうございます」とお金を渡してくれました。人はお金を貰うのは嬉しいですが、人の前では嫌なものです。「人前で怒鳴るな。怒鳴るときは

後で」というのも同じです。私はボランティアに行くと学生が気になることをしても、その場では怒鳴りません。反省会やごくろうさん会をしているときに「あのときどうしておばちゃんたちに上から焼きそばを渡したの」と聞いて、他の学生にも「あれを見てどう思ったか」と聞きます。すると先輩たちが「座っている人にはしゃがんで渡すもの。絶対に上から渡すものではない」や「しゃがんで次に何か欲しい物はないかも聞く」などと言います。私は聞くだけ聞いてあとはOBやOGが教えていきます。それが反省会です。人前で怒鳴っているのを見て、とても嫌な気分でした。その他の人として石破茂は「帯に短し襷に長し」です。私は石破に覚悟を決めて出てこいと言っています。後でも触れますが、小泉進次郎にも出てこいと言っています。福島のことも分かっていないのだから教えてやるからと言っています。でもおそらくダメです。岸田については広島テレビでボロクソに言ったら、県立広島大学から「先生、今年で結構です」と断られました。中国放送の社長は早稲田のアナウンス研究会の後輩です。そういうことが全国的に行われています。広島の次は静岡の大学に特任教授で行くことにしました。

補足です。憲法第15条2項に「すべて公務員は国民全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない」とあります。私はいろいろな大学の公務員講座で学生にまずこのことを真っ先に暗記させます。「国民の奉仕者であって局長や政治家の言うことを絶対に聞くな」と教えて、公務員になっていくのですが、どんないい子でも5年経つと殆どがこのことを忘れていきます。自分の立身出世を考えるようになるのです。

10年くらい前に宇都宮で1歳くらいの子供を連れてお母さんが生活保護を役所の窓口に取りに来ました。振込口座がなかったので、口座を作ってからまた来ますと言って帰って行きました。それが12月の年末のことです。年が明けて1月7日になっても何も連絡がありませんでした。それで福祉課の方が2人で訪ねて行きました。ガスも電気も止められていました。宇都宮でも12月は氷点下になってとても寒いです。中から赤ちゃんの泣き声が聞こえていたのでドアをノックしましたが、反応がありませんでした。それから3日後、赤ちゃんは救急車で病院に運ばれましたが衰弱死してしまいました。そのとき宇都宮市役所福祉課の40代くらいの女性がテレビで「行政としてドアを壊してまで中に入ることはできません」とコメントしていました。当時の栃木県市長は私の弟子で今の知事です。ゼミ生が同席してた部屋で「赤ちゃんの命よりドア1枚の方が大切なのか」と私は彼を怒りました。それから2日後「責任をとって退職金を4割カットします」と市長から連絡がありました。彼はその後、県知

事になりました。同じような事件がその後、神奈川県の大和市でもありました。つまり公務員は絶対にドアを壊してまでそういうことをしないということです。処罰されてでも「子供の命が優先だ」とやるような人はいません。小さな赤ちゃんがいるのにお金がなくて生活保護をもらいに来たという状況を分かっていたのに、それでもやらないということが許せません。市役所に怒鳴りに行きたい気分でした。

今、テレビ局の人たちにも同じように憲法第15条2項をよく読めと言っています。テレビに出てコメントしている連中にも言っています。そういう人たちがうまくキーワードを言ってくれればいいなと思っています。安倍1人のための公務員ではないのです。「国民全体の奉仕者」であるはずが、加計学園に続いて理不尽なことばかりおきるのはなぜかと思います。おそらくこの先1、2カ月で何とか状況を変えたいと思って、頑張りますので期待してください。

次は日本経済マイナス基調についてです。消費税が10%になったことがボディブローになっています。まだ2ヶ月しか経っていませんが、今日の新聞に出ているように10月の景気指数がマイナス5.6ポイントで前回より下がりました。3.11のあるときガクッと景気が下がってマイナス6.1ポイントくらいでした。2008年を100とすると、今は95くらいです。この3年間で5、6ポイント下がっています。

消費が落ち込んでいます。仙台のゼミ生がコンビニでバイトしているのですが「ヤクルトの商品が棚2段くらいあったけれども1段になりました。ほかの商品と組み合わせて陳列していますが売上げが伸びません」と言っていました。弁当類が半額になる夜8時を待ってお爺ちゃんやお婆ちゃんたちが買い来て、イトインのところで食べて帰るそうです。10円でも20円でも安くしようとしているのです。とにかく消費税10%は来年もきついです。

実は大企業の利益も10月以降減ってきています。内部留保ばかり増やしていますが、それも減ってきています。私は社外取締役を複数していますが、そこでもやっぱり前年対比に▲が少しずつ出て来ました。海外も中国があのような状態ですからそんなに簡単にはいきません。企業収入はダウンです。そうなると来年は法人税も当然下がります。

ところが、ここにきて25兆円の経済対策をすると言っています。すべての小中学校生が1人1台使えるようにパソコンを買うのだそうです。私は必要ないと思います。同じ時間帯でやる訳じゃないのだから、パソコンの授業と何かパソコンを使う授業があるのだとは思いますが、100台くらいで3クラスが同時に使えるような状態にしておけば十分な気がします。予算規模は4千億円だ

そうです。パソコンの会社から政治献金を貰っているのではないかと私のような性格はすぐに考えます。そういう無駄なことをやって、どこにそういうお金があるのかと思います。

日銀の総裁が何かをやっても経済は全然上がりません。日本経済新聞でも「アベノミクスは終わりました」と書いていました。こんなことやっていて、この人が終わった後の日本はどうなるのか心配です。今日のこの会場には身内に大学生がいる人がいないと思って話しますが、今の3年生は気の毒です。一気に就職が大変になります。旅行会社や外食産業は人が欲しいと思っているのでまだ売り手市場ですが、一流企業や大手は採用予定を絞っていくと思います。今の2年生は再来年になったらもっと大変です。だから「学校の成績だけではなく何か特技を持ちなさい」と言っているのですがなかなか難しいです。

賑わっているのは外国人観光客だけです。この賑わいはすごいですよ。この間同窓会をやりました。雷門前で待ち合わせして、みんなで揃ってお店に行きました。アジア系の日本人のような顔をしている人が大勢いましたが、ほとんど外国人でした。韓国、香港、台湾が多いようでした。10分くらい雷門の前に立っていたのですが、ちょっと変な日本語でカメラを持ってきて「これで写真を撮って」と何度も頼まれます。これからオリンピックもあります。あの外国人たちを仙台や秋田にも呼べるように何か考えなくてはいいと思います。例えば秋田なら雪で滑り台やカマクラを作ってみるのはどうでしょう。ホテルから見えたら行って見ようと思う人がいるかもしれません。秋田の良いところをもっと宣伝した方がいいと思います。正職員や公務員はいいです。年金もきちんともらえます。パートやアルバイトは雇用調整の部分ですから、要らなくなったら直ぐに切られます。6ヵ月契約だとアメリカ方式の使い捨てです。本当に大変です。秋田県はもっと売り方があると思います。名産のハタハタやきりたんぽも好きな人ばかりではありません。それでもヨーロッパには好む人たちがいます。ターゲットを決めた作戦を考えなければなりません。お肉や魚介類など他にも美味しいものがあることを宣伝すればいいのです。

前日も言いましたが週1日でいいので、シルバー食堂と子供食堂をやってみてもらえませんか。市議会議員や県議会議員に知り合いがいる人がいたら応援しますから、空き店舗を使ってやってみてはどうでしょう。料理が得意なおばちゃんもいると思います。場所や設備は県や市が負担して、とにかく週1回やってみるのです。東京ではもう何十か所もあります。子供食堂をやっていたら、昼間空いているから11時からシルバー食堂をやる。ひとりで来られない人の交通手段は、中古でいいので県や市がワゴン車を買ってボランティアが送迎をす

ればいいのです。コーヒーやお茶だけの人は1回100円、ランチを食べる人は500円もらって、それで食材を買ったりするのです。話し相手がいるところに60、70歳代のお爺ちゃんお婆ちゃんが来て、4時くらいから学校が終わった子供たちが来る。勉強ルームを作っておいて元学校の先生たちが勉強を教えてあげる。それを週1日だけ但实际上にうまくやっているところが数か所あります。その様子を映像でお見せしたかったのですが、今日は間に合わなかったので次回の3月でご紹介したいと思います。岐阜では弁護士をしている後輩がやってみたいと言っています。料理好きのお婆ちゃんは絶対にいると思います。今度岐阜の大学で講演することになっているので終わってからその話をして、関心がある人に手を上げてもらおうと思っています。そういう人がいたら手伝ってもらおうのです。車の運転については元警察官や自衛隊の人がやって、中古でいいからワゴン車を用意すればいいのです。関心がある人が集まらなかったら知事をしている後輩に話をしてみることにしています。週1回くらいだったらそんなに負担になりません。慣れてきたら2回やってもみてもいいかもしれません。そうすると引き籠りの高齢者もいなくなると思います。

すでにやっている私の関係のあるところでは、小学校5年生の男の子がずっときてくれています。最後はお皿の片付けも手伝ってくれたりします。ずっといるので「お母さん、どうしたの」と聞くと「家にいるけど、ここに来ると楽しい」と言っていました。掃除まで手伝ってくれます。そういうことを広げて行ったら、シルバー食堂と子供食堂を同じ場所ですることができます。料理を作ったりするのも一緒にできます。少しのスペースがあれば勉強部屋にして教えてあげることもできます。子供食堂で宿題をしている子はたくさんいます。「福岡先生は何が教えられるの」と聞かれましたが、国語と英語が少しできるかなと思います。そういう経済としてはお金にならなくても、地域社会の中で頑張れることをぜひやっていただきたいと思います。いろいろなところで今、反響が出てきていますのでアイデアを提供することができます。

日本外交については教え子の外務省の職員がお酒の勢いで「日本外交の戦略がない」と私に泣きついてきます。「そう言えばいいじゃないか」というと「言ってしまうと僕は北米局長になれないし、外務省の事務次官にもなれません」と言っていました。今のところエリートコースを来っていますが、そろそろ無理が来ているように思っています。

もしかするとトランプ大統領が失脚する可能性が出て来ました。いわゆるウクライナ疑惑というのがあります。12人呼んであれだけの証言が出て来ます。トランプの周辺や共和党は「物的証拠がない」と言っていますが、現場

にいた人が3人も4人もあれだけの発言をしたら、まず弾劾は下院でもって上程されると思います。クビになるかどうかは上院でやりますが、下院は共和党が3人多いです。3分の2を獲るにはまだ20人足りません。とにかくトランプの顔つきが変わりました。よく見て下さい。顔がシワシワになって、相当メンタルに悪い部分が出て来ているようです。NATOの会議が終わった後、カナダのトルドー首相やフランスのマクロン大統領やイギリスのメイ首相が雑談で「1人で何10分も喋って」とトランプ大統領のことをボロクソに言っていたそうです。完全に浮いていたそうです。だから大した用事もないのに1人だけさっさと帰国してしまったのだそうです。トランプ大統領は相当厳しいところにきていて、大統領選挙に出馬できるかどうか分らなくなるかもしれません。相当メンタルにきていて途中で具合が悪くなって辞めるようなことが、来年の春までにあるかもしれません。もちろん民主党は誰になるかわかりませんが、相当有力な人を出してくると思います。アメリカはまだ株価が高いままですが、内容はそれほど良いとは思いません。

度々お話ししていますが、プーチンも国内の支持率が落ちて来ました。ウクライナを弾圧しているのでまだ「ロシアファースト」とみんな喜んでいますが、北方領土は頭の片隅にもありません。だから食事をご馳走してもまったく振り向きません。だけれど彼自体が永久独裁で失脚する可能性が出てきました。ロシアという国は実は一つにまとまっていません。大変なことになるかもしれないので、しきりに北朝鮮に行動を起こせと言っているようです。確証はありませんが「面倒は見るからやれ」などといってミサイルを北朝鮮に提供しているのかもしれません。北朝鮮がさらに頑なな態度になったとき、トランプ大統領が日本のことを考えずに攻撃をしかけるようなことになったら何十発かのミサイルが我が国の日本海側に落ちる可能性があります。「まともに目標の的まで飛んで行けばいいのですが、射程誤差が何十キロとあるので確率が100分の1だとしても大変危険だ」と北朝鮮の専門家が私にメールをくれました。

その間に南沙諸島をどんどん整備して飛行機もホテルもビルも作っていますが、すぐに波を被ってしまうようなところです。どう見ても基地を作っているように見えますが、南沙諸島は中国特有の領土ではありません。来週か再来週に日中韓の首相が集って会議をするそうです。安倍さんが習近平と会います。そして来年には習近平が日本に来て、天皇陛下にお会いします。前にもお話ししましたが、まだ首相でなかった習近平が日本に来たとき天皇陛下に会いました。そのとき天皇陛下の前で足を組んだのです。常識がある人は天皇陛下の前で足は組めません。相手が組めばできるかもしれませんが、天皇陛下でなくて

も目上の人の前では足を組むところか、暑くても上着も脱げません。目上の方が脱いだら自分も脱ぐことができますが、そんな礼儀を知らないのです。習近平にはそういうものがないそうです。毛沢東や周恩来をはるかに越える存在だと、自分自身で思っているそうです。外交関係は前回お話しした状態と変わらず、袋小路のままです。

次回の3月もここで話ししますが、いよいよ2020年、オリンピックの年になります。ここにきて解散総選挙の話があります。今は75歳以上は医療費の窓口負担が1割です。それを2割にする話が出ていましたが、延期になりました。厚労省に行っている教え子から「解散総選挙になりそうですか」と聞かれました。年金も減ってきているのに医療費負担は増えるとなると高齢者は大変です。75歳以上を後期高齢者と言ってきましたが、これからは末期高齢者と言わなければならないかもしれません。

今日のタイトルの「不在」の問題ですが、とにかく志のある官僚はほとんどいません。不在です。でも最近は何名ですが、リーク文章を出している人が出て来ました。共産党に送ったりテレビ局の情報ポストのようなところに入れたりしているようです。問題の名簿などをテレビ局に入れたりすると百万円近く謝礼がもらえたりするようです。今はそうやって情報を流す人たちがいるのですが、志のある官僚が殆どいません。

不在といえば、野党も日本の中にはいません。枝野が官房長官のとき、3.11の福島原発について「直ちに人体に影響はない」と言いました。とんでもないことで原発をなめています。人間には20年も30年も影響があります。弁護士だから、その場に応じて瞬時にパッと発言してしまうのは分かります。でも10年、20年経ったらどうなるのかまでを考えてはいません。広島は今でも亡くなっている方がいます。このときからこの男はダメだと思っているし、華がありません。見たことはありませんが、カラオケも周りに関係なく1人で好きな歌を唄っているらしいです。立憲民主党の中で「みんなでやろうよ」とはならないようです。そういう気持ちがありません。ダメだと思います。テレビで何度か一緒になりましたが国民民主党の玉木もヘナヘナです。頭も顔も良くてエリートだと思いますが、心がありません。

先週、小泉純一郎さんに東北福祉大学にきていただきました。本来の講演料は300万円ですが、今回は私がやるということで無料で来てくれました。「お食事くらいは」と言ったのですが「忙しいから」と断られてしまいました。「交通費などは城南信用金庫が協力してくれる。終わったらすぐ帰るけれどいいか」ということだったので、それでもいいということで来ていただきました。予定

していた会場は300人ちょっとの広さでしたが、応募者は780人超えで抽選になりました。最初に少し私がお話しして小泉さんを紹介してから、2時から3時半までの約80分間「日本の未来、行く末について」というタイトルでお話しをいただきました。中身は「原発はいらぬ」ということについてです。次の3月の講演会でビデオをお見せしたいと思います。「私が総理大臣のとき、通産省や原発関係者から“原発は安全です”“事故はありません”“何重にも防御装置が働いている”と言われて私も推進したが、そのことが間違っていた。過ちを改めないことが過ちだ。私は深く反省し間違っていたことを認める。原発はいらぬ。進次郎が環境大臣になったことは、彼にはプラスもあればマイナスもある。まだ本当の原発のことを充分に分かっていない」とお話ししていました。

2、3年前に『昭和16年夏の敗戦』という本について、お話ししたことがあったと思います。ぜひ書店で買って読んでいただきたい本です。元東京都知事の猪瀬直樹が若いときに書いた本です。彼は作家としては、なかなかのものがあると思います。昭和16年の早春、パールハーバー奇襲の前に陸軍総本部は海軍も含めてアメリカとの戦争をシミュレーションしました。霞が関にビルを一棟用意して、我が日本国が戦争をした場合について東大の先生や陸軍、海軍、霞が関の各省のエリート官僚たちなど約60人を集めて分析させたのです。徹夜で半年間研究した成果が、昭和20年8月のある日に提示されました。30分くらいの報告書について東条英機以下が並んで聞きました。「石炭、石油は日本にはない。艦船も飛行機もアメリカと比べると日本は保有数に劣る。どう頑張ってもアメリカと戦った場合、日本はもたない。どう戦っても半年もたない。日本は負けることになる」という「昭和16年夏の敗戦」の報告を出しました。それを猪瀬直樹がドキュメンタリー風に一生懸命書き上げた、事実に基づいた小説です。小泉さんは講演の最後にまとめとしてこの話をしました。「今やめなければいけないんだ。平成、令和の段階で原発を中止しなければ日本国は大変なことになる。日本は島国なんだ。フィンランドのように地震が何千年もない国が地下400mにオンカロを作ったけれど、まだ使用済み燃料棒は7本しかない。地震のない国を地震だらけの日本は真似ようとしている」という話でした。以前、何も知らなかった私は「貯蔵施設は福島原発にそのまま置くしかないんじゃないか」と言ったことがあります。そのとき東海村の原発の専門家の後輩から「あんな地震があるところに置けるわけがないでしょう」と言われました。最後のまとめで「昭和16年の夏の敗戦」をお話しされたというのは、それが今のお気持ちなのかなと思いました。

来週「自然再生エネルギーの会」の忘年会があります。2、30人くらいの人が来る予定で、私は世話役をしています。そこで小泉さんにお礼を言って「次の総選挙に原発ゼロの会を出てくれないか」とお願いしようと思います。でも前に「私はもう政治はやらない」と言われています。先日もテレビでやっていましたが、小泉さんは中曽根さんが85歳になったときに「政治から引退してください」と言いに行きました。中曽根さんは私のゼミの先輩です。そのとき中曽根さんが「カンカンになって怒っていた」と秘書の方から聞きました。だけどそういうことではなくて、日本の国がダメになって終わりそうなんです。「令和2年の日本の終戦」です。小泉さんに名前を貸してもらいたいと思っています。京都に行って寂聴さんにもお願いします。同じ早稲田の吉永小百合さんにも「最後にひと肌脱いでください」とお願いしたいと考えています。原発ゼロの会は比例選挙だけです。小選挙区はオール野党で戦ってもらいます。それに小泉さんが協力をするとなったら、非公式ですが共産党も乗ります。山本太郎も乗りたいと意思表示しています。彼はタレントとしては2流、3流でありテレビで見ることはありませんが、自分の欲がありません。政治のことについては相当いい奴だと思っています。枝野や玉木は人間が小さいです。そういう人や社会党はいつそのこと退けばいいのです。小泉純一郎と山本太郎でやって、石破を引っ張ってくる。進次郎も入れて、本当は嫌だけど出来ることなら小池百合子と野田聖子も入れて、北海道の前の知事や栃木県の今の知事など、私の弟子で知事をしたことのある人たちに実務をやってもらいます。でもこの話をし始めたら、また圧力がかかってきています。せめて政権交代だけでもやりたいと思っています。霞が関の官僚が忖度しなくても済むように「3年経ったら政権が自民党から変わるんだったら、私は本当のことを言う」というような人がいるかもしれません。古賀茂明は「本当のことを言わなければ人間として自分は終わると思った」と、参考人招致の最後の委員会に呼ばれたときの気持ちを私に話してくれました。そういうことが大事だと思っています。

それから、ここにきて地球温暖化の問題も取り上げられるようになってきています。自然再生エネルギーについては16歳のグレタさんが話題になっています。いろいろな所であれだけのことをアカペラで発言できるというのはすごいことです。孫もかわいいけれどグレタさんもかわいいと思っています。

皆さんもニュースで見たかもしれませんが、安倍晋三には来年3月の国連総会で環境問題についての講演予定がありましたが、国連事務総長が拒否したそうです。「原発を再開して、石炭や石油の火力発電所を日本はたくさんやっている」と言われているそうです。小さな記事にしか取り上げられていないし、

NHK は一度もニュースにしていますが探してみてください。NHK については天皇陛下の祝賀御列の中継特番に女性解説員が出ていましたが、彼女は元々政治部の記者で皇室担当ではありません。祝賀御列の番組なのに途中で安倍さんについて何度も発言して違和感がありました。次の選挙で全国区の比例選挙にでも出るのかなと思ってしまいます。ぜひ温暖化問題やグレンタさん、小泉純一郎、山本太郎について調べてみてください。

北関東の地震についてお話しします。2、3日前から震度4、マグニチュード5から6の地震が3、4回起きています。茨城県の北部や栃木県的那須塩原あたりで起きているようです。立て続けにあって、今日もお昼ごろにあったようです。北海道から奄美大島くらいまで、日本中でちょこちょこ地震が起きています。関東大震災から約100年だそうです。90歳で亡くなった私の父が生前、関東大震災の話をよくしてくれました。東京に出てきて東大に行って外交官になろうと思っていたのに、関東大震災で下宿していた家が倒壊してしまったそうです。下宿の女将さんに身寄りがなくなったので自分が働かなくてはいけないと思って東京都庁に入ったという話をよくしていました。この北関東の地震と東京都の直下型地震についてNHKが1週間かけてやっています。何か連動するのだと思います。今は北関東ですが、もう少し南に下がってくる可能性があります。北関東だと福島県はまったく直下型です。先ほどもお話ししましたが、そんなところに損傷燃料棒のデブリを置くわけにはいきません。そういうことも含めて災害大国日本はこれからどこが一番安全なのかを考えることが必要です。

令和天皇の即位に関する天皇ご夫妻のいろいろな行事がありました。令和天皇は非常にお優しいし雰囲気を持っているそうです。私の大学の同級生が勲章を戴くことになって皇居に行ってきたそうです。非常に良かったと言っていました。授賞式には雅子様はいらっしゃらなかったそうです。立食のビュッフェスタイルで行われる宮中パーティでは、外交官や外国の元首などのお客様はみんな雅子様のところに行くんだそうです。雅子様は英語だけでなくスペイン語やフランス語もお話しされるそうです。いろいろな国の方とお話しして、とても生き生きとされていて、適応障害と言われていたような様子は見られずお元気そうです。ただ一部の報道にもありましたが、一度だけ昭和天皇の陵墓に行かれたときに、ちょっとふらつかれたことがありました。体調は良くなっていますが、お疲れになってはいるようです。人間は地位に就けばそれなりの所作ができるようになります。誰とは言いませんが中にはできない人もいます。出来るというのはその人に適応能力があるということです。

先週、中尾ミエさんがボランティアとして仙台の大学でお話をしてくれたのですが、最後の残り時間わずかというところに、楽天の岡島武郎選手がいろいろな選手のバットやユニフォームを持ってかけつけてくれました。大盛り上がりになってオークションをしました。そのオークションのお金は来週丸森町にカイロを持っていくために使います。前に丸森町に行ったときに、ゼミ生が何か欲しい物がないかを聞きました。そうしたら「カイロと何か暖かい物が欲しい」という話があったそうです。今日の丸森町は氷点下の寒さだそうです。まだ避難所にいる人もいます。とにかく集まったお金でカイロを用意しようと思っています。

それから千葉県もまだブルーシートの屋根の家が何百件もあります。千曲川の被災地もまだまだです。そういうところに自衛隊を入れたらいいと思うのですが、なぜ中東に300人も航空自衛隊と空自と海上自衛隊が派遣されるのでしょうか。行ったところで何ができるのかと思います。安倍晋三がイランに行ったことで、逆にイラン国内が不安定になって多くの人が亡くなりました。出来ないことをやりに行かない方がいいのです。「無駄に行くな」と言いたいのです。ホルムズ海峡に哨戒艇を送るなどは日本人が得意なことではありません。やめた方がいいです。それよりも被災地のひどい土砂を何とかしなければなりません。ボランティアから帰ってきた学生も「腰が痛い」とヒーヒー言っています。水に浸かった畳は2人でも運べませんし臭いもします。学生が頑張っているのに焼肉に連れて行くことがあって先週は3回連れて行きました。

何か日本の国はやらなければいけないことをやらずに、安倍晋三が海外に自衛隊を派遣することばかり考えています。陸上自衛隊は10万人くらいいるらしいので、半分を国土安全防衛隊にしたらいいと思います。子供見守り隊になってもらったら良いと思います。お給料は警察官と自衛官の間くらいにして定年を55歳にしなくて65歳までにすると、半分は喜んで行くと思います。幼稚園や保育園の前に見守り隊として2人ずつ立っててもらおうと安心です。60歳でやめた消防士や警察官も時給400円の有償ボランティアで朝から夕方まで立っててもらっただけで安心です。今は変な人が大勢います。「刑務所に入った方が楽だ」と考えるような変な人がいるのです。新幹線の中でも無差別殺人事件がありました。亡くなったのは勇気を出して助けに入った男性でした。襲われた女性2人も顔などに大けがをしています。日本の判例では3人殺害すると死刑になるようです。1人では死刑になりません。3人を限度に悲惨な状況を判断して死刑になるのです。あの犯人はそのことを分かっています。「今度出所したらまた包丁を買いに行く」と言っているそうです。法律の専門家では

ないのですが、死刑になりたいのだからそういう判決にすればいいと思います。残酷かもしれませんが、電気椅子などの公開処刑などにしなければ、今の人には死刑の意味が伝わらないのかもしれませんが。最近の事件は生まれたばかりの小さな子供への危害のものもあって、怖くてニュースも見られません。そういうことがあちこちで起きていて、信じられません。

令和天皇と皇后両陛下について、私は左ではないのでお優しいお二人がいてくださって、いろいろなところにきてくださることに日本人としてほっとします。愛子さまは中学校の卒業文集に広島原爆ドームを訪ねられたときのことを「衝撃で足が動かなくなった」と書かれました。次に広島に行かれるときには、ぜひ折り鶴タワーに行って欲しいと思います。入るのに千五百円かかりますが、エレベータで上まで上がると原爆ドームを上から見ることができます。その原爆ドームの壊れた屋根の向こう側に、蘇った広島の町が見えます。戦争と平和ということを実感できる風景です。原爆ドームの中には何も無いことも分かります。下から見るのとは違います。愛子様にもぜひそれを見ていただきたいと思っています。

結論です。とにかく日本の国は全て下り坂です。経済はまさにシュリンクです。今日の秋田魁新報に「今年の全国の出生数が90万人割れになる」ということが書いてありました。昨年は約92万人でした。私が10年前から言っていた「秋田の人口が100万人を切りますよ」という人口推定はかなりの確率で当たりです。今秋田の県民人口は約97万人です。昨年生まれた子供は5千人ちょっとです。この1年で全国の出生率が90万人切って、秋田県の人口も97万人を切っていくと思います。ずっと言い続けていますが、どんどん人口が減っていきます。人口が減って景気が豊かになった歴史は古今東西ありません。秋田県が分かりやすい例だと思います。

それから支出の部分、家計負担は消費税10%になったことで増加しています。買い物を控えるようになります。収入は一流企業と儲かっている企業はいいです。公務員はまた上げます。公務員はもともと高いのだから1割カットで良いと私は思います。東電はもっとすごいです。47歳くらいで一千万円近くあるそうです。中流が分解です。正社員とか公務員だけが良いのです。

今、大学の中で公務員講座をやっているところがあります。立命館大学でも早稲田大学でも東北福祉大学でもやっています。ものすごい人数が受けているダブルスクールです。最近就職で一番評判がいいのは立命館大学の学生です。明治大学を抜きました。受験生が10万人を超えています。明らかにダブルスクールの影響があります。法学部の学生でも1年生から公務員講座を受けてい

て、政治経済や数的処理などを勉強しています。数的処理は練習問題を繰り返し解いた分だけ分かっていきます。数的処理は文章問題なので文章を読んで計算すればわかることなのですが、1問あたり1分20秒ほどで解かなければいけません。頭の回転の速さが必要なのです。そういうことをいろいろな大学が1年生からやっています。東北福祉大学も取り組み始めています。でも計算力だけでなく文章の読解力もなければ、問題を正しく理解できません。公務員講座を受けるだけでなく新聞を読むなどして、それだけは自分でやらなければいけません。スマホだけではダメです。ゲームをするのはダメだとは言いませんが、時間を決めてやらなければなりません。

今は就職もネット型です。インディードやマイナビなどのサイトを見ると、アルバイトをはじめとして仕事がたくさんあって就職や転職は簡単にできます。でも将来のことを考えなければなりません。正社員で40年以上働いて65歳で厚生年金を受給すると約20万円もらえますが、国民基礎年金では6万円と少しです。夫婦2人で12万円くらいにしかなりません。家と土地があれば20万円でなんとか暮らしていけるかもしれませんが、学生はそういうことまで考えていません。「12万円で生活できるのか」と言ってあげて、初めて「ダブルスクールを受けます」という学生が多いです。言わなければわかりません。こういうウストラトンカチでもアドバイスして教えて、それでどこかの県庁などに入った聞くとそれは嬉しいです。そういう学生は卒業式で男子ならハグをして、女子なら握手をして見送っています。

それでは質疑応答の時間にします。質問のある方はどうぞ。

藤 本 福岡先生、ありがとうございました。ご質問のある方は挙手をお願いします。お名前を言ってから質問をお願いします。

質問者 さきほどNHKの女性解説員の方のお話をしてくださいましたが、その方は本当に政界に出る可能性があるのでしょうか。お分りの範囲で、どのくらいの確率なのかを教えてください。

福 岡 彼女は安倍晋三のお気に入りのNHKの官邸番記者で、非常に頭の良い聡明な方です。彼が好むのは日本会議系の弁護士の稲田朋美など頭の利巧な人たちです。言いにくいですが昭恵さんと反対局にあるような人たちのようです。彼女自身が国際会議などに行ってその解説をするのはいいのですが、この間の天皇陛下の代替わりの行事のときの特番で、なぜ2回くらい記者席に座って解説

したのかがわかりません。出たがりという訳ではありませんが、NHKの中にも皇室付きの記者がいて日々取材をしています。彼女は政治部のキャップクラスなので政治部のメモを見たりするのは当たり前ですが、経済部のメモはまず見ようとしません。でも、彼女は皇室付きの記者達のメモを見て話しているのです。本当は皇室のことはまったく関係のないところなのですがメモを全部見ている、ようするに勘が良くて短い言葉で話すことができるのです。

問題は解散総選挙がいつになるのかということです。このレームダックの状態、ひとつ大きな情報が出てくると安倍晋三は辞めるかもしれません。そのときに一番無難なのがソフトで人畜無害な岸田文雄を押して話を変えるようにすると思います。でも間があって二回目に出てきた人だし、まだ若いのもしかすると三度目もあるかもしれません。体調が万全ではありません。桜の会の映像でも、走った後でズボンを引き上げて直すような仕草をしていました。普通ズボンは走ってもずれません。ずれるような何かがあるのかもしれません。持っているペットボトルにも特別なものが入っているようです。

そういうことを考えると解散総選挙の時期に関係がありますが、あの彼女のような優秀な人を国会議員にして官房副長官か官房付きの何かにすると、原稿を書いたりしてくれます。可能性は五分五分とは言いませんが三割はあるのではないかと思っています。

藤 本 福岡先生、ありがとうございました。福岡先生に今一度大きな拍手をお願いします。本日はこの後、ゼミを開催いたします。ご希望の方はお残りください。本日はお集まりいただきありがとうございました。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「コロナショック・リストラショック
そして菅新総理誕生の背景
—解散・総選挙はあるのか—」

講師 白鷗大学 名誉教授
ノースアジア大学総合研究センター客員教授 福岡 政 行

司会 ノースアジア大学総合研究センター長
本学経済学部教授 藤 本 剛

日時 令和2年9月12日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館 271 教室

藤 本 皆様、こんにちは。本当にお久しぶりでございます。福岡先生のご講演、去年の12月でございまして、9か月振りのお話を伺うこととなります。公開講座としても9か月振りでございまして、この間、皆様にはご迷惑をおかけし、またご協力を頂いて、ここまで来ることが出来ました。まだ、このように離れて座っていただくとか、ご協力を頂きながら進めてまいりたいと思っておりますので、今日はどうぞよろしくお願い致します。

福 岡 それでは、始めます。先ず冒頭に、昨日ホテルに着いて、あの3月11日から19年半、つまり後半で、昨日は9月11日、アメリカではマンハッタンのワールドトレードセンターに飛行機が飛び込んだ9.11というのがかなり有名で、日本は3月11日ですが、そんなことをずっと思い出しながら、そう言えば3月11日、秋田に居たことを思い出しました。当時はビューホテルでしたが、県会議員の友達の応援のために来ていて、2時46分だと思いますが、ちょうど7回のいつもの部屋にキャリーを引きながら入ろうとした時に、掃除のおばちゃん達が3人位、キャーと言って倒れて、何もしてないのにといいながら、部屋をカギで開けようとしたらもうガタガタと言って、やっと入ってテレビを点けようとしたら勿論点かなくて、2分後ぐらいに「一階に皆さん降りてください」と館内放送で。そんな日が、あの3月11日でした。後半と言うところまで来ました。昨日のニュースを見ながら感じました。

本論に入ります。ほぼ99%、秋田県出身の方が、総理大臣になります。秋田県最初で、湯沢の方が居るかもしれませんが、銅像を建てる話が出ているようですが、まだ、良いんじゃないかという風に思います。ただ、昨日一昨日のテレビ討論で、言にくいですが、菅さん、あんまり話が見えない。消費税についても、上げないといったり、上げなきゃならないと言ったり、ちょっと云々。

皆さんは「新聞記者」という映画を、今日帰ったら、ツタヤさんで借りて観てください。この「新聞記者」を書いた望月衣塑子という東京新聞の女性記者ですが、よく質問の時に菅さんとケンカしている女の子ですが、彼女が書いた「新聞記者」という映画、観てみると主演の女の子は確か日本人ではないです。韓国の名前のような感じの人です。で、男性の主役の人は、松坂桃李さん、あの有名な。ところがこの「新聞記者」に出てから、3年位ですか、2年ですかね、最近、わが愛するヤクルトも使っていますけれど、コマーシャルに出ますが、全く画面に出ません。つまり反安倍というか、という評論家、私もそうですが、選べないと同様に、メディアコントロールが電通を通じて、すごく強いところがあります。電通はご案内のとおり、経産省と繋がっているお

金をもらうところにはっていますが、口が裂けても言っちゃいますけども、ものすごい。だけれど、松坂桃李さんなんてねえ、男の役者として、なんとかっていう有名な女の子と結婚するかどうかと言われるぐらいに、人柄も良くて、ただそう言う映画に出たと言うことだけで。来月、望月衣塑子記者とは別の会の方でシンポジウム一緒になりますので、ちょっと具体的に話を聞きますが、是非「新聞記者」という映画を、本もあります、観ていただく。その中で確かカタカナの方ですから韓国か台湾か分かりませんが、言うことであります。そのぐらいに圧力があって、菅さんのことを別名、「安倍のスガた」と言っています。安倍さんをそのまま振っているというという感じで、そのまますべてを踏襲します。

この間、最新の世論調査で、安倍さんの支持率が何と20数パーセント上がって60弱位で、小泉純一郎さんの最後ぐらいだったというのがあって、もうこの1週間たって下がりましたが、自民党の支持率は、まだ相変わらず50近くあります。で、そんなことで永田町では、早めに解散総選挙の方が良いんじゃないか。立憲民主党は枝野で何も変わらないから、やるんなら、もう14日で自民党総裁選の票が開きます。勝って、16日に首班指名が行われたら、もう下手な臨時国会やらないで、組閣した段階で解散というようなことを言っちゃったらどうだというのが、10月25日投票という、一番早いやつです。遅れても11月のアタマで、12月までいくと追い込まれ解散になる。選挙は来年の9月が終わりですから、追い込まれ解散になる。1月になってると言うわけです。

あとは一点だけ、コロナ次第です。東京は下がってきたなと思ったら、また200人だ、180何人です。私も実を言うと、今日、6か月ぶりの講演です。途中で倒れた場合は椅子に座りますが、駄目かもしれませんが、ただ、皆に言っているんですが、私、5キロ痩せました。この6か月、やることがないので、水元公園という近くの公園に、毎日1時間以上、散歩しています。生まれた所なんですけど迷子になったりして、ペットの犬はいないんですけど、しょうがないから一人であちこち歩いて。あとスクワットをやって、それでアイパッドで、「福岡政行の徒然日記」というのをこの半年打って、結構アプローチする人が300何人かいて、今日、嫌がらせがあったので、止めようかなと思ってはいますけども。ともかく、この半年、いろんなかたちでやって来ました。

で、コロナの問題が落ち着くかどうかなんですけど、私の弟子の自治医大の肺の専門家が、簡単じゃないですよ、コロナはしぶとい、変形するんだ、と言うことなので、フランスもそうですが、この第2波、第3波、Go To Travelを東

京経由でやる。東京の人も参加できるということになったら、それこそ皆さん、知事さん、市長さんに言って、秋田2泊3日の旅、ホテル全部借り切って、夜、おいしい秋田の肉を食べて、稲庭を食べて、そして車で、秋十月末から、紅葉ですから観て、十和田湖辺りまで行ってみたい。なんかの企画を秋田県出身のギバちゃん、柳葉敏郎とかきれいな佐々木希とか使って、とにかく秋田いいところ、やったらいいかなと、ちょっと思ったりしました。

とにかく、コロナ次第ですので、コロナが収束をすればいいんですが、今のところおおかたの見方は、来年のオリンピックは恐らく51%以上、出来ないのではないかと。そうすると、日本経済GDPはかなり深刻な打撃を受けて、先日、トヨタ自動車の前の社長さんとメシを食った時に、トヨタはなんとか利益は出す、だけどそれは1兆近くある利益はおそらく2~3千億で、トヨタ以外の自動車会社は赤字決算になる。ということであり、国債の発行をどんどんしなければならぬ。つまり、皆さんの銀行預金の金利は0.00%かマイナスで動かないということですから、経済は全く大変だということになります。

それから、冒頭に、河野太郎大臣が、総理大臣のように、「どうも十月でしょう、選挙は」というような発言をしました。響きを買って、今、慎みますと言っていますが、恐らく菅官房長官から、菅さん自身から「おまえ、官房長官やってくれよ」と言う打診があったのだと思いますが、その時に、選挙どうするんですか、と言うような話があったのをポロッと、口の軽い男です。私は河野洋平の弟子ですけれども、息子はあまりぴんと来ませんが、この男がしゃべったのが、永田町では十月解散総選挙ということになっていますが、官房長官説が濃厚でしたが、この口の軽さで、恐らく、加藤厚生労働大臣、加藤六月さんの娘婿です、お嬢さんと結婚した男で、厚生労働大臣としてちょっとぱっとしません、西村康稔大臣が頑張っていますから、ただ、東大出のエリートで、頭の回転が速いというようなことですので、この彼が、森山裕という国対委員長、鹿児島島の男です。私の同級生です。確か、中学か高校しか出ていませんが、苦労人で県会議員の時からずっと応援をしてきましたが、この男は無難ですのでやるかもしれません、絵にはならない。だけど、菅さんも絵にはなっていないわけですから、そういう意味ではまあいいのか、河野太郎を官房長官で、小泉進次郎を官房副長官という、神奈川県で官邸を牛耳る話がどうも菅さんにはあったそうですが、ここにきてこの縁は全部立ち消えたというようなことだけ、ちょっとお話ししておきます。

レジュメに入りますが、コロナショック、恐らく倒産、リストラショックがこれから続きます。既に五百何件の倒産があり、私の教え子で、飲食店・レス

トラン・イタめし屋をやっている弟子たちも、かなり厳しい、と言うような話です。そのあと続いて、10月1日から、夜は全部オープンにすると言いますが、そうした時にまた、カラオケ屋をやって夜中まで飲めば、コロナがまた広がるということになると、フランスのようにまた制約を掛けなければならない、と言うようなことを含めて、こういうコロナショック＝リストラショック、この辺なんです。

特に、アルバイト、パートのシングルマザー、あるいはおじいちゃん、シングルシルバーで年金も少ない方々が、本当に今苦しいと言うことが、弁護士さんや税理士さんやいろんな役場の方に、いろんな申し出が出てくると言うようなことで、何万人か、雇用がなくなっていると言うことですが、これはこのまま簡単には終わらない。十万円、皆さんももらいました。一人一律十万？こんどは千代田区で、一人一律十二万円出るそうです。千代田区で生活苦しい人なんて、あんまりいないでしょう。一番町とか三番町とか麴町とか。おわかりだと思うが、あの有名な高級住宅街、私の友達は三番町マンションに住んでますが、一億六千万のマンションですよ。本当に収入の無くなった人にだけ、月30万円を渡すと言うようなこと、実は今の日本は公務員自身が、恐らく二階さんが中心になって言にくいのが公明党が中心となって30万を10万に替えた。私はそういうのは政治じゃないと思っています。

菅新総理の誕生の背景だけ、ちょっと言います。一言で言えば消去法です。安倍晋三さん、今日も午前中からまた慶応病院に入りました。一週間ぐらい前に歯医者に行ったあと、また吐血をされたと言うことであります。最初に吐血をしたのは6月だそうです。これはフライデーかフラッシュが明らかにしました。で、この会で何回か言いましたが、潰瘍性大腸炎、ステロイドを最初使い、その後かなり薬が出ましたが、やっぱり長くやっていると効きません。ステロイドやった人は分かりますが、手がごわごわになったり、顔がちょっとごわっとすることがあります。その後の薬も効かなくなって、メンタルですから、6月の吐血の最大の理由は黒川東京高検検事長が首になった。夜中に賭け麻雀をやっていたと言うことで、辞めた一件であります。この黒川という人物が、元々、法務省の幹部でいる段階で、森友学園の事件を全部つぶしました。あの事件で亡くなった赤木さん、奥様が今裁判やっています。これは本当に辛い話です。赤木さんという人の話を関西の新聞記者の連中に聞きました。本当にきまじめな方で、ただ最後、自分はやっちゃいけないことをやったと言って自分を責めて、自殺というか自死。奥様が裁判やって。この時に全部やったのが、この検察関係者の中のおそらく黒川だと言われています。

その一件でほぼ同時期に、あまり言いたくないのですが、広島で夫婦で選挙違反の買収をやったやつがいます。名前は忘れました。ちょっと松下政経塾なんて言いにくいんですが、応援したこともあります。この事件に、広島地検と東京地検が本気で動いているのは、一億五千万円の出所です。勿論、自民党のお金から出ています。相手方の落選した、安倍晋三が大嫌いなご高齢の方は三千万円です。通常は選挙資金で参議院の場合は三千万から二千万です。一億五千万。これは恐らく自民党総裁の判断です、官邸から。そのことを一番よく知っているのが二階俊博という自民党幹事長です。幹事長は勿論、お金おろして渡していますから。そのことを分かっているの、早い段階から次の総裁選は二階で決まる、一階でなくて二階で決まるという話があって、二階俊博だと言うことになっていました。

そして、安倍さんが倒れたあと、8月の末からは麻生さんと何回か相談をします。麻生さんは、あんたがやれ、死んでもやれという言い方をしました。しかし安倍さんは、もう自分は出来ないということで、麻生さんやってくれという風に頼んだそうですが、麻生さんは、もう俺は八十になるんだから駄目だよ、というようなことで断ります。

結果、どうするかといった時に、皆は岸田という男でやりたかったんですが、あまりに評判が悪い。あいつ汗かいたことあるのか、人のために涙流したことあるのか、自民党はそういう政党ですから、そういわれれば、岸田じゃなあ。私は広島の大学に行っている時に、盲導犬のボランティアをやりました。その時、一回だけ岸田は来ました。一生懸命募金箱を持って、お願いしますという、広島ですから顔の分かる人は百円、五十円入れてくれます。一生懸命やってくれているし、大学の後輩だからいいや、と思っていましたが、まあとにかく、話にならない。終わって皆が「お茶しましょう」って言うじゃないですか。「ちょっとすみません、用があるから」。そういう時にちょっとでもお茶してね、なんとかさん、選挙区一緒ですね、よろしくとか、うそでも頼めばいい。全く駄目です。岸田が駄目だとなった時に、石破は絶対駄目だ。じゃあ、菅で行くしかないといった時に、おそらく、二階さんは「菅でやらしてやってください、苦労人だから」と安倍さんに電話を入れて、大嫌いな麻生太郎にも頭を下げて、おそらく菅さんが決まった。

菅さんは「令和のおじさん」といわれた時にはしゃぎました。小淵さんだって官房長官からなれたのだと思ってはしゃぎました。本人はずっと、総理大臣になれることを夢見ていました。ですから今回は、ごく自然に準備をされていて、銅像の話は分かりませんが、総理大臣に着々とやっている。ただここにき

て、官房長官の時に大きなファイルを持って、その脇に色の付いた紙がいっぱい貼ってあった。あれに、大きな字で、コロナとか外交とか書いてあるんですね。一生懸命あれをめくりながら、その望月衣塑子を初めとする 100 人位の新聞記者の質問に答えていて、でも途中から答えなくなった。結局やりとりがうまくできないのではないかと、それが、ここに来て討論会になった時に、聞いた質問に全く答えられないような答えが出てくるということで、おそらく今日この時間、プレスセンターかどこかでやっていますけれど、ちょっと気の利いた記者が揺さぶったら、回答が出来ないと言うことがある。私のゼミ生が二人、今番記者で入っていますが、「いや、先生、総理大臣になったらいろいろやりますから。」その辺の生真面目さと我慢強さはなかなかのものですが、頭の回転というか、経済や外交については、出来ないのではないかとというマイナスポイントが、この二日ほど。勿論分かるのですが、意外と長くないかもしれないな。そうだったら早めの選挙はやはりやらざるを得ない。安倍さんは今日東大病院、一日で帰ると思いますが、おそらく腸のなかの洗浄をされていると思いますが、安倍晋三は「選挙は今、やらないでくれな」そう菅さんにいったそうです。勿論、菅さんは返事をせずに、「はい」と下を向いたそうですが、選挙を今やられたら、安倍さんは街頭に立てません。もしかすると、あの奥さんが出てくるかもしれない、ワンポイントで。そんなことで、菅さんが選ばれた背景は、秋田県で言いにくいですが、消去法で決まった、という言い方。麻生が駄目で、石破は絶対駄目で、岸田は駄目なんだよと言うような時に、いわゆる二階さんのバックアップで出てきたというようなことで、大変な苦勞人で、ボンボンではないよ、というようなことです。

岸田さんについて一言だけ。生真面目でいいやつだと思います。名門の麻布高校出身の三代目です。橋本龍太郎さんも麻布高校から慶応。でも普通、麻布高校は優秀ですから、ほとんど東大や医者に半分以上なります。だから慶応、早稲田に行くのは大体マイナーだといわれていると、龍太郎さんが言っていました。龍太郎さんは剣道をやっていたから、好きなことをやらせるという風潮です。

序論。戦後 75 年、おそらく、こんなに大変なのは皆さんも痛感していると思うんですが、昨日も川反には行きませんでした。コンビニでカップヌードルかなんか買って、おにぎり一個買って、ヤクルトが勝つのを夢見て、負けましたが。昨日羽田空港に行った時、秋田便がなんでこんな 18 時の飛行機なんだ、いつも 15 時頃なのに。朝の便と夜の便しかない。全部欠航なんです。明日も 1 番で帰ります。そしたらもう、羽田が本当に静かなの。お店が半分以上閉まっ

ている。南国酒家というところで景色見られるから、そこにコーヒー飲みに入ったら誰もいない。搭乗口周辺、飛行機に乗るところまで、ディスペンサーが置いてあり、手の消毒を5回位しました。このところコロナ感染を予防するというペнтаタイプのクレベリンを持っていた。そうしたら搭乗口で、係の女性が「それ、だめなんです」って、とられてしまった。いやだな、と思って飛行機に乗ったらガラガラ、と言うことです。

東京は銀座も、全くです。赤坂も、全く。食事するところも、八時過ぎぐらいまではまだ潤っていますが、4人席で2人ですから。それ以上は無理です。それが10月1日以降、ある程度広がっても、いわゆる隣同士のべちゃべちゃは出来ない。ただ人間は、がやがややってべちゃべちゃして、いちゃいちゃしてくっついてひっついて楽しいわけです。だから私は散歩して、50m ダッシュを3回やる。なんか発散しなければならない。あの福井のかわいい女の子がおじいちゃんに殺されちゃった事件、一緒にご飯をつくって可愛がっていた、一番可愛がっていた孫だって言う。理由は分かりません。後で福井の関係者に電話して聞こうとおもうが、何かそんな悲しい事件がいっぱい、まだ続くような気がして、私は孫の見守り隊で、吉祥寺まで付いて行き、ずっと孫の後ろ歩こうかと思ってますけど、それも今は出来ません。このコロナが、しぶとくやっかいだと言うことだけは頭に入れておいてください、それはもう医者から言われていて。

GDPは恐らく10何%下がります。来年もおそらくマイナスになると、6点何十兆なんて、おそらく言ってもらえません。5百は守れるかもしれないが、おそらくぎりぎり。そうすると、パート、アルバイト、非正規、全部アウトになります。今日、駅前、ちょっと散歩がてら歩きました。どこもかしこも、ビューホテルもあの喫茶店みたいのやってませんでした。ですから、西武とかあの辺は少しありましたが、お客さんはいないと言うことは、是非カウントの中に入れておいてください。

菅総理大臣誕生の背景は、今話をしたから良いと思いますが、黒川検事長という男と日本の検察に、安倍さんが相当のてこ入れをしていた。そのことはかなりはっきりしています。それは検察関係者から私に「先生、テレビに出ていないのよく分かります。私たちだって、ちょっと気の利いた奴はみんな、沈黙ですから」。そんなのやっていたら、検察の誠意なんて絶対通らない。だけどやっぱり、司法試験受けた真面目な奴は、黙ってこの3年間か4年間、特に、森友、加計事件が発覚してから、桜疑惑もそうです。で、そう言うようなことがあったので、黒川さんがかなり重要な、何でも・・・その時、理財局にいた佐川は

別にしても、佐川の上にいる太田という男が今、財務省の事務次官ですよ、あの能面みたいな顔した。それから昭恵さんと一緒に加計学院かなんかやってたあの経産省の女の子、イタリアのミラノから戻ってきました。3年ぐらいかかって。今どこにいるか分からない。今、週刊文春が追っかけていますけれども、分からないんです。天下りしちゃったかもしれません。そういう風に、論功行賞で、頑張ってくれた人には何年も、イタリア、ミラノでね。イタ飯、スパゲッティ食い放題。一千何百万、出張費ももらえるんですから。と、言うようなこと。太田さんは事務次官になる。財務省の最高ですから。そういう、論功行賞と言うのがあったので、霞ヶ関の人間はやる気を失ったが、この2か月ぐらい。みんな元気になりました。「先生、やりますから」「頑張っただれよ」って。「先生もテレビに出ると良いですね」「いらぬ、そんなこと」「はい」そういうことです。

時間の無駄ですが、野党の話をします。5分で終わります。枝野幸男、私は昔、応援して、浦和かさいたま市かどこか、講演会に行きました。私が彼が駄目だと思ったのは一度話したと思うのですが、菅直人総理大臣の、3.11の後、官房長官で、国会で委員会の質疑応答の時、自民党の質問に答えて、「大丈夫なのか、福島は」と言われた時、「多少の放射能漏れはありますが、直ちに人体に影響が出ることはありません」。弁護士でしょう。宇都宮高校、宇高という栃木ナンバーワン高校。それから東北大学法学部。優秀な弁護士です。その彼は、どんな時も無駄な発言はしません。しかし、何いつているか分からない。でも、そんなところに、国民に寄り添う、「漏れてたら大変だろう。ともかく30キロ以内には入らないように注意して、汚染防止のために政府として、国として、国民の命と財産を守るために頑張ります」と言うのが、普通の政治家の本心。ああ、駄目だな、と思ったら、代表になって、「スタートラインに着きました」と。「おまえ、今までジョギングしてたのか、この野郎」もう、みんな十歳以上若い連中ですから、普通だったら蹴りいれたいところですが、蹴っちゃいけません。

それから、国民民主党の玉木。東大出、霞ヶ関の官僚でイケメン。玉木宏ほどではないけれど、結構いい男。しかし、こんな駄目な男もいないですよ。今日か明日か分からない。十何人でまとまる。やってどうすんだ。確か、四国の方の出身です。何回か話しても、爽やかな男でした。だけれど、最後には腹がない。と、言うようなことです。それから、泉健太という、対立候補になったのが、私の立命館時代の教え子です。福山哲郎という政経塾の教え子の秘書をしていました。なかなか元気のいい男ですが、負け戦、覚悟ですよ、とメー

ルを送ってきましたので、そういうところはあるかもしれません。しかし、人材難。菅直人がいて、岡田克也がいて、野田なんともかいて、海江田万里もいますかね。そんなことよりも誰かねえ、民間から一人、抜擢して、副代表になってもらってやるということで、やればいいのに、と言うようなところは全くないのです。と、言うことです。私のホームページをみれば、細かいことは後で出てきますが、289の小選挙区の当落を足し算して、自分で全部打ち込みました。もう大変な作業で、目がチカチカ。で、ちゃんとしたのはもう、今弟子がやっていますけれど、289の小選挙区の足し算をして、おそらく自民党、公明党、維新、これの合計が、120～130は勝ちます。野党が共産党が入ってオール野党。おそらく90位は勝ちます。で、どっちが勝つか分からないのが80位。

ここに来て、橋下徹さんという人が、内閣改造で今月中に、総務大臣で民間の弁護士出身で、民間から登用される。皆さん、この2～3週間、橋下徹さんが、なんでこんなにテレビに出ているのって思いませんか？それは、日本テレビやフジテレビ系はともかく、テレビ朝日から何からみんな出て、それはもう電通がらみです、さっき言ったように。電通がらみで、出してよっていえば面白いからみんな出します。1回2回は面白いが、ケンカもやっていますから。テレビ朝日、何やってるんだ、平気でやります。と言うようなことで、何かな、とおもったら、やっぱり選挙ですかね。で、おそらく維新で出て、比例のどこかに出る。大阪の府知事が変身するという話がありますが、何か飲み薬の問題ですね。橋下自身が出てきて、選挙に出て、入閣をして、自民、公明、維新の三党連立なら、オール野党で共産党が後ろに回っても負けない。そこをおそらく、公明党も納得して、二階さんも強いですから、菅でやろう、そういう話があったので、かなりの伯仲になりますが、自公維が過半数の233、465の過半数はおそらく行くのではないか。そういうことが、橋下出馬、入閣というものの背景で、菅新総理の裏話のひとつであると思ってください。

ところがそんな時、来月、望月衣塑子さんの勉強会がある別の日に、城南信用金庫の吉原元理事長が講演に来ます。原発ZEROの会の事務局長です、原発ZEROの会の会長、代表は小泉純一郎で、慶応大学の同じゼミの先輩後輩です。吉原さんという方は、城南信用金庫、小原邦夫という有名なたたき上げの方の弟子で、退職金ももらわないで城南信金を日本一の、何兆円の信用金庫にしました。この人が原発ZEROの会の事務局長で、付き合っていて、講演に来ます。私は何度か、原発ZEROの会で、比例出ないかな、小泉さんはやらないでしょう、細川さんも瀬戸内寂聴さんも出てくれたら、一千万票は取るよ、お金の心配は、当初の二千万位の預託金は要るけど、戻ってくるよ、あな

たも信用金庫の人間なら計算できるでしょう、そんなもん、50億どころか100億位、政党交付金が来ます。小泉さんが、お前、駄目なことってんじゃないよって、半年前まで言われていました。最近では会合もありませんので、分かりません。もう一度泣きついて、橋下さんが出るんなら、小泉さん、名前だけで良いですから他の人で。名簿は11番目。一番じゃなくて。十人ぐらい借りますよ、と言うのを考えていて、言ってみますが、12月に講義の時には、来月の後の話ですから、続きが出来ると思います。原発ZEROの会、今でも会合やると、文京公会堂、この間小泉さんが40分位、話をされた時も、千五百人位、立ち見でした。私はしょうがないから立ち上がって、途中、脇に入りましたが。と言うようなことだとお考えいただきたい。

で、三番目。では、自民党政権、どうなるのと言うことなんですが、二階さんの話では申しましたから、良いと思います。倒産、リストラが続いた時に、何かビジョンを持ってやっているのか。で、私がホームページ等々に書いていて、反響があつてなおかつ不満もあるのが、公務員の人件費を1割カットする話です。地方公務員と国の公務員、自衛隊員入れて、約290万人位います。これに対して払われる人件費は年金の掛け金含めて、35兆円位です。47歳平均の国・地方の公務員の平均所得・給与は740万円位です。秋田県はもうちょっと低いかもしれません。民間は、500万円でしょう。銀行だって信用金庫だって600行かないでしょう。秋田の企業で45歳で700万取っているのは、ノースアジア大学と、違うかもしれませんが、東北大学と、国際教養大学と、秋田さきがけが儲かっていると思わないし、TBSが儲かっているとも思わないし、でしょう。なんで公務員が、働く人の血税で、普通の人よりも給料が高いんだ。言い続けて20年ですから。だけど、1割カットしたって7百何十万で70万でも670万。2割にしたいんですが。1割にしたって3兆円も4兆円も浮いてくる。このお金で、シングルマザー、シングルじいちゃん、無収入3か月以上の人に、とりあえず20万とか30万、とにかく渡す。そういう具体的なことをやる。何かそういうことをしない限り、日本の経済は動かない。あのGo Too Travel, Go To Eatで食事代、も良いと思います、やったのは。だけど、それでも最低限。あとテナント料を払っているようなところ、大家さんやビルに言ってしばらく2割だけ払ってもらって将来返してもらうことで、国がバックアップする。大体、大手の生命保険の会社が持っていますから、大きなビルは。何とかしたらいい。具体的なことをここに全部やらないと。ただコロナ気を付けてくださいね、怖いから。でも若い人は死にませんから、と言うような話では駄目だと言うことですから。是非、その選択は気を付けていただいて。倒産、

リストラ、食堂や観光や飛行機会社、JR、いわゆる町の小売店、スーパー、コンビニは多少下がっていても悪くないです。それからお米の値段も、昨日のニュースであきたこまちも安くなる。余っているんだったら。だったら国が買って、東南アジアやアフリカに届けばいいのに、と言うセンスもない。あきたこまちなんでねえ、アフリカの人が食べたら胃がもたれちゃうって言うかもしれないけれど、こんなうまいものがあるのか。平壤に持って行ってあげてください。明太子とふりかけ持って行ってやれば、子ども達涙流して喜んで食べる。と言うことです。税込大幅減ですが、消費税どうですか、コロナの収束まで最低年内か来年3月まで、消費税、食料品ただ、ゼロ。医療とか教育とか福祉とかやりたいけれど、元々病院関係は10%程下がっています。病院と言えば、痩せたこともあってA1cはついに7.5までに下がりました。8.9あったのが。ウサギの食べるようなもの、毎朝食べて、それで散歩して、コレステロールが全部クリア。おしっこの検査も全部OK。ただ、頭と性格はなおらないそうですが、いいんです。

消費税、食べるのだけただ。コロナ禍、食べるもの位おいしいものが食べたい。何か具体的なこと。消費税を上げないとか上げるといった菅さん。本当は十年上げないといった、最初から。だけど財務省は麻生以下、カンカンになって怒って、つまり、財務大臣は麻生さんが留任だと思います。二階幹事長も留任だと思います。河野太郎は分からないが、経済閣僚をやりたいらしい。それはいいですが、とにかく、消費税は10年は無理でも数年後に15%と言うことを、おそらく財務省は視野に入れて、財源無いんですから。これで法人税、来年入らないでしょう。ということですから、住民税も来年かなり下がる。残るところ三本柱の内、消費税ゼロというわけにはいかない、と財務省は言います。というようなことで、話はできあがっている。

それから今、東京ではテイクアウト、ウーバーイーツとかいう単車で食事を配達する出前屋さん、これがものすごい勢いで出ています。だけど、いつまで続くか。新商売にはならないと思います。テイクアウトは私も、知り合いのラーメン屋のところからテイクアウトで、ちょっとまずくなるけれど、持って帰って家で食べています。そういうこともやっていますが、何となく、このコロナの中で新しい商売、なかなか考えても出来るようなことではないかもしれませんが、対面、人と人とが接触しない駅のホテルで、1日2千円か3千円でコーヒー飲み放題で、仕事する部屋。それから渋谷駅周辺を牛耳っている不動産会社の会長が同級生なので、そのホテルの利用率、1割から2割で。渋谷東急109。若い子はきっと買わない。東急グループのある渋谷界限は全く新しくなっ

たすごいところがある。でも人通り半分。売上げが3割。三越、伊勢丹もそうです。たまに行っても地下の食料品売り場。それも今、宅配が、一万円を超えるとただで送ります。そういうようなことになるので、是非秋田から何か新しい仕事を、考えてください。

結論。来年はオリンピックが、強引にやる話がありますが、私は孫が8月のある日に来てダーウィンみてた時、「今ね、ブラジルやアフリカは、じいじ、冬なんだよ」って言われて。南半球と北半球が真逆であると言うことは、だからブラジルは増えてる、アフリカも。じゃあ、日本が冬になったら向こうが夏だから。でも来年の4月になったら、向こうが冬になるんだよ。一年中、今はコロナ出ています。日本でもおそらく10月、11月、またコロナが広がります。12月に来れるかは、はっきり言って微妙だという。その時はリモートでね。10月のある法人会はzoomリモートでやってくれとっています。いやだと言っていますが、こんな仕切（アクリル板衝立）があるんなら、同じかなとも思います。

それから地方の貧困。石破茂が、地方の格差がひどいと。お前、鳥取県だろう。人口60万ですよ。鳥取に行った方は分かるけれど、空港は米子空港だから、あの島根空港じゃないから、あの宍道湖のところにある空港だと思うけれど。だけど何もなくて、はっきり言って。鳥取で砂丘だけ、90歳になるおふくろが見たいと。だけど見るだけで歩かない。しゃれた温泉宿があったので、そこに泊まったことはあります。出雲なら出雲大社があるし、うまい蕎麦もある。そのことを考えてみると、やっぱり、石破って東京の2代目、3代目で、住んでいて、慶応大学に行って銀行に勤めて、それから親の後を継いで鳥取に戻って。お前何考えてんだ、地元の商店街の人と話、してんのか。私なんか駅前必ず散策して、今日の本内百貨店。シャツ買おうと思って行ったら、しばらくの間、臨時休業でした。

そういうことも含めて、地方の貧困をどうするか。来年の3月11日、また有名な方々が南三陸や石巻に来ます。わが同級生の渡瀬恒彦、お兄さんが亡くなってしまいました。焼きそばをずっと作ってくれていました。渡瀬がいたので「俺にも一個くれよ」と言ったら、「駄目だよお前は」と言われたんで、「ケチやろう」と笑って、後でネ…と。って喧嘩したことがあります。だけれども、そういうのが来年の3月11日、あの日から10年、それで終わります、終わらんないけど。だけどそうやって、閑上、こうだ。南三陸だって、去年の暮れ、クリスマスやりました。じいちゃん、ばあちゃんが学生に「先生、来年も」って言う。だけどゼミ生いない。どうするんだ。ノースアジアの学長から日本酒

を2本もらって、届けたって、あの南三陸のじじい達、1時間も持たないですよ。十人ぐらい、一升。「もうねえのか」俺が高級フランスワイン出すと、「葡萄酒なんか飲むのか、ばか」だって。口惜しいから一人で飲みました。なども含めて、何かこう、仕事の場が出来るような。ネットで出来るようなこともある。私はそういう才能が、パソコン出来ないし、何か考えて、例えば、きれいに見えるマスクとか作れば、小池百合子買いますよ、きっと。毎日替えているから。あと、色っぽく見えるマスク、だとか、可愛く見えるマスクとか、何か考えればね。是非、2〜3人で、一人じゃ駄目で、3人寄れば何とかの何とか、4人あつまればかしましい、そういうのをやった方がきっと良い、と言うようなことです。

もし10月解散総選挙をするとすると、11月の最初の日曜日と言うことですが、そういうのがなかったら、菅さんはおそらく追い込まれてガタガタになります。追い込まれて年末か年始の選挙になったら、それはダメ野党でも、一応まとまります。民間から、有名な女子アナとか、真面目な大学の先生とか、ダメなものいっぱいいますが、そういう人をとにかくブロックに入れて、小泉さんはやらないかもしれないが、石破が入閣できなければ、彼は20人連れて、進次郎と一緒に飛び出てきて、で、小泉純一郎と何かやれば、ガラッと変わる。そういうことで、今说得しようとしています。小沢一郎さんはそう賭けています。小澤さんは今、立憲民主にいるんですからね。昨日、移ったかもしれませんが、ですから小澤さんがそういう策士だから、この間すれ違った時、「もう一回、先生、政権交代だな」って言うから、「やりたいですね」って言ったらニヤッと笑って、子ども同士が同級生なのですが、深沢小学校でしたが、あんまり仲は良くないですが、と言うことです。今年は、12月来れた時はある程度見通せますが、全く見通しを立てることが出来ません。

ここで終わりたいんですがその後、いろんなことが起きたので、ちょっと補足をします。一つはアメリカ大統領選なんです。トランプ大統領が、コロナを含めてウソが多すぎるということで、バイデンとの差が5ポイントまで縮まりました。これは世論調査の仕方もあるのですが、おそらくバイデンが差し切って、このままバイデン大統領、女性の副大統領になって、バイデンは年ですから、長くなければ、黒人の初の女性大統領というかたちには何年後かになるかもしれません。と言うようなことを含めて、このトランプの挫折の背景はおそらくBLM (Black Life Matter) 「黒人の命はたいせつである」というこのBLMというこの言葉で、大坂なおみさんが黒いマスクに、名前を何人か書いています。明日も試合があるのだそうですが、今まで必ず名前が書いてあります。こ

の何年かで殺された黒人の人たちの名前です。恐らくまとめてどこかに出てくると思いますが、大坂なおみは一テニスの選手である前に、私は黒人の女性である、このコメントを言って、彼女は今、泣きません。あのラッパーのかっこいい奴が、後ろで時々見えますが。泣くと言えない。むしろ笑顔で、メンタルが強くなった。明日の朝、勝っちゃうかも知れない。2年ぶりにまた、全米チャンピオンになるということで、このトランプの嘘、アメリカ大統領選、そしてBLMという、大坂なおみさんのマスクということを是非、頭の片隅に入れてください。

それから、世界のコロナは恐らく今日、明日中に3千万人になります。亡くなった方は約3%ですから90万人。アメリカが一番で、ブラジルかインドが2番で、というようなことで、日本が今のところ毎日4～5百人、東京も100何十人、200人。ここで下がるかどうか、分かりません。何とも言えませんが、10月1日以降、夜中までやります。銀座のお姉ちゃんからも悲痛なメール「先生、来て何とかして、何でもするから」。そう言われれば何か行かなければならないかなと思ひながら、みんな行かないです、おじさんは。飯だけ食って、銀座まで行っているのに、築地まで行っているのに、帰る？みんな帰る。接待費で落とせるような連中まで。俺は義理堅いから、歩いて行こうかなって思っても、「乗ってけ」って言われると、「そうだね」って乗っちゃう。根性なしで。それはそれとして、とにかくコロナの犠牲者は広がり方が違うし、ここに来て、一ヶ月に一回、病院に行ってますが、薬もらいに。来月は肺炎球菌の注射。その次はインフルエンザの注射。医者が「全部やってください」「ウー、分かりました」注射するの痛いから逃げ回っているんですが。

それから、どうしても今日、お話をしようと思ったのは、世界の独裁者達。特にベラルーシ。岸恵子さんがベラルーシの話を良くしていました。筑紫哲也さんと岸さんと、何回か一緒にシンポジウムをしました。そうしたら彼女が、ベラルーシのことを一生懸命しゃべった。「いいとこよ、筑紫さん。世界で一番、きれいな人がいるの」。筑紫さん、「そうですか、行きたいです」私も頷きましたが。その静かな、ロシアの隣にある国だと。それですからプーチンとも親しい。91年にロシアから独立したベラルーシ。人口は9百万人か8百万人か。ウクライナと同じ位、きれいな人がいっぱいいます。近いと思います。ここがああ、ルカシェンコという大統領。選挙の開票も途中で、80何パーセント、当選。女の人が逃げました。しかし女性中心に、まだ運動は起きている。プーチンが付いているから、みんな手を出せない。プーチン自身が、大独裁者だ。彼はあと6年か7年、やれるそうです。でも、その後も辞めない。

でも、中国の習近平は、もう永久なんだそうですね。ルール上。えー、毛沢東以上なの。とんでもない人だそうですね。香港で相当の人が捕まった。アグネスチャンだって、きっと泣いてる。私、テレサ・テンの歌が大好きで、1時間か2時間のNHKかどこかがやったの持ってます。彼女が台湾出身ですが、すごくやっぱり、中国は一つということと言い続けて、弾圧も受けているいろんなこともやって、最後死んでいく、そういうストーリーなんだ。で、彼女の歌を、カラオケではしょっちゅう歌っています。だけど本当に今の香港の状態、あの日本語べらべらの女の子だって、とにかくどこかに、一旦引いた方が良く、と思います。ものすごい弾圧が続いていて、逮捕者は相当。「リンゴ日報」の社長さん、頑張ってもらいたいと思います。

それから北朝鮮の金正恩。妹さんと一緒に、どうも来月政権を維持するように、あの妹さんの評判と、お兄ちゃんをとっても好きで、大切にしているということもあって、その金正恩は金与正という妹さんと一緒に、体も万全じゃないので、おそらくそういう方向に行く。しかし、永久独裁です。どうですか、日本の大学生2〜3千人連れて、タンカーとか貨物船が今、ガラガラだそうです。そこに、日清さんや、カップヌードルとか2分でご飯とか、雪印とか明治に頼んで、カレーライスとか、全部積んで、船で直接持って行って、そこに中古のトラックとか、安い車を一千台載せて、運転できる学生に載せていろんな集落に、村に届ける。で、子ども達と一緒に食べる。たった1枚のチョコレートを妹のために食べないで持っていた話もしました。それは本当に悲惨な状態である。と、いうことも含めて、そういうことをやっていきながら、北朝鮮との融和を考える。そんな、やっぱり独裁者。言えないけど、ケリ入れたいという感じがあり、平壤から一度来ないかという誘いがあったことは前に言いました。また来ないか、もう20年ぶりですから。ここに来て、ちょっと絶えました。ちょっとなかが、ごたごたしているのかも知れませんが、その辺も注意していただいて。

あと、ブラジルの大統領。どうしようもない奴とか。後、タイの王様。私、タイに2か月居ました。ボランティアで行っていますから。4兆円外国の預金、スイスフラン、金の延べ棒とか、それでお嫁さんか何か一杯居て、さすがにあのおとなしいタイの若者が、反対運動やった。

21世紀、2020年ですよ。こんな時代にまだ、日本だって80年前にそうだろうといわれれば、はい。竹槍で米軍機を落とせと書いた毎日新聞が発刊停止ですからね。いまから80年前ですからね。でも、竹槍で届くわけないだろうという感覚を、平気でおばあちゃん達はやってた。わたしもやったよ、とおば

あちゃんに言われました。

と、言うようなことも含めて、日本のことも大変ですが、世界的に見て、コロナの問題は収まりません。インド料理食べたから、チャパティというカレーを浸けて、ちぎって食べるじゃないですか。どう見たって無理ですよ。ということ。

律儀に離れて、2メートル。神宮球場に行ってきました。全部二つ空けて座っていますから。ドーム球場は夫婦、家族は並んで座っていい。後は駄目だ。夫婦なら良いよね。隣り同士だったり、親子なら。それでも神宮とかは他ははずしてる。小学生の男の子とお父さん、お風呂にはいってるんだから。そんなことも含めて、コロナの問題、独裁者の問題というのが、世界中で大変だということをお話させていただきました。

最後に、この6か月。2月のある日に沖縄のキャンプに行き、ヤクルト頑張れ、今年は優勝だ、と激励して最下位でした。今日も野球見ます。が、大変です。2月に沖縄から飛行機で帰る時、既にマスクでした。その時はまだ、うるさいこといいませんでした。昨日はもうスチュワーデスが、マスクとアルコールを使ったこういうのを配ってやっています。それは良いなと思いました。3月からの講演会は本当に中止になりました。10月、11月も、半分位中止になっています。岐阜の大学も東北福祉も、11月までは中止です。ここに来てやっと、来月、山形に講演があり、東京でも法人会があります。

ただ、東京のあちこちを見て、最近、いろんなところを見て、これは簡単に収まらない。東京がこの状態ですと、おそらく、コロナショック、倒産ショック、リストラショック、GDPダウン。それが地方にボディブローのように入ってくる。その時に、どこかで公務員人件費を1割下げる。財源を確保し、それを無収入のシングルマザー、シルバーに自動的に回すような、そういう制度をして、最低限生きられる部分を考える。今、公明党の関係者にも、それに乗れ・・・単に、十数万円陰でもらわないで、本当に生活困窮の人にやっと理解をする創価学会のおばちゃん達が、先生のいうことが正しい。私、葛飾区ですから、まわりがほとんど昔は創価学会、竹入義勝さんの選挙区でしたから。同級生、後輩に都会議員も区会議員もいる。応援もしてあげました、と言って。どこかでかなりの生活補填をするような、そのことで、給食とか何かでわかっちゃう。いいじゃないですか、そんなことは。貧しさを怒れということじゃなくて、生きていくことが大変だという人が世の中に一杯居るということ、是非もう一回考える位に日本が追い詰められてきたということ。今日、昨日、羽田に来て、あの閑散とした羽田、半分以上閉まっている羽田。そして東京で、同級生と赤

坂六本木での食事は、4人までですから、大きな中華料理屋で、丸テーブルに4人。1メートル以上離れて食べて、外に出てタクシーが来るまで、人っ子一人、六本木も一ツ木通りも、人はいない。この状態は、おそらく秋田の川反も同じような状況で、ちょっと長引くということになると思われます。

藤 本 福岡先生、どうもありがとうございました。

〔研究論文〕

江戸初期勸善の文学（一）

花 田 富二夫

序

江戸時代の草創期、日本は新しい時代に入った。豊臣秀吉の文禄・慶長の役は朝鮮半島の荒廃をもたらしたが、皮肉なことに、日本、中国に対しては近代化の歩みをいちだんと促進させた。そして、以後、日本は国際的に鎖国制度の国家態勢に進んでいく。だが、それは表向き、文化や思想においては、欧米はともかく中国思想、朝鮮文化の導入などが更に活発化していった。

しかし、国内の大乱を経た日本は、ひとまず徳川の御代となって平和の風も吹いてきたが、政治的には新時代の行方を模索中であつた。中国もまさしく動乱期、明から清への移行を余儀なくされる時期であつた。朱舜水をはじめとする明末の遺臣たちが日本亡命を希望し、明国再興を願う勢力が助援を請う時代でもあつた。朝鮮半島も戦争による疲弊からまだ立ち直っていなかつた。日・中・韓の東アジア三国は、このようにかつてない戦争の被害に苦しんでいたのである。

こうした中、日本自体は国力の整備が必要な時期であり、外国との抗争に国力を削る余裕はなかつた。新興都市江戸の街作りが急ピッチで進められており、諸街道の建設をはじめ、江戸城はもちろん、大坂城、駿府城、名古屋城などの有力城下町の建設も急を要していた。国内にはなおも不穏分子が頻発し、各地の大名の改易・転封も行わなければならなかつた。加えて徳川一門の統制や、朝廷への介入、また、かつて強力な力を有した有力寺社勢力の統御、そして参勤交代の制度化、官僚機構の整備など、国家機構の体制強化に天下を挙げてつとめなければならぬ時期でもあつた。

このような時に外国と一戦交えるようになると、秀吉の二の舞にならざるを得ない。そのためには、ともかく外国との軋轢は最小限にとどめなければならなかつた。その思いの頂点が島原の乱である。農民一揆あるいはキリスト教救済思想、若しくは幕府への謀反と見られた天草四郎時貞の幻影は、確実に幕府を不安にさせた。幕府は原城立籠も

りの民衆を皆殺しにした上、島原領主であった松倉勝家を、大名でありながら斬首に処すという類いまれな処分で結末をつけた。これには、幕府の焦燥感にも似た国内鎮定への意向を見ることができる。この内乱以後、鎖国態勢はいちだんと強められていったのである。

このように日本国という国家体制が、徳川將軍家によって強力に進められて行く中であって、文化面における進展は、逆に目覚ましいものがあった。戦国の世を経過した人々は、戦乱のうっぷんを晴らすかのように、文化・芸能への渴望を潤していった。新渡来の三味線とくぐつ師による人形廻し、それに座頭の浄瑠璃語りが加わった三業一体による人形浄瑠璃、やや子踊りが発展したおくに歌舞伎など、これらが一世を風靡していった。

出版界にあっては、それまでの写本文化から印刷文化への進展が見られていった。文禄・慶長の役で渡来した朝鮮活字印刷技法、あるいは宣教師ウァリリャーニョが持ち込んだ西洋式活字印刷機などは後世への印刷技術発展への端緒となった。この活字印刷手段は長続きしなかったが、角倉素庵の関与による嵯峨本版行など、豪華本の出現が見られ、その後の出版活動のエネルギーとなっていった。

出版界はやがて木版印刷の全盛へと向かうが、それらはジャンル意識など皆無に、ひたむきな食欲さで各分野の書物を出版していった。とくに、実用的な方面の医学、仏教方面の出版はめざましかった。この時流の下、新時代に即した知識を得ることは、当代の人々の急務であった。いわゆる書物の執筆者たる知識人は、自分たちも新しい知識を得る一方で、庶民に対しても教化を注ぐ必要があった。それはまた幕府の意向ともかなったものであったろう。武力の世から文治の世への変貌を期す以上、国民もそれなりの新知識を得なければならない。そのことが国家を統制してゆく上での最良の方法でもあった。おのおのが己の分に従い、己の役目を果たすこと、それがひいては国家の安寧をもたらすものであり、国家安康の基本である。この理念に即して登場した思想が朱子学であった。ここに朱子学が新時代にふさわしい学問として発見され、重用されていったのである。

以上が、徳川新時代の出発見取り図である。おそらくこれまでの見解と大差ないであろう。江戸時代を述べる時、このような記述、見取り図で従来のおおよそが出発してきた。

さて、上記では、朱子学が新時代にふさわしい思想として定位されてきたと、結論だけを述べた。しかし、これにはもう少し説明が必要であろう。だが、その説明を行うには、これまた相応の紙数が必要である。だが、この種の説明には従来多くのものがある。否、殆どがこの説明に当てられて来たとも言えるであろう。したがって、ここではもはや触れないでおこう。繰り返すなら、江戸時代初期にあっては、朱子学こそ政権にとつ

て最適の学問であり、為政者はもちろんのこと、知識人をあげてその徹底に力めたということであり、このことに基本的に異論はない。

しかし、江戸時代初期にあつては本当に朱子学のみが重用されたのであろうか。そのことを我々は疑う必要もあろう。例えば、国際仏教学者の末木文美土氏は「近世はしばしば儒教の時代と誤解されるが、実際には日本の儒教は礼なき儒教であり、支配階層である武士の倫理に留まった。」（『近世の仏教』吉川弘文館、2010年）と述べており、「武士であっても原則として仏教式の葬儀を行わなければならない、儒教の方式は禁止された」（同書）とも言う。同氏はさらに、徳川初期においては、依然として仏教の影響力が強かったのであり、仏教の側においても、鈴木正三のように「仏法を世法」ととらえ（正三著『万民徳用』）、それぞれがそれぞれの職務をつとめることが仏法にかなうという思想のもと、ひいてはそのことが封建的思想の一面を担った、とまで述べている。これはきわめて重要な視点である。

たしかに、正三は上述島原の乱後、天草に渡り、天草代官に任命された弟の鈴木重成を援助して、人心を仏教に感化すべく、その天草統治を宗教的面から支援した人物であった。大桑齊氏によると、正三の活動は寺院と民衆との結びつきをいちだんと緊密化させ、すでに幕府の檀家制度の理念を表しているとも言われる（『日本近世の思想と仏教』宝蔵館、1989年）。また、今更言うまでもないが、徳川初期の重要な政策を企画・推進させたのが、崇伝、天海という仏僧であったことも忘れてはならない。とくに崇伝は武家諸法度、公家諸法度、寺院法度など、江戸幕府の根幹の重要政策の担当者であった。このように見ると、江戸時代初期にあつては儒教よりも仏教の影響力の方が大きかったことが知られよう。

だが、実は、以上の説明でも説明しきれないものがまだ存するのである。上記の儒教・仏教の拮抗の中で、さらに庶民レベルにまで考えを及ぼすと、必ずしも儒教、仏教、あるいは神道などという厳密な宗教生活によって現実生活を過ごしていたわけではないとも言えるからである。むしろ、儒教、仏教両者の要素を取り込みながら、神道、道教をも巻き込んだ庶民教化の思想が存したのではなかろうか。すなわち政治の上層部や宗教家、一部の知識人においてこそ、仏教、儒教、神道などという思想的区分や棲み分けがあつたかもしれないが、庶民のレベルにおいては、これらを混合した思想の奔流が存しているのを注視しなくてはならないのである。そして、これらの混交思想もまた、政治的な方策に影響を及ぼした可能性も無視できない。

だが、従来これらに関しては、あまりにも発言が少ないように思われる。前述のように、儒教や仏教の見取り図は、案外容易に描かれ得るが、この庶民教化の実態に関しては、その特殊性と相まって、これまでほとんどまとまって論究されたことがなかった。従来の研究でも、個別的な記述で終わるのが通常であった。時折、興味をひかれた各専

門家がバラバラに論じてきた感は否めない。

しかし、この庶民教化の思想こそ、中国から朝鮮半島を通じ、日本へと伝播した大きな思想のひとつであり、それぞれの国風に沿って変容してきたものでもあった。そして、我が国江戸時代初期におけるこれらの思想は、ある意味では、以後の近世期全体を通じる思潮ともなったのである。それらは文学のみにとどまらず、文化・教育・思想界にも強く影響していった。したがって、江戸時代初期における当思想活動の検討は近世全般に関わる問題ともなり得よう。

本稿は、その意味でこの問題をもういちど改めて見直し、これまで各氏によってばらばらに考察されてきたものを総合的な視点で考察するものである。筆者自体もこれまで当期に関するいくつかの論考を公表し、一書としても上梓したことがある。だが、これらをもういちど上記の視点で見直す必要を感じたからに他ならない。

さて、上記を結論的に述べるなら、この儒教・仏教・道教を混合した思想とは、「三教一致の思想」である。もちろん、日本の歴史において「三教一致」の思想は古くから存していた。空海の『三教指帰』がその良い例であろう。この三教思想が江戸時代初期に再度隆盛をみたとも言えるかもしれない。そして、それらは徳川時代創始という新しい民衆社会の要請したものでもあった。とするなら、江戸時代初期の当思想は、空海の時代とは当然異なっていたであろうし、あるいはまた一致した面もあったに違いない。しかし、いずれにしろそこに三教思想の時代を超えた普遍的なもの、あるいは逆の特殊な状況を見出さねばならないのであるが、本稿の目的は、この空海時代との比較にはないので、ここでは触れない。

そこで、この三教思想を促進させたものとして、日・中・韓に広く流布した「勸善書（以下、善書）」と呼ばれる書物群に注意したい。つまり、本稿の目的は、この「善書」の影響を中心にして、江戸時代初期の思想・文化・文学・宗教界をいまいちど見直し、この視点からの体系をできるだけ模索することにある。そのことによって、近世初期における真の庶民思想とはどのようなものであったのか。その内実を考究するとともに、その影響はどのような形で発展したのか。これらの様相についても一考を投じてみたい。それは、なぜこの時期に、このような書物が流通したのか、それはどのような目的であったのか、というさまざまな問題に関連してこよう。

また、ここで重点的に取り扱う「勸善」の書物とは、以上述べた、仏教、道教などを包摂した勸善懲悪の書物でもあり、また、それらを網羅的に収集した中国「類書」などを指す。それぞれの具体的書物については以下の叙述に指摘しつつ述べるものとする。

さて、以上述べた善書の活用はすでに仏書のなかにも見られるのである。本来なら仏書は仏教の教宣を目的としたものであるが、そのれっきとした仏書にすでに善書が引用されているという事実である。まず、この点から見てみよう。中でも、特に浅井了意の

仏書には、今、述べた勸善の書物が多数利用されている。このことは了意という特殊で個別的な領域に属すかもしれないが、了意こそが、近世初期の代表的存在である点に鑑みると、彼の仏書を検討することは、今述べた課題を象徴するものと言えるだろう。

最後に、これら善書による影響の書物群を、筆者は「勸善の文学」と命名したい。この名称が妥当か否かは読者の判断に任せよう。本稿がどこまでこの点に迫り得たか自信はないが、ひと通りの図式を試みてみたい。一方、「善書」の影響は、文学・文辞のみならず、挿絵の利用という点でも大きな影響を与えた可能性がある。絵入りで「説く」という形態こそ庶民の耳目に訴える最も効果的なものであったからである。この点についても可能な限り触れてみよう。そして、これらの考察は、おのずと日本だけでなく中国、朝鮮の書物群にも触れることになるだろう。

第一章 浅井了意の仏書と善書

近世初期は、また宗教の分野でも布教活動の活発化と相まって、さまざまな思想が鎬を削った時期である。それは各宗派の教宣活動の一環でもあったろう。この庶民啓蒙活動に筆をふるった人物として浅井了意がいる。彼は、後年、真宗大谷派に所属し、今も京都市に残る正願寺という寺院の二世住職をつとめた。高野昌彦氏により過去帳が発表されている（「浅井了意をめぐる正願寺新出資料について」同志社国文学57、2002年）。

彼は多数の仏書を執筆したが、そこには純粹の仏教書はもちろん、さまざまな中国の書物や大部の類書などが引用されている。そこで、本章では、彼の仏書中における、前章で述べた勸善の書物類の影響を見てみよう。

まず、彼の仏書の出発的作品となった『勸信義談鈔』（奥書に慶安二年とあるが、刊行年は宝暦十一年）は、真宗における念仏や信心に関する教義を平易に説いたものとされる（和田恭幸氏『浅井了意全集』仏書編第1巻解題・岩田書院）。だが、本書には、仏教だけでなく三教に関する記述も見えるのである。

巻中、本篇に、

コレラノ文ヲミルニ儒釈道（「儒釈道」左ルビに上から「コウシ」「シヤカ」「ラウシ」とあり）ノ三教ミナソノムクヒアルコトヲアラハセリ

と述べている。そして、儒学でも朱子学への批判が顕著である。同巻には、

儒道ヨリ仏教ヲサシテ。異端ノヲシヘナリトソシルコト。孔子ノイヘルトコロニアラズ。ミナモト朱子ヨリオコレリ。

とあり、仏教を指弾した異端の思想は朱子に出発したものとし、古代における孔子の思想は正しかったと弁護しているのである。この朱子批判は、後述『阿弥陀経鼓吹』巻三の二十九などにも、朱子の『晦庵語録』の言を引用しながら、朱子の考えは「仏教は中

国で新作されたものだとする」説である、と紹介しながら、

朱子ガ仏書ヲ学セザル過チナリ

と述べ、以下、朱子学者たちを非難しているのと同様である。このように本書は真宗の教義を説きながらも、その底流には三教思想が流れていることが分かる。

そして、この三教思想の基盤を担ったものとして、前章で扱った善書の引用を見ることができる。たとえば、巻上・末に、

身体髪膚ハ父母にウケタルトコロナレハ。ミダリニヤブリソコナフコトナカレ。コレマヅ孝ノハジメナリ……伊川先生ノイハク。人ノ父母ナクハ生レタル日マス／＼カナシミイタムベシ…

とあるが、これは、『明心宝鑑』孝行篇第四に

子曰、身体髪膚受之父母、不敢毀傷、孝之始也……

伊川先生曰、凡人父母生、日当倍悲痛……

とある二項から引用されたものと推測される。前者などは世に有名な文言であり、必ずしも『明心宝鑑』と推断されるものではないかも知れないが、伊川先生（程伊川）と並置してある点はこの推察を強く裏付けている。また、さらに『明心宝鑑』に拠ったと思われる箇所は、以下のように他にも見えている。

玄帝ノ垂訓ニイハク。人間ノ私語天ノキクコト雷ノコトク……康節ノ邵先生ガイハク。天ハキケドモ寂ニシテ音ナシ……（巻中・本）

玄帝垂訓、人間私語、天聞若雷……（天理篇第二）

康節邵先生曰、天聴寂無音……（天理篇第二）

周易ニイハク。積善ノ家ニハカナラズ余慶アリ。積不善ノイエニハカナラズ余殃アリトイヘリ（巻中・本）

易云、積善之家必有余慶、積不善之家必有余殃（継善篇第一）

孟子ノイハク天ニシタガフモノハ存シ。天ニサカフモノハホロフトイヘリ。莊子ニイハクモシ人不善ヲナシテ名ヲアラハスコトヲ得ルモノハ。人ハ害セサレドモ天カナラスコレヲ誅ス。瓜ヲウユレハ瓜ヲ得。豆ヲウユレハ豆ヲ得。（割注略）天網恢々ト疎ナレトモシカモ漏サズ。……（巻中・本）

孟子云順天者存、逆天者亡（天理篇第二）

莊子曰、若人作不善得顕名者、人不害天必誅之、種瓜得瓜、種豆得豆、天網恢恢疎而不漏……（天理篇第二）

論語ニイハク死生命アリ。富貴ハ天ニアリトイヘリ。列子ニイハク痴聾音瘂ハ家豪富ニ。智恵聡明ハカヘツテ貧ヲウクル。年月日時該載（割注略）サダマリテ。算来ハ命ニヨルトイヘリ。（巻中・本）

子曰死生有命、富貴在天（順命篇第三）

列子曰痴聾音瘖家豪富、智恵聡明却受貧、年月日時該載定算来、由命不由人。（順命篇第三）

このように、本書は論語、孟子、荘子などを引用した勸善書『明心宝鑑』の文章を用いたのであり、勸善に関して次のようにまとめている。

カクノゴトク儒道ノヲキテ。ナラ善ヲス、メテ悪ヲイマシメ。天道の照覧ヲオソル。アニ善悪ムクフコトナシ。ミナコレ天命ナリトイハンヤ。如来ヨク因果ノ理ヲアキラメ。カナラズ妄言ナシ。浄土アニウタガハンヤ。

と、儒教、道教の天道観とともに、最終的には仏教における因果応報の理を説いているのである。ここに本書は単に仏教の視点だけでなく、三教への配慮のもとで行われたものであることが確認できる。浅井了意は仏書執筆の出発期において、すでに三教への傾倒を見せていたのである。

次に仏書関係書肆として著名な丁子屋西村九郎右衛門の刊行になる『仏説善悪因果経直解』（寛文七年〈一六六七〉刊）は、江戸初期盛んに読まれた『善悪因果経』に了意が注釈を付けたものである。

その巻一、五十五丁目に記載される「順天府ノ民」の妻の話で、母親に胞衣を食べさせたという不孝談は、本文引用書目に『迪吉録』とある。これは『鑑草』の典拠ともなった話でもあり、確かに勸善の類書『迪吉録』に記載される話であった。

『迪吉録』からの引用は、他に、巻二、十六丁目に羅夫人が朝早く起きて奴婢たちに粥を作って食べさせたという慈悲談や巻四、四十一丁目に、隋の煬帝の時、宗子賢という幻術師がいて、人々に乱を起こさせようとしたので捕らえられたという幻惑談などが見えている。

これらは仏書の注釈に仏書のみを用いるのではなく、興味ある説話を引用しながら、平易に教理を説こうとしたものであり、そのひとつに勸善の類書が用いられたのである。

また、類書としては、『堪忍記』にも用いられた『事文類聚』などもあり、巻一、十七丁目の劉伯芻と餅売りの話は引用書目が「隋唐嘉話」とあるが、実質は『事文類聚』に拠ったと思われる。同巻十五丁目には、『事文類聚』の書名も見えている。その他としては、『搜神記』『続搜神記』、巻三に『太平御覧』『太平広記』なども使用されている。

では、了意仏書には、どの程度の中国類書が使用されているか、まず、二書に関して記してみたい。ただし、ここでの中国類書とは、一言でいえば、説話類のアンソロジー書物であるが、寛文十一年刊書籍目録類で「伝記」の項目に分類されているものも一部含める。例えば、「列仙伝」「列女伝」「三綱行実」等。

以下、巻数、(説話番号)、内容見出し、「引用書目」の順に記載する。

『阿弥陀経鼓吹』寛文八年刊

巻三（二七）孟母断機「列女伝」、（二八）楽羊子妻断機「列女伝」

卷六（四六）齋君謨与飛衛師弟「太平広記」
卷九（一一）樂羊子「列女伝」、（一三）洛陽ノ王常ト云者…「廻吉録」、蘇東坡、陳布亮ニ…「太平広記」、（三五）蓮華「勸善書」
卷十（一九）須達貧困之日…「勸善書」
卷十一（三）後漢ノ辛繕…「事文類聚」
卷十四（三）舅犯…「説苑」
『無量寿経鼓吹』寛文十年刊
卷四（二二）費長房「事文類聚」
卷五（一〇）左慈ノ幻術「神仙伝」
卷六（一二）レン巴「神仙伝」
卷七（四）我ガ子ヲ捨テ…「列女伝」、（八）東家、西家ニ嫁ス女…「事文類聚」、（一四）陶穀…「述異記」
卷八（一）麻姑「神仙伝」
卷九（六）宋ノ伯姫「列女伝」、（一九）王質入仙「述異記」、（二〇）劉阮到天台仙室「続齊諧記」、（二九）鐘離春「類苑」、（三〇）宿瘤「古列女伝」
卷十（一九）文姫「列女伝」、（二四）則天皇后女人、大安和尚「太平広記」、（二七）尹吉甫後妻「列女伝」
卷十一（一八）鄭子産死「事文類聚」
卷十二（四）媚兒「太平広記」
卷十五（三）西涼ノ瑠璃灯「太平広記」、（一〇）紅葉之媒「太平広記」、（三四）鹿笛製法之説「太平広記」
卷十六（三六）謝安ノ鼻ヲ…「事文類聚」
卷十八（三五）季憲「仇池筆記」、（四二）三人盜賊…「廻吉録」
卷二十四（一一）狼狽之説「西陽雜俎」、（二六）博奕無道入地獄「太平広記」
卷二十五（二八）焚蚕繭而患瘤「搜神記」、（三二）愉断牛舌生子無舌「太平広記」、（三六）蘇娥為靈鬼訴劫賊「太平広記」、（四一）酷獄囚之報生子不育「太平広記」
卷二十六（一二）薛瑗妬之報「廻吉録」、（二〇）唐武攸寧邪欲之報「太平広記」、（二一）唐刑疇為劫賊之報「太平広記」、（二三）殺人奪財冤報「太平広記」
卷二十七（八）韓滉捕姦婦「西陽雜俎並独異志」、（九）鄭生擒賊「太平広記」、（一二）戴淵翻賊業「世説」、（一五）精巖寺僧誣姦婦女「古今説海」、（二二）姦婦殺夫沈井「筆談」、（二三）冤鬼随犯人事実「廻吉録」、（四二）李訓之妾讒死之報「太平広記」
卷二十八（三）程惡子欲刺母自割我腸「廻吉録」
卷二十九（一八）唐郭覇無道之現報「太平広記」

以上初期の仏書の状況について記した。今後、残りについて調査を行い、他仏書との比較に及ぶたい。これだけでも、相当の善書や類書が引用されていることが判明しよう。

1 中国の善書

中国における三教融合は早くから行われ、すでに南北朝以来、三教を調和する思想があった。宋代に至ると、とくに盛んとなり、寺観に釈迦、孔子、老子の三聖図や三教像を祀るのが流行した。これが明代にも引き継がれ、三教堂の設置などが行われていった。この中国における三教一致の思想を育んだのが「善書」と呼ばれるものである。酒井忠夫氏（『中国善書の研究』一九六〇年初版）によると、中国では、とくに宋代以後に民衆の教化の実践が盛んとなり、官民、貧富、士農工商を問わず対象とされてきたという。それらは儒教思想を基本としながらも、道教、仏教を包摂するものであった。したがって、「善書」の形態も純然たる経典とは相違し、俗文を用いつつ、語り物の形式を採り入れたり、絵図入りの図説形式を採ったりなど、庶民層が理解し易いように工夫されたものであった。その代表的なものとしては、南宋の李昌齡が著した『太上感應篇』、明末袁了凡の『功過格』、明末の官人、士人層の文昌帝君信仰の中から作成されたと推測される『陰騭文』、そして『覺世経』などがある。

この「善書」の流通が盛んとなったのは、明末から清初の時期であり、ちょうど、我が国江戸時代の初期（一六〇三～）に当たる。江戸時代初期、我が国は冒頭述べたように鎖国体制を敷いたが、思想・文化の流入に関しては、時々刻々とでも言うべき活発さで、さまざまな思想・文化が受容されていった。朱子学に関しても、もともとは朝鮮半島経由のものであった。

一方、中国では、三教混合の思想は政治・社会問題とも重なっており、明の始祖である太祖は人材登用の面でも釈、道の宗教を重用し、僧侶や道士の統制も行ったという。ただし、この場合、やはり基本となるのは儒僧であり、僧侶、道士に儒学との調和を求めたものであった。だが、これらが三教の融合をいっそう促進させたのは否めない。

「善書」としては、まずこれらの一環としての勅撰勸戒書の作成がある。前述、酒井氏著書によると、およそ六〇種弱に上る書名が見えている。それらは、主に洪武、永楽、宣徳年間のものであり、明朝草創期である洪武年間の刊行が過半に上る。その教化の対象は、

帝王及び子孫（一四書）、皇太子（四書）、皇妃公主（五書）、宗藩外戚（一九書）
官僚（三一書）、武官（三書）、臣民一般（一七書）

である。

確かに、帝王家一族を対象とするものが半数を占めている。しかし、その内容は民間（因果応報）思想をも包摂したものであり、中には図説として理解し易くしたりなど、

民間レベルにも通用するよう編集されたものであった。そして、扱われた事例などは儒、仏、道の三教から取材されているのであり、まさしく三教の内容となっているのである。

これらの中で、現在も日本の文庫に所蔵されるものや、従来の研究で取り上げられた主なものを酒井氏前著より列記してみよう。なお、和刻本とは、もともと中国の書物であったものが日本で印刷されたものを言う。

女誠（洪武元年）古代の賢妃の事例集、後宮を肅清するためのもの

皇明祖訓（洪武六年）太祖による子孫への訓戒書

御制大誥（洪武一八年）官僚への訓戒

教民榜文（洪武三一年）太祖の村落統治、民衆教化など

古今列女伝（永楽元年）太祖の高皇后及び成祖による。女子への訓戒書

仁孝皇后内訓附高皇后伝（永楽五年）高皇后による女訓書。皇太子、諸王、臣民に頒布

仁孝皇后勸善書（永楽五年）仁孝皇后没後、皇太子高熾等が刊行、寛文三年和刻本有り

聖学心法（永楽七年）成祖による子孫訓戒書

為善陰隲（永楽一七年）先人で為善をなした者の伝記、科挙試験にも出題

孝順事実（永楽一八年）古今の孝順の人物二百七人の伝記

外戚事鑑（宣徳元年）外戚の善悪人の事跡

歴代臣鑑（宣徳元年）群臣に対する訓戒書、二百十三人掲載

五倫書（正統一二年）経伝百家の善行を君臣・父子・夫婦・兄弟・朋友に分類したものの、寛文八年に和刻本有り

歴代君鑑（景泰五年）聖賢、祖宗の訓戒書

女訓（嘉靖九年）嘉靖帝生母、章聖皇太后著の訓戒書

帝鑑図説（隆慶六年）張居正による歴代の善跡、悪事、一事毎に図を入れ、伝記、解を附したものの、慶長十一年和刻本有り

この中で、『仁孝皇后勸善書』（永楽五年）を取り上げてみよう。本書に関しては、筆者もかつて巻三の孝子篇の翻刻を訓点付きで試みたことがあった（『大明仁孝皇后勸善書』一卷三〈孝子譚〉を中心とする一」（上）・（下）、「大妻女子大学紀要一文系」第二十五・二十六号、共著者稲葉二柄、平成五・六年）。底本は国立国会図書館に所蔵される二十冊本で、永楽三年（一四〇五）に成立、その二年以後に刊行されたものと推測される。

本書の内容は嘉言篇と感応篇から成り、嘉言篇には儒学、仏教、道教の三経典から文言が引用され、さらに感応篇には多くの事例説話が収集されている。まさしく本書は三教の内容を備えているのである。

この巻三に記された説話は一二七話であり、都合一二七人の孝子が見える。本書は正史などを原拠として収集されたと思われるが、本書もまた、いわば中興の書物として、以後の説話集などに受け継がれ、影響していった面がある。筆者が本書に着目したのも、当巻に記載された孝子説話のうち、我が国仮名草子などに影響したものはないか、そのことを調査するためであった。

今、【表Ⅰ】にその登場主人公名を掲載しておこう。

【表Ⅰ】『仁孝皇后勸善書』（永楽五年）

- 1 王祥（晋） 2 陽雍（漢） 3 郭巨（漢） 4 董永（漢） 5 蔡順（漢）
6 徐憲（漢） 7 古初（漢） 8 応順（漢） 9 高式（漢） 10 方儲（漢）
11 姜詩（漢） 12 申屠幡（漢） 13 孟宗（呉） 14 王虚之（呉） 15 王延（晋）
16 劉殷（晋） 17 何琦（晋） 18 許孜（漢） 19 王彭（宋） 20 孫法宗（晋）
21 紐士雄（宋） 22 袁昂（齊） 23 焦華（齊） 24 解叔謙（齊） 25 蕭叡明（齊）
26 劉靈哲（齊） 27 江。 （齊） 28 荀匠（梁） 29 庚域（梁） 30 阮孝緒（梁）
31。 翔（梁） 32 劉霄（梁） 33 庚子輿（梁） 34 陸襄（梁） 35 蕭脩（梁）
36 阮卓（梁） 37 裴子野（梁） 38 甄恬（梁） 39 韓懷明（梁） 40 滕曇恭（梁）
41 司馬暲（梁） 42 柳遐（梁） 43 宗懌（梁） 44 蕭放（梁） 45 王崇（梁）
46 皇甫遐（梁） 47 呉明徹（陳） 48 徐。 （陳） 49 裴俠（後魏） 50 梁彦光（後魏）
51 呉遠達（後魏） 52 紐因（後周） 53 劉仕雋（隋） 54。 普林（隋） 55 華秋（隋）
56 李德饒（隋） 57 陸政（隋） 58 陳孝意（隋） 59 支叔才（隋） 60 許担（唐）
61 武弘度（唐） 62 崔玄。 （唐） 63 李。 秀（唐） 64。 無量（唐） 65 梁文貞（唐）
66 許伯会（唐） 67 林攢（唐） 68 張士巖（唐） 69 殷亮（唐） 70 宋思礼（唐）
71 安金藏（唐） 72 李夢旗（蜀） 73 孟熙（蜀） 74 丘傑（宋） 75 呉二（宋）
76 支祖宜（宋） 77 東海孝婦（漢） 78 江和（漢） 79 楊宗妻王氏（唐） 80 于敏直妻張氏（唐）
81 賈孝女（唐） 82 五羊村民（宋） 83 概中里王氏女（晋） 84 衢人李五郎（宋） 85 蔡端明（宋）
86 毛洵（宋） 87 欧陽修（宋） 88 顔烏（漢） 89 庚黔婁（南齊） 90 呉隱之（晋）
91 朱寿昌（宋） 92 程袁師（唐） 93 蔣堅（宋） 94 庚沙弥（齊） 95 夏方（晋）
96 宋瓊（北朝） 97 夏侯詳（南朝） 98 迦夷国長者ノ子 99 雪山ノ鸚鵡 100 蕭固（漢）
101 太原王千石（唐） 102 僧子隣（唐） 103 劉行者（唐） 104 釈道丕（周） 105 王固（劉宋）
106 馬喬卿（唐） 107 晋安王蕭子懋（南齊） 108 何瑚（梁） 109 僧法雲（宋） 110 鄭邯（唐）
111 李植（宋） 112 沙門智勤（晋） 113 姚察（陳） 114 僧導（元） 115 韋鼎（南朝）
116 師覺授（南朝） 117 楊緯（宋） 118 姜肱（漢） 119 田真三兄弟 120 薛包（漢）
121 李知本（唐） 122 烏程呉陸（晋） 123 一士人（五代） 124 徐棘（宋） 125 劉庭式

(宋)

126鄭叔通(宋) 127襄陽霸城王整之姉(齊)

更に、もう一つの大きな孝子説話集として、『孝順事實』が刊行されている。これも二〇七人に及ぶものである。

【表Ⅱ】に、本書に登載された孝子を表示しておこう。底本は、永樂十八年の序年記を有する重刊本である。目録は四字から成っているが、今、孝子名のみを書き出して置く。

【表Ⅱ】

卷1

1 虞舜 2 文王 3 武王 4 漢王 5 伯奇 6 考叔 7 曾参 8 閔損 9 子路
10 伯俞 11 老来 12 子春 13。子 14 蔡順 15 劉平 16 王琳 17 江革
18 蕭固 19 彭脩 20 廉范 21 姜詩 22 黃香

卷2

23 周磐 24 薛包 25 董永 26 丁蘭 27 申屠 28 蔡邑 29 杜孝 30 子華 31 陸績
32 李密 33 王詳 34 王。 35 夏方 36 孟宗 37。袁 38 盛彦 39 劉殷 40 王延
41 許孜 42 范宣 43 卞。

卷3

44 何琦 45 法宗 46 丘傑 47 潘綜 48 王彭 49 原平 50 賈恩 51 吳達
52 頤之 53 匡昕 54 齊人 55 子平 56 道愍 57 虚之 58 張稷
59 叡明 60 黔婁 61 叔謙 62 元卿 63 子鱗 64 崇。

卷4

65 曇恭 66 荀匠 67 吉玢 68 子輿 69 沙弥 70 孝緒 71 謝蘭
72 蕭放 73 甄恬 74 懷明 75 不害 76 韋鼎 77 蕭脩 78 蕭勵
79 阮卓 80 孝克 81 徐。 82 明徹 83 長孫 84 文恭 85 悉達

卷5

86 楊引 87 張昇 88 王崇 89 德林 90 陸。 91 陸政 92 秦族
93 彦光 94 柳遐 95 道丕 96 紐因 97 德懋 98 士儁 99 普林
100 德饒 101 華秋 102 孝肅 103 孝意 104 叔才 105 盧操
106 志寬

卷6

107 少玄 108 季詮 109 許担 110 敬臣 111 敬彝 112 仁傑
113 玄。 114 日知 115 九齡 116 法慎 117 知道 118 賈循
119 伯会 120 杜羔 121 林攢 122 師貞 123 饒奴 124 孟熙
125 延慶 126 郭宗

卷7

127顧忻 128侯義 129天佑 130許愈 131李諮 132查道
 133趙抃 134歐陽 135李瓊 136徐積 137寿昌 138支漸
 139孔。 140夏侯 141希喬 142司馬 143蘇頌 144高登
 145李植 146楊政

卷8

147岳飛 148允文 149與齡 150朱泰 151善応 152杜誼
 153呉二 154郭義 155守道 156寿孫 157陳顔 158夢龍
 159樊淵 160王閏 161希憲 162韶孫 163李茂 164一徳
 165黄贊 166思聡 167楊崑 168王薦

卷9

169従義 170徐鈺 171王庸 172。遵 173応祥 174郭全
 175徳政 176姜兼 177旺舅 178紹祖 179克巳 180周楽
 181孫抑 182湯霖 183呉祐 184明三 185王中 186李英
 187宗魯 188張十 189王與 190仲礼

卷10

191叔先 192女勝 193李氏 194覃氏 195李氏 196張氏
 197王氏 198楊香 199張氏 200詹女 201廖氏 202王氏
 203良氏 204趙婦 205閏氏 206。氏 207劉氏

表 I・II に掲げた、『仁孝皇后勸善書』と『孝順事實』の二書には共通した人物が取り上げられている。具体的には、1 王祥、4 董永、5 蔡順、11 姜詩、12 申屠幡、13 孟宗、15 王延などであり、以下、番号のみ記すと、16、17、18、19、20、24、25、30、35、36、38、39、42、44、45、47、48、50、52、55、56、57、58、59、62、67、73、75、87、89、91、95、104、106、111、120などの40人以上に上る。これら両書の孝子には、『二十四孝』や『蒙求』などの孝子・幼学説話集と重なるものも多い。

さて、この両書はある程度我が国の知識人に読まれた可能性があるが、残念ながらその明確な徴証をまだ見出すことができない。しかし、中国善書『仁孝皇后勸善書』は膨大な書物であり、その全容を読破するにはかなりの困難が伴う。はたしてこれらの書物がどれだけ読まれたものか、かなりの専門家や知識階級ならともかく、一般民衆への流布としてははなはだところもとないのである。ところが、やはりそのような思いがあったのか、本書に関してはこれを抜粋した和刻本（日本で編集出版されたもの）が刊行されている。こちらの方こそ江戸人の読書対象となったであろう。本書をひとまず流布本『勸善書』と呼んでおこう。

2 『大明皇后勸善書』の抜粋和刻本

今述べたように、中国の『大明皇后勸善書』は大部の書物であり、日本人が簡単に読めるものではなかった。渡来したとしても、かなり特殊な知識階級の人々が手にしたものであったろう。したがって、実際にこのような大部な書物が容易に一般人の眼に止まったとは考えられず、筆者もこの書物を庶民の世界において考察に加えることは現実的でないと感じざるを得なかった。おそらく前に述べた中国善書そのものの考察が遅れてきたのもそのような事情によったのではなかったろうか。ところが、その折りも折り、本書を抜粋し、漢文に訓点を振った和刻本が存することを知った。そして、この和刻本ならなんとか一般人も読めるであろうことをどうにか実感できたのである。この和刻本についてはこれまで考察の対象とされたことはなかったが、その後の調査で、いくつかの大学図書館にも所蔵されていることが分かった。

管見に及んだ一本は、早稲田大学中央図書館所蔵の「寛文三癸卯曆初冬吉旦、寺町二条下ル丁、西田勝兵衛開板」の刊記をもつ五卷五冊本である。

全体でおよそ二五〇丁、かなりの量ではあるが、なんとか読破できそうだ。この早稲田大学図書館蔵本には、旧蔵者と思われる書き込みがある。巻四の巻末に「殿光岸寿清自覚如大禪定尼菩提、源姓久保田氏、即空大虚誌之」とある。「久保田」という氏姓の人が、「殿光岸自覚如」という戒名を持つ女性の菩提のために本書を捧げたいことが推測される。とするなら、おそらく本書は仏教関係者の読書対象でもあったのだろう。

ここでは詳しい内容には触れないが、本書を読むことによって、当時の日本人の興味の在り方とともに、三教の全体像についての知見が得られることになる。この和刻本は、いわば中国原書の日本での直接的な影響ということになるが、ここではひとまず膨大な中国書において、本書からその内容を概観してみたい。そして、必要があったときは本書を道案内に中国原書に及ぶこともできよう。では、本書に見られる三教のテーマとはどのようなものであったろうか。まず、そこを出発点としてみよう。

本書の記述年代としては、「昔」とある神仏の時代から、隋・漢などの古代をへて、三国・南北朝時代から唐・宋代に及ぶ。宋代が本書成立時のいわば「現代」である。全部で312話、そのうち宋代の数も少なくない。本書が古代のみを対象とするのではなく、本書成立時のいわゆる「現代」を問題としているのが分かる。

さて、内容的には「感応」の部とあるように種々の神仏感応談が主であり、それらは大きく善報と悪報とに分別される。しかし、善・悪の二分類ではいかにも内容の把握が大まかすぎるので、さらにこれを下位分類してみた。【表Ⅲ】の中の「型」の欄に記されているものをご覧いただきたい。ただ、この分類用語はあくまでも筆者の任意の命名であり、画然と分別されていない向きもある。あくまでも筆者に取ってのメモとなるように平易なものを基準としたものである。では、これらの概数を次にあげておこう。

一 悪報 (45) 二 陰悪 (2) 三 陰徳 (14) 四 戒 (7)

五 活命（4） 六 孝行（25） 七 債（5） 八 殺禍（14）
九 嫉妬（2） 一〇 仁政（7） 一一 誦経（16）一二 清貧（19）
一三 殺生（11）一四 仙（10） 一五 善報（7） 一六 徳行（6）
一七 不孝（10）一八 不浄（2） 一九 施物（28）二〇 仏果（48）
二一 謗（2） 二二 報応（16）二三 報恩（10）二四 法華経（8）
二五 約（3）

以上、二十五の話の型に分類してみる。悪報、不孝などネガティブな内容も多いが、孝行、吉報、善報あるいは陰徳、仏果なども多く、これらは勸善の成果として戒めのテーマに利用されているのである。

以上は仏教・儒教・道教の三教の説話から成り立っており、おのおのが当然その三教に区分できるものである。だが、仏教は比較的弁別が容易であるのに対し、儒教、道教は困難である。もちろん三教が混合されているのであるから、画然と弁別すること自体が困難であるのは言うまでもない。しかも、道教とはいえ、儒教の一部とも言えよう。しかしいっぽうで、三教はよるべき経典も発生も相違するのであるから、やはり、その淵源については考慮しなくてはならないだろう。だが繰り返すようだが、仏教の話にしても他の二教との相互影響関係が強く、それぞれが影響し合っているのであるから、純粹の仏教的なものからは変形しているに違いない。したがって、これらを儒・仏・道の三教に厳然と区分し、定義するのも難しいのである。しかし、だからこそこれがまた善書の特色であるとも言えるのである。

さて、この説話の類型が日本での説話の類型とも重なってくる。そして、日本の物語に、これらの説話の「型」をテーマとした書物が展開してゆくのである。つまり、いうならば、この日本での物語の源泉こそ、これら勸善の書物を淵源としたものであったと言えるのである。では、次にこれまであまり触れられなかった二、三の説話の「型」に即して、日本の物語との関係について概観してみる。（以下続）

〔研究論文〕

大学生の散文理解における知識利用

— 誤信念理解と類推を規定する作業記憶 —

光 田 基 郎

はじめに

(1) 「心の理論」は3歳から5歳までの幼児が自分自身と他人の心情、希望と意図や知識の差を理解し、多様な推理と類推とを用いてその不協和を解消する能力である。その研究の焦点は、幼児が真実または自分自身の知識、視点や信念の内容と他人の視点や絵本の登場人物の信念から生じた誤解や欺きの内容をも理解する能力の発達であり、他人や絵本の世界が示す誤った信念内容と真実または自分の知識や信念との不協和を認め、他人の視点での信念、想像と類推内容をも理解して現実も絵本の世界をも受容する「誤信念理解」の発達過程の解明である。本報告は、筆者がこれまでに3-5歳児に電算画面で絵本を読み聞かせて上記の誤信念理解の年齢差を検討した一連の報告(光田、2005、2006、2008、2009、2010、2011、2014、2015、2016a、2016b、2017、2021)の補足であり、成人の誤信念理解において上記の信念内容の対比の作業台となる作業記憶に関する実験報告の試みである。

(2) 本報告は、大学生に下記の韓国民話の絵本を大画面で読み聞かせた実験の報告である。その要旨は、農家の母親が泣く子に「泣き止まないとトラが来る」と脅しても泣き止まない時に干し柿を与えたら泣き止んだ。トラが外でこれを聞いて「この子は自分が来たと分かっても泣き止まない程の強い子なのに、干し柿と聞いて泣き止んだのは干し柿が自分より怖いから」と誤解して逃げた時、偶然にこの農家に侵入した牛泥棒と鉢合わせする。泥棒は牛を盗む気でこのトラに飛び乗るが、トラは干し柿という怪獣に襲われたと誤解して、盗人を背中に乗せて逃げる」筋立て12コマを大画面で大学生に読み聞かせて誤信念理解と記憶容量の関係を検討した実験と文献展望である。

(3) 上記の文献展望では、絵本に描かれた誤信念内容と真実の表象との対比、推論による絵本全体の筋立ての理解に不可欠な作業記憶の寄与に注目し、類推とその作業台となる作業記憶の容量、真実の表象を抑制して誤信念内容の理解に至る知識利用とを関

連付けた研究についての問題提起を試みる。さらに絵本の内容理解に不可欠な類推と作業記憶を含めた実行機能と誤信念理解との関係に関する基礎実験を通じて筆者による上記の実験報告の内容を補足する試みが本報告の基本的課題となる。

(4) その結論では、視空間的情報処理能力、統語を含めた言語的処理と類推とが個別に絵本の内容理解に寄与する結果を指摘し、誤信念の理解をも含めた抽象的な知識操作とその下位技能である類推の発達過程の意義を強調した。

第1章 絵本の読み聞かせにおける類推と誤信念理解

1-1. 絵本に描かれた誤信念理解における類推の寄与

(イ) 誤信念理解を指標とした上記の「心の理論」とその発達の基本に注目した視点では Hoyos など (2015) の類推観が挙げられよう。この視点では3歳乃至5歳児による他人の意図や感情への期待または予測内容の説明として (a) 実際に幼児が学んで適用する概念とその複合体である「素朴心理学の理論」を想定して、幼児がこれらの概念体系を適用し得ない事態に直面してはこれらの意味または素朴概念を再構成する理論説 (Gopnik と Wellman, 1994) 及び、(b) 幼児の言語発達、特に統語的な発達では「彼は母親が在宅と思った」などの文の動詞句を補ってその意味を明らかにする補語並びに心的状態を示す動詞の習熟とこれらの文を統合的に活用する対話の発達に伴う他者視点の理解を経た「心の理論の修正」に注目した言語説並びに (c) 情報処理の作業台となる作業記憶での注意の制御とその情報処理容量などの発達に注目した実行機能説 (Milligan など、2007) の区分を試みたが、Hoyos などは類推における推理が作業記憶などの実行機能に規定される過程には論及していない。この点は次項の検討課題となる。(d) Hoyos などは心の理論の発達に関して上記の理論説と言語説に準拠しながらも、上記の言語体系の習得から他者の誤信念内容の理解に至る発達過程に関しては、他人の思考又は信念の内容などと幼児自身の経験内容または既得知識の表象との比較や対応付けまたは関連付けを意図した推理と類推とを強調した点が特徴となる。その実験では4歳半から5歳の幼児に電算画面で吹き出し付きの漫画を見せる方法で「対象の予期しない移動、または所定の容器には予期しない物が在中」を課題とした古典的な2肢選択の誤信念課題を提示して、さらに質問によって「真実」の表象と「誤信念内容」とを対比させた結果から「年少児は既に容器とその本来の中身とは入れ替えられた今の中身を知っている」などと真実の表象を抑制せずに誤信念の理解にも欠けた誤応傾向を強調した。(e) 類推の発端となる比較の巧緻化の実験で Gentner と Hoyos (2017) は、比較される表象間に共通する構造的な整合性の推理を強調し、その所産としてより抽象的な知識図式の形成と転移とを強調した。ここでは彼らの先行研究 (Christie など 2010) を引用して、大きさを2通りに変化させた以外は同一のネコの絵3枚を同一画面で小大小の順で左右対称

になる形に配列して3歳半の幼児に見せて「トマ」と命名させ、次にウシの絵3枚を同様に配列して「これもトマか?」と質問した後、次にゾウの絵3枚を上記と同様の小大小の対称的配列にした絵と、大きなウシとネコの絵及び小さなリスの絵各1枚を1画面に描いた絵とを同時提示して「いずれがトマか」を質問した結果、無教示群の98%は対象となる動物が同一か否かの判断を、上記の小大小の対称的配列での対応性も教示した群の57%はこの抽象的な関係性に従う選択判断の傾向を強調した。上記の対象間の抽象的な構造的推論と別の動物の絵や人物画の対比課題への写像に関しては、この様に構造的な整合性の検索と理解を可能にする作業記憶での知識利用の巧緻化が問われよう。この点が以下での検討課題となる。

(ロ) 誤信念理解以外の視点での類推研究では、脳科学以外の認知発達研究の視点で作業記憶と類推の関係を指摘した例も存在する。知識表象間の比較と推論の過程の作業台となる作業記憶などの実行機能に関しては、上記の知識表象の保持と表象相互間の関連に注目し、表象相互間の干渉を低減して当面の課題達成に不要な情報への反応を未然に抑制して情報処理資源を効率的に運用する過程を強調したChoなど(2007)の実験を挙げ得よう。この実験では大学生の参加者に2名の人物を1枚の画面に描いた絵のペアを1秒または4秒の間隔で提示した際に、この2枚の絵に描かれた人物の服の2色、性別、高身長か否か及び肥満体形か否かの4属性のいずれか1属性のみに注目させて2枚の絵の各々に2人ずつ、計4人描かれた人物の特徴を選択的に想起させ、 $A : B = C : D$ の4項目類推の関係を読み取れるか否かの判断を求めた課題を与え、上記の4種類の属性中のいずれの属性に注目して上記の4項目類推が可能な対応関係を読み取るべきかの判断とその反応時間を求めた結果、(a) 2枚目の絵の提示直後に上記の4項目類推関係の検索・判断促進操作としての関連属性の教示を与えずに多くの無関連属性からの干渉に直面させた条件下では成績の低下と処理時間の増加が示された。この結果からは、最初に提示された画面の2枚の人物画に描かれた人物相互間の比較から類推可能な対応関係を推理して無関連属性からの干渉を抑制する際に必要な作業記憶での処理資源の必要性が強調された。次に(b) 個々の人物画の表象間での類推関係の検索と対応付けを求めた条件下では第2画面での画像提示までの3秒間の遅延の有無の条件間での成績の差が得られない結果から短期記憶での視覚的な記憶表象の減衰のみが強調され、人物画の図式的表象の検索とこの人物画の表象から上記の4項目類推に必要な意味的な対応性を示す属性を検索して第2画面に写像・適用するまでの比較・推論判断とは独立した処理過程であるとの結論に至った点か特徴的である。上記の類推に必要な推論とその結果の適用を可能にする知識表象、特に可塑的で同時的な情報処理に耐える図式的・空間表象とそれ以外の言語的継時的処理に適した言語表象の各々の活用と意図的な操作、特にその作業台となる作業記憶の寄与についての検討と問題提起と実験が次項並びに第2章

で述べる4肢選択の誤信念課題での課題となる。

1-2. 類推の発達を支える実行機能とその下位技能

(イ) 上記の作業記憶に関して、SimmsとRicklandなど(2018)は5歳児から11歳までの発達段階で意図的な目標志向行動に不可欠な実行機能として注意と行動を協応させた認知・判断と反応の制御機能を指摘した。特に上記の類推を支える実行機能とその個人差に注目し、その実行機能の3側面として作業記憶、反応抑制とその制御及び柔軟な認知を挙げた。特に、類推の下位技能としての推論の発達の規定要因としては知識表象相互間で示された上記の多様な関係性の統合機能以外に、個々の知識表象相互間の関係性の理解に必要な作業記憶負荷の節減に注目して、上記の知識表象相互間の関連付けとは無関連の知識表象への反応抑止操作に必要な情報処理負荷の節減機能の2点を強調したほか、上記の思考の多方面性と可塑性にも注目した。この論文で指摘された作業記憶、無関連反応の抑制と可塑的思考の各々が類推の活性化を促進する機能の概略とその問題点を指摘して、次章で述べる実験の問題提起の試みが本項での課題となる。特に(a)上記のRichlandなどの作業記憶観では、課題達成の際に一時的に活性化された記憶表象及び、その操作の作業台となる情報処理容量の制約が特徴的である。類推に関しても、記憶表象相互間で多様な関係性または構造的な推理とその適用を求める際に上記の情報処理資源の充実が重視された。特に上記のChoなどの指摘を引用して、活性化された表象相互間の多様な関係性の抽象化を強調して、多くの刺激特性を統合し、取捨選択した状態での推理を求めた類推課題ならば、年少の実験参加者は上記の記憶容量の不足ゆえに複雑な知識表象相互間の対比と推論とを求めた類推が困難な傾向を強調した点はその特徴となる。(b) 特に類推課題の達成に際しては、この課題の達成に必要な表象とその関係性や対応性だけを推理し得る様に注意対象の選択と注意集中が必要視され、課題とは無関連の刺激表象への注意抑制と制御操作とが求められた。具体的には、検索された知識表象相互間の見かけの類似性や意味的な関連性など、本来の課題達成とは無関連の課題刺激の構造的な関係性への反応傾向を未然に防止・抑制する判断が重視され、刺激表象相互間の見かけの類似や具体的関連性よりも刺激表象間のより抽象的で本質的な構造的な関係性または対応性に注目した推理を基本とした類推の発達が強調された。(c) 上記の推論の発達規定要因としてRicklandなどは、知識表象相互間の関係性の統合と無関連属性の想起への抑制とを挙げたほか、類推を規定する実行機能の発達の第3要因として柔軟な推理とその成果の応用を想定して、課題刺激に対する多様で広範囲の認知と柔軟で可塑的な判断を経た自由自在な判断基準変更を類推の発達的变化の規定要因に追加している。その実験での類推検査では従来の4項目間でのA:Bの関係とC:Dの関係の等質性の理解課題を使用せずに、3項目間でのgive and take または「男の子が女の子を追いかけ、母が

この男の子を追う」などの2重の役割とその図示が特徴的であり、下記の例の様に「誰かが誰かに食べ物を与える」との関係性の対応付けを求めた課題では「母親が幼児の口にスプーンで食事を与える時、この幼児が食卓の下にいる飼い犬にエサを与える」場面の絵から2重の関係性を正しく類推して、「巣に帰った親鳥に大人がエサを与える時にこの親鳥は巣の中のひな鳥にエサを与える」絵を正しく選択させる課題成績とその下位技能との因果関係を検討した。下位技能として上記の作業記憶、反応抑制の検査及び認知の柔軟性の検査では反応基準の変更への対応性の検査を実施した結果から、作業記憶が上記の実行機能の基本的な説明変数であり、さらに類推成績の説明変数としては記憶以外の上記の実行機能を挙げた点がこの報告とその先行研究の基調と言えよう。この報告は未就学時から11歳児までの参加者に簡素なエピソードを図示した結果からの類推を求めた点と、作業記憶の検査も単語の提示後にカテゴリー別の想起と分類とを求める課題に限定されたゆえに、成人の類推における無関連反応の抑止と多様な目標領域への写像の過程及び、誤信念理解における真実と誤信念内容の対比と真実の表象への抑止過程の各々と上記の反応抑止に至るまでの処理過程の作業台となる作業記憶容量の関係に関しては詳細な検討の余地を指摘し得よう。以上の視点から、絵本に描かれた誤信念理解の知識を活用した類推を通じて絵本全体の筋立ての理解に至るまでの下位技能及び、その柔軟性及び、作業台となる作業記憶の寄与に関する検討が次項以下の課題となる。

(ロ) 本項では、絵本に描かれた誤信念内容の理解における真実の表象の抑制機能とその転移効果によって絵本全体の筋立ての理解を促進する可能性並びに、上記の類推における課題と無関連の知識表象の抑制機能とが作業記憶容量の節減を生じて絵本全体の筋立ての理解を促進するか否かを規定するかを検討し、次章で述べる誤信念理解に関する実験に関する問題提起を試みる。

(a) 乳児から成人までを対象にした類推とその発達に関する2010年代の研究の展望では、脳科学の視点での知的機能の研究、電算モデル構築の試みと並んで類推の心理実験における変数間の関連性の因果関係の分析が注目され、特に上記の知的表象相互間の関連性の推理過程の研究が重視された現状を指摘し得よう。例えばHolyoak (2012) は、当面の課題に関連する知識表象の検索、対比、選択判断及び課題とは無関連の反応を抑止する操作とその作業台としての作業記憶の寄与に関する因果関係の意義を強調し、表象相互間の関係性に関するプライミングによる類推と転移促進を示唆したが、知識表象の柔軟な図式化に関する指摘内容は具体性を欠き、誤信念理解などの知識利用に依存した類推における反応抑制に関して検討の余地を指摘し得よう。

光田 (2021) は、類推における推理過程で上記の作業記憶の寄与に関する電算モデル化 (Morrisonなど2011) や、成人の誤信念理解の不十分さの原因を概念体系の未発達でなく認知と記憶関連の知的操作、特に他人の視点での推理の不慣れに求めたBirchなど

(2007) に注目して、画面で大学生に絵本を読み聞かせ、その理解における真実の表象への抑制と誤信念内容の選択及び他人の思考内容の推理を規定する作業記憶機能の多様性を指摘した。

(b) 特に、既製の検査では、状況理解、記憶と他人の思考内容の推理を求めたサリーアン型の誤信念理解検査で「サリーがボールを箱に納めて退室・不在中にアンが勝手にこのボールを箱から出して籠に移し替えて退室したなら、その経過を知らずにサリーが戻った時にボールは元の箱と移動先の籠のいずれにあると思うか」と誤信念内容を問う2肢選択での古典的な誤信念課題以外に、上記のBirchに準拠した4肢選択で対象の移動先を問う形式の誤信念検査をも併用したほか、4肢選択でさらに移動した容器の位置手掛かりを付加し、どの容器に移動させたか不明の条件を設定した。実験結果から、2肢選択の誤信念理解の成績よりもケースの位置と色の手掛かりによる反応の偏向傾向及び、別の類推課題及び長文理解検査の高得点者は上記の容器の色彩や位置の手掛かりには過剰に反応しない傾向を指摘し得た。さらに絵本の理解成績とその下位技能である作業記憶検査としての長文理解、反応抑制、文法理解と類推検査及び上記の2肢と4肢の誤信念理解検査成績を求めてクラスター分析した結果、色彩手掛かりと文法理解、絵本の再認成績並びに2肢選択の誤信念理解成績及び類推の2クラスター以外に課題とは無関係のエピソードの順序構成を求めた長文理解検査（作業記憶範囲）の3クラスターが得られた。以上より、類推と作業記憶検査の関連付けが課題と考えられよう。

この点に関する再検討が次章での実験の課題となる。

第2章 誤信念理解を課題とした類推の実験及び結果の考察

問題と目的

「対象の予期しない移動」を題材とした誤信念理解の実験（例：Maeharaなど、2013）では、4肢選択の誤信念課題での作業記憶の負荷に注目し、既得知識による信念内容の偏向を指摘する。本実験では、画面で読み聞かせた絵本の「トラも泥棒も誤解した」筋立ての理解に必要な誤信念内容の理解過程での真実表象の抑制と誤信念内容の選択的理解における推理並びにその適用を基本とした類推過程での作業記憶の寄与の指摘が課題となる。

方法

材料・参加者・課題：(1) 前述の「トラと干柿」（藤巻愛著・福音館・韓国民話）より農家の母親が子どもに「泣き止まないとトラが来る」と脅しても泣き止まない時、干柿を与えたら泣き止んだ。トラが聞いて「この子は自分が来たと分っても泣き止まない程に強い子なのに、干柿と聞いて泣き止んだ。干柿は自分より強い」と誤解して恐れて

逃げた時に この農家に侵入した牛泥棒と鉢合わせする。盗人は牛を盗む気でトラに飛び乗るが、トラは干柿という怪獣に襲われたと恐れて盗人を背中に乗せて逃げる話17画面とその再認と下記の下位技能検査を大画面で(2)私立大学生56名(M51、F 5名)に読み聞かせ、(3-イ)その再認成績、(3-ロ)長文理解(留守番中の出来事の順序構成)と、(3-ハ)真実と誤信念内容の対比とその表象操作の変数として(a)類推、(b)文法、(c)反応抑制を挙げてその検査項毎に選択反応を記入させた。(4-イ)誤信念理解課題は通常の2肢選択のサリーアン課題及び(4-ロ)4肢選択課題は Birch & Bloom (2007)に準拠して、姉かハイオリン演奏を中断して青のケースに入れた後の外出中に妹がハイオリンを赤ケースに移して、さらにその位置も変えて退室した。姉が戻る時に最初にどのケースを開けてハイオリンを探るか?」について下記の3群別に主観的なケースの選好確率を記入させた。参加者はほぼ等数毎に、(4-ロ-1)妹がどれかの容器に移し替えたが、いずれの容器に移すか不明条件、(2)赤容器に移して容器の位置も入れ替えた(現在の所在プラス容器の位置情報付加)条件、(3)紫又は緑の容器に入れた(情報無効)条件の3群のいずれかに割り当てられた。実験所要時間は36分である。

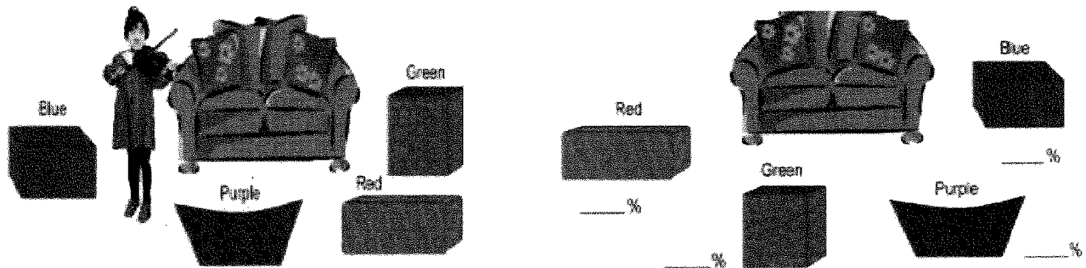


図1. 実験に用いた画像 (Birch07の一部を改変)

結果と考察

上記の方法の項の(3)と(4)に述べた変数のクラスター分析した結果の一部が図2である。上記の4肢選択関連の2クラスターとそれ以外の変数のクラスターが得られた結果からは4肢課題での知識操作はそれ以外の言語的表象の操作過程とは別の空間的・図式的表象に依存し、流動的知能に関連した作業記憶による誤信念理解(Stevenson, '17)とそれ以外の論理的・結晶的な知識表象の操作とが個別に誤信念理解を規定する可能性を示唆し得よう。

(2-イ)上記の方法(4-ロ)の3群を級間変動因、逐語及び推理再認を級内変動因に、長文理解、サリーアン課題、類推と反応抑制のいずれかとの相関を求め、2×3

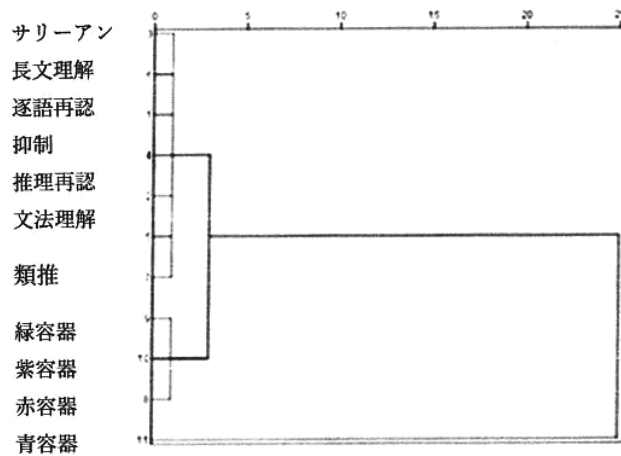


図2. いずれか不明群のクラスター分析

要因共分散分析した結果から、上記（4～ロ-1）で述べたバイオリンの移動先がいずれか不明群では上記の全ての変数と再認成績の高い相関係数値（5%）と絵本の再認の高得点（1%）及び、紫又は緑容器への移動（情報無効）群では上記の不明群とは逆の負相関係数値並びに絵本の再認成績低下（5%）も示された。以上より、成人の誤信念理解に関しては、言語的な推論を用いた自己説明を促進する作業記憶を、言語表象主体の抽象的思考に不慣れな年少児ならば言語表象以外の動作的視空間表象依存の流動的知能又は可塑的な思考に対応した知識利用と類推を挙げたStevensonなど（2017）に従い、作業記憶での具体的で視空間的処理の負荷が増加した（無効情報）条件下では、言語表象の論理判断に依存した2肢選択のサリーアン課題での誤信念理解に不可欠な真実の表象抑制機能の低下と、絵本の再認と上記の変数との負相関も強調しし得よう。

（2-ロ）上記の2要因共分散分析結果からは反応抑制及び類推検査での高得点者は4肢選択誤信念課題でのヴァイオリンの移動先である赤容器の主観的評定値が低い（5%）結果が得られたがこれは誤信念理解による真実（または参加者自身の視点）の表象への抑制及び、類推過程で不可欠な対象間の対応付け（写像）、比較とその範囲の規定能力の寄与を示唆し得よう。

（3-イ）上記の方法（4-ロ）で述べた様に、ヴァイオリンの移動先に関する誤信念理解の4肢選択検査での色彩と位置手掛かりの差を示す3群別に、絵本内容の推理再認成績を規定する誤信念理解の要因として上記の方法（3）と（4）の諸変数の成績または主観的選択比を説明変数とした判別分析を試みた結果、バイオリンの移動先がいずれか不明群では類推、反応抑制と長文理解が有意で正の正準判別関数係数値であり、絵本

の内容推理再認の促進への寄与を示す。この様に、上記の不明条件下では作業記憶での言語表象を基本とした真実の表象抑制が示される一方、妹がヴァイオリンを赤容器に移動させ、位置も元の青容器と入れ替えた位置手掛かり群では長文理解のみが絵本内容の推理再認の正の説明変数となる。さらに、紫の容器への移動を考えた色彩手掛かり無効条件では絵本内容の逐語再認成績と類推との負相関係数値が得られ、視空間的な情報負処理負荷が過剰となる条件下では絵本の筋立て理解に不可欠な誤信念内容の理解と真実の表象への抑制過程で多くの視空間的情報の対応付けと多様な比較判断に作業記憶で処理資源も不足する結果も示された。

(3-ロ) 上記の視空間的または言語的な処理が求められた条件下での言語表象に依存した2肢選択のサリーアン型誤信念課題と併せて考えた際、言語表象依存の成人の類推での言語的推理を強調した先行研究(Stevenson など2017)を念頭に推論と写像の対象となる知識表象の差と作業記憶における論理的・言語的処理と視空間的情報処理に必要な負荷の質・量差の検討と関連付けが課題となる。

以上の結果及びに、Kim (2015) は多様な実行機能による類推の発達支援機能と誤信念理解の説明変数としての機能をも重視した提言をも併せて考えた際には、類推の発達研究における言語的・空間的表象相互間の関連付けを可能にする多様な実行機能の寄与の様相の詳細な実験が今後の課題となった。

文献

- Burch, S.A., & Bloom, P., 2007. The curse of knowledge in reasoning about false belief. *Psychological Science*, 18, 382-386.
- Christie, S., & Gentner, D., 2010. Where hypotheses come from: learning new relations by structural alignment. *Journal of cognition and development*, 11, 356-373.
- Cho, K., Holyoak, K. J., & Cannon, T.D., 2007. Analogical reasoning in working memory: memory: Resources shared among relational integration, interference resolution, and maintenance. *Memory & Cognition*, 35 (6), 1445-1455.
- Gentner, D., & Hoyos, C., 2017. Analogy and Abstraction. *Cognitive Science*, 9, 672-693.
- Gopnik, K., & Wellman, H., 1994. The theory theory. In L.H. Hirschfeld & S. Gelman (Eds.), *Domain specificity in culture and cognition*. NY: Cambridge University Press.
- Hoyos, C., Horton, W.S., & Gentner, D., 2015. Analogical comparison aids false belief understanding in preschoolers. In D.C. Noelle, R. Dale, A.S. Warlaumont, J. Yoshimi, T.
- Kim, Y-S. G., 2015. Developmental, component-based model of reading fluency: An investigation of predictors of word-reading fluency, text-reading fluency, and reading comprehension. *Reading Research Quarterly*, 50, 459-481.
- Matlock, C.D. Jennings, & P.P. Maglio (Eds.), *Proceedings of the 37th Annual Conference of the Cognitive Science Society*, Austin, TX: Cognitive Science Society. PP.1-6.
- Lohman, H., & Tomasello, M. (2003). The role of language in the development of false belief understanding. *Child development*, 74(4), 1130-1144.
- Maehara, Y., & Saito, S., 2013. Cognitive load on working memory both encourages and discourages reasoning bias

- regarding the mental states of others, *Australian Journal of Psychology*, 65, 163-171.
- Milligan, K., Astington, J. W., & Dack, L.A., 2007. Language and theory of mind: Meta-analysis of the relation between language ability and false-belief understanding. *Child Development*, 78, 622-646.
- 光田基郎 2005. 電算画面上で読み聞かせた絵本の理解に関する4歳児と5歳児の差異. 大阪経大論集 第56巻 2号 85-96.
- 光田基郎 2006. 4-5歳児に電算画面で読み聞かせた絵本の理解における類推の寄与. 大阪経大論集 第57巻 6号 97-112.
- 光田基郎 2008. 4-5歳児に電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における類推の寄与. 大阪経大論集 第58巻 7号 7-26.
- 光田基郎 2009. 類推と統語機能の発達が電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第59巻 6号 7-20.
- 光田基郎 2010. 類推と誤信理解の発達が電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第60巻 6号 1-16.
- 光田基郎 2011. 4-5歳児の誤信理解の差異と類推が電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第61巻 6号 7-23.
- 光田基郎 2014. 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における誤信理解と類推の効果. ノースアジア大学総合研究 第2号 159-172.
- 光田基郎 2015. 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における誤信理解と類推. 聖霊女子短期大学紀要 第43号 25-36.
- 光田基郎 2016a. 5-6歳児に画面で読み聞かせた絵本の内容理解 — 誤信理解・類推と教示の効果 —. 聖霊女子短期大学紀要 第44号 25-36.
- 光田基郎 2016b. 絵本の内容理解における誤信理解と類推. 矢野喜夫, 岩田純一, 落合正行(編) 認知発達研究の理論と方法:「私」の研究テーマとそのデザイン. 東京:金子書房. 第5章, pp75-88.
- 光田基郎 2017. 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における意味的作業記憶. 大阪聖徳保育・福祉論叢 第22号 23-33.
- 光田基郎 2020. 大学生に電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解:誤信理解・類推を規定する作業記憶の効果. ノースアジア大学総合研究. 第8巻. 141-155.
- Morrison, R.G, Doumas, L.A.A., & Richland, L.E., 2011. A computational account of children's analogical reasoning: balancing inhibitory control in working memory and relational representation. *Developmental Science*, 14, 516-529.
- Richland, L.E., Begolli, K.N., Jaeggic, S.M., Lyons, S.M., Klostermann, E.C., & Matlen, E.C. 2018. Executive function in learning mathematics by comparison: incorporating everyday classrooms into the science of learning, Stevenson, C.E., Hickendorf, M., Resting, W.C.M., Heiser, W.M., & Boeck, P.A.L. 2013. Explanatory item response modeling of children's change on a dynamic test of analogical reasoning. *Intelligence*, 41, 157-168.
- Simms, N.K., Frausel, R.R., & Richland, L.E. 2018. Working memory predicts children's analogical reasoning. *Journal of Experimental Child Psychology*, 166, 160-177.
- Stevenson, C.E. 2017. Role of working memory and strategy use in feedback effects on children's progression in analogy solving: an explanatory item response theory account. *International Journal of Artificial Intelligence Education*, 27, 393-418.

〔研究論文〕

修辞判断における固有情報の使用に及ぼす認知負荷の影響

瀧澤 純

要約

人は、他人から聞いた言葉が本音、嘘、皮肉などのうち、いずれであるのかを考える。すなわち、修辞判断を行う。近年の研究では、修辞判断の認知プロセスが十分に解明されていないことが指摘されている。そこで、修辞判断における2段階モデルを検証することを目的として本研究を行った。そして、状況把握、台詞伝達、意図選択という3つの段階によって、台詞の聞き手が話し手の意図を当てる実験を行った。聞き手が7文字の文字列を覚える実験操作により、修辞判断を行う際の認知負荷が高まるようにした。実験1では状況把握と台詞伝達の段階で、実験2では意図選択の段階で、実験操作を行った。結果、実験1では、認知負荷が高まる、または妨害情報があると正答率が減少したが、実験2ではそのような効果はみられなかった。状況把握と台詞伝達の段階で意識的なプロセスが働いていることをもとに、言語学や心理学の観点から議論を行った。

1. 問題と目的

話し手が本音として言った「ありがとう」が、聞き手には皮肉を込めた「ありがとう」に聞こえることがある。つまり、人から言われた言葉は、本音として感じられることがある一方で、裏があるような言葉、皮肉や嘘などに聞こえることがある。このような本音なのか皮肉なのか嘘のかなど言葉の綾、すなわち、修辞表現を考える人の行動を、修辞判断と呼ぶ（瀧澤，2019）。修辞判断の失敗は、音韻論的誤解、統語論的誤解、意味論的誤解、語用論的誤解のうち、語用論的誤解に含まれる（三宮，1987）。誤解が修正されないままになると、人間関係に負の結果がもたらされる可能性がある。

近年の研究から、異なる修辞表現が区別される条件が、これまでの言語学的研究では十分に説明されていないという指摘がある（瀧澤，2019）。語用論における代表的な立場としては、会話において明言されない含み（含意）を重視する立場（Grice，1989）、言葉と環境とそれらから推測される内容との関係性を重視する立場（Sperber & Wilson，1995）、会話を行う当事者相互の知識関係を重視する立場（Clark，1996）、コミュ

ニケーションの不誠実性を重視する立場（岡本，2010）がある。ただし、これらは皮肉や嘘などの修辞表現すべてを本音と対比させて捉えており、「本音とその他の修辞表現がどう異なるか」を議論しているのみである。そのため、修辞表現が区別される条件についての説明が十分でない。

異なる修辞表現が区別される条件の説明が十分でないという問題は、心理学や認知科学を含めても同様に存在する。特に、複数の修辞表現を扱った研究がほとんどみられないという問題がある。たとえば、言葉の背景や他者の心についての推測に関する研究から、早い段階の推測は労力が少なく自動的に行われ、後の段階で修正されるという2段階モデルが明らかになっている（秋元・邑本，2007；Epley, Keysar, Van Boven, & Gilovich, 2004；Hansen, Spada, & Schneider, 2007；Keysar, 1994；瀧澤・山下，2013）。ただし、これらの研究も皮肉やアイロニー（反語）を対象とするのみであり、嘘などの他の修辞表現を扱っていない。例外として、複数の修辞表現を扱った研究として、2つの例を挙げる。伊藤・高原・土田・李家・川村・津田・瀧上・川崎（2001）は、「嘘、罪のない嘘、比喩、ふり、冗談、皮肉」を選択肢とする修辞判断を行わせている。ただし、修辞表現の区別は研究の主眼ではなく、言及されていない。また、春木（2006）ではアイロニーを本心と発話内容のズレや攻撃的意図から解釈しているものの、アイロニー以外の修辞表現がどのように区別されるのかを明確にできていない。

以上から、本研究では、修辞判断における2段階モデルを検証することを目的とする。そのために、修辞判断を行う課題を用いて、認知負荷による妨害情報の影響の変化を検討する。認知負荷を低い場合と高い場合の2種類、修辞判断の妨害（聞き手のみ知らされる固有情報）がある場合とない場合の2種類設定することにより、4つの仮説を設ける。仮説1を「認知負荷が低い場合も高い場合も、妨害情報の影響を受けない」、仮説2を「認知負荷が低い場合に妨害情報の影響を受けず、認知負荷が高い場合に影響を受ける」、仮説3を「認知負荷が低い場合に妨害情報の影響を受け、認知負荷が高い場合に影響を受けない」、仮説4を「認知負荷が低い場合も高い場合も、妨害情報の影響を受ける」とする。これらのうちいずれの仮説が正しいのかを、本研究で明らかにする。

2. 実験1

2.1 方法

実験計画

認知負荷（負荷低、負荷高）×妨害（妨害なし、妨害あり）の2要因計画であった。いずれの要因も参加者内要因であった。

参加者

大学生30名（男性21名、女性9名）が実験に参加した。年齢の平均値は20.00、標準

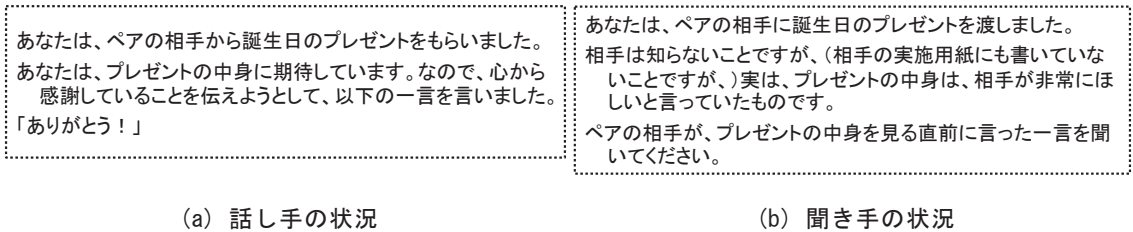


Fig. 1. 実施用紙に書かれた状況の例

偏差は0.17であった。

道具

話し手用と聞き手用それぞれの実施用紙を使用した。実施用紙は実験の進行を補助するためのものであり、実験の説明、実験の練習、実験の本試行、操作チェック（実験操作の適切さをチェックするための質問項目）が書かれていた。

実施用紙には、1回の練習試行、8回の本試行が記載されていた。いずれの試行も、状況把握、台詞伝達、意図選択の3段階で進めるようにした。

状況把握 台詞を伝えるときの状況が、話し手と聞き手の双方の実施用紙に書かれていた。状況を理解するために、話し手と聞き手それぞれが状況を3回以上読むように指示した。実施用紙に書かれた状況の例をFig. 1に示す。

台詞伝達 話し手は聞き手へ台詞を伝えるように、聞き手は話し手の台詞を聞くようにした。台詞は話し手の実施用紙にのみ書かれており、聞き手の実施用紙には書かないようにした。これにより、聞き手は話し手から台詞を聞くまで、台詞を知らないようにした。全ての試行において、台詞は感謝を伝える言葉であった。

意図選択 聞き手が台詞の意図を選択するようにした。質問の文言は「さきほどの一言のニュアンスを、あなたはどう感じましたか。あなたが“最も近い”と感じたニュアンスを、以下の4つから1つ選んで○をしてください。」とした。選択肢はいずれの試行においても、1.心からの感謝、2.照れ隠し、3.嘘、4.嫌み、の4種類になるようにした。選択肢の文言は、1.心からの感謝が「●に期待しているので、心から感謝していることを伝えようとしている」、2.照れ隠しが「●に期待しているが、照れ隠しで感謝していないことを伝えようとしている」、3.嘘が「●に期待していないが、嘘について感謝していることを伝えようとしている」、4.嫌みが「●に期待していないので、嫌みをこめて感謝していないことを伝えようとしている」とした。●の箇所は、試行ごとに変更した。

なお、本稿では割愛するが、意図選択においては他に質問項目があった。聞き手の意

図選択では、4つの選択肢ごとのニュアンスをどの程度強く感じたか（0～100点）を回答するようにした。また、話し手の意図選択では、聞き手が4つの選択肢のうちどの意図を選びそうか、4つの選択肢ごとのニュアンスを聞き手がどの程度強く感じていそうか（0～100点）を回答するようにした。

手続き

実験1回には6名以下の偶数の参加者が集合した。そして、その場でペアを作成して、ペアとペアの間隔を離して着席するように指示した後に、実験を開始した。最初に、実験の目的が、話し手が伝えた台詞の意図を聞き手が言い当てることであると説明した。次に、ペアごとに話し手と聞き手を決めた。次に、座席と姿勢に関する注意を行った。聞き手が話し手に背を向けるようにして、話し手が表情や身振りを使わずに言葉だけで伝えるようにさせた。次に、実験に関する注意点を説明した。他人の実施用紙を見ないようにすること、他人に実施用紙を見せないようにすること、実施用紙の前のページを振り返らないようにすること、実験がすべて終わるまで回答の正誤に関する情報を伝えないようにすることを説明した。最後に、この時点での実験参加の意思を確認した。実験は途中でもやめることができ、実験終了後でも、実験データの使用への同意を撤回することができるかと伝えた。

実施用紙に沿って、すべてのペアが同時に実験を進めるようにした。練習試行1回、本試行8回を実施した。本試行8回が終了した後、話し手と聞き手の役割を交代して実験を行った。役割を交代した後の実験は、交代前とは状況や正解などが同じ場合もあるし、違う場合もあると伝えた。各試行で行った認知負荷の実験操作と妨害の実験操作、順序効果を統制するためのカウンターバランス、操作チェックの詳細について、以下に示す。

認知負荷の実験操作 状況把握の直前に、聞き手だけにアルファベットの文字列（子音かつ小文字）を15秒間で記憶するように求めた。そして、台詞伝達の直後、かつ、意図選択の直前に、文字列を回答した。文字列の回答を終えたら、文字列は覚えなくてよいと指示した。記憶する文字数が1文字である負荷低条件と、7文字である負荷高条件があった。文字列の選定の際には、8桁の数字を記憶させる実験操作を用いたGilbert & Hixon (1991) を参考にした。練習試行は負荷低条件を1回、本試行は負荷低条件を4回と負荷高条件を4回行った。

妨害の実験操作 聞き手の状況把握において、本試行8回すべてに“相手は知らないことですが”から始まる文があった。この文が、話し手が伝えようとする意図（例：プレゼントの中身に期待している）にとって妨害にならない妨害なし条件（「実は、プレゼントの中身は、相手が非常にほしいと言っていたものです。」）と、話し手が伝えようとする意図にとって妨害になる妨害あり条件（「実は、プレゼントの中身は、相手が絶

対にいらなと言っていたものです。])を設定した。練習試行には妨害についての情報がなかった。本試行は妨害なし条件を4回、妨害あり条件を4回行った。

カウンターバランス 本試行8回の状況や台詞の順番は、全ての参加者で同じであった。ただし、認知負荷の実施順を2種類（低高高低低高高低の順、高低低高高低低高の順）、妨害の実施順を2種類（なしありありなしありなしなしありの順、ありなしなしありなしありありなしの順）用意した。これらの組合せにより実施用紙を4種類用意し、順序効果を統制した。

操作チェック 認知負荷の操作チェックを行うために、第8試行が終了した後に、認知的な負担を評価するように求めた。「1文字のアルファベットを頭の中で覚え続けたときの頭の負担の大きさ」「7文字のアルファベットを頭の中で覚え続けたときの頭の負担の大きさ」を、それぞれ0点“負担なし”から100点“負担が大きい”で評価するように求めた。

2.2 結果

操作チェック

参加者は、記憶した文字数が多い場合に、より大きな負担を感じていた（負荷低： $M = 10.67$, 負荷高： $M = 75.80$, $t(29) = -12.80$, $p < .001$ ）。

正答率

本試行8回について意図選択の正誤を集計し、条件ごとに正答率を算出した。負荷低条件の妨害なし条件は、平均値63.33、標準誤差5.84、負荷低条件の妨害あり条件は、平均値43.33、標準誤差6.22、負荷高条件の妨害なし条件は、平均値45.00、標準誤差6.50、負荷高条件の妨害あり条件は、平均値48.33、標準誤差6.98であった（Fig. 2）。

認知負荷×妨害による2要因分散分析を行ったところ、認知負荷×妨害の交互作用が有意であった（ $F(1, 29) = 6.02$, $p = .02$ ）。Bonferroni法による単純主効果の検定を行っ

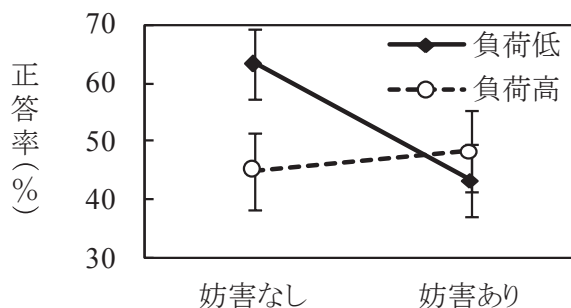


Fig. 2. 認知負荷と妨害による正答率の平均値と標準誤差

たところ、負荷低条件における妨害の単純主効果は $p = .01$ 、負荷高条件における妨害の単純主効果は $p = .71$ 、妨害なし条件における認知負荷の単純主効果は $p = .01$ 、妨害あり条件における認知負荷の単純主効果は $p = .52$ であった。認知負荷の主効果 ($F(1, 29) = 1.41, p = .25$)、妨害の主効果 ($F(1, 29) = 1.54, p = .22$) は有意ではなかった。以上は、仮説3「認知負荷が低い場合に妨害情報の影響を受け、認知負荷が高い場合に影響を受けない」を支持する結果であった。

2.3 考察

認知負荷が低い場合は、妨害がない場合よりも妨害がある場合に正答率が低かった。すなわち、処理資源が十分な状態であったにもかかわらず、妨害の影響を受けた。よって、状況を把握する、話し手の台詞を聞くという2つの段階のいずれかに、意識的な処理があると考えられる。

認知負荷が高いときは、妨害がない場面で、妨害があるときと同程度に正答率が低下した。処理資源が不十分になることによって、妨害の影響はなくなった。この点については、実験2をふまえた上で、総合的考察にて述べる。

3. 実験2

3.1 方法

実験計画

実験計画は実験1と同じであった。

参加者

大学生36名（男性12名、女性24名）が実験に参加した。年齢の平均値は20.47、標準偏差は0.65であった。

道具

実験1とほぼ同じ実施用紙を用いた。実験1と異なっていたのは、文字列の記憶を意図選択の直前から直後まで行った点である。

手続き

実験1とほぼ同じであった。実験1と異なっていたのは、文字列の記憶を意図選択の直前から直後まで行った点である。

3.2 結果

操作チェック

参加者は、記憶した文字数が多い場合に、より大きな負担を感じていた（認知負荷低： $M = 7.64$, 認知負荷高： $M = 73.92$, $t(35) = -14.27, p < .001$ ）。

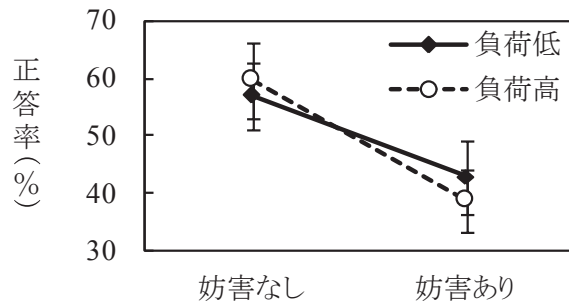


Fig. 3. 認知負荷と妨害による正答率の平均値と標準誤差

正答率

本試行 8 回について意図選択の正誤を集計し、条件ごとに正答率を算出した。負荷低条件の妨害なし条件は、平均値 56.94、標準誤差 5.69、負荷低条件の妨害あり条件は、平均値 43.06、標準誤差 6.35、負荷高条件の妨害なし条件は、平均値 59.72、標準誤差 6.55、負荷高条件の妨害あり条件は、平均値 38.89、標準誤差 5.31 であった (Fig. 3)。

認知負荷×妨害による 2 要因分散分析を行った。その結果、妨害の主効果が有意であった ($F(1, 35) = 5.08, p = .03$)。認知負荷×妨害の交互作用 ($F(1, 35) = .60, p = .44$)、認知負荷の主効果 ($F(1, 35) = .02, p = .89$) は有意ではなかった。以上は、仮説 4 「認知負荷が低い場合も高い場合も、妨害情報の影響を受ける」を支持する結果であった。

3.3 考察

おおむね、正答率は実験 1 と同じ程度であった。ただし、実験 1 とは異なり、認知負荷の影響はみられず、妨害の影響がみられた。よって、実験 2 のような、言葉を聞いた後の判断については、意識的な処理は行われていない可能性がある。ただし、実験 2 において言葉を聞いた瞬間に判断が始まっていたとするならば、認知負荷の実験操作が間に合わなかった可能性もある。この可能性を残してしまったことは、この実験の不備であった。

4. 総合的考察

実験 1 と実験 2 を併せると、妨害がある場合は妨害がない場合に比べて正答率が下がっており、妨害は効果をもっていた。ただし、妨害がない場合、実験 1 の認知負荷が高い場合のみ正答率が低かった。これらを考慮すると、認知負荷が高い場合には、言葉を理解するために必要となる状況の把握が行われにくかったと考えられる。

重要な点として、本研究の結果は、心の推測における 2 段階モデルとは内容が異なっ

ていた。通常、2段階モデルでは、早い段階の推測は労力が少なく自動的に行われ、後の段階で修正されるといわれている (Epley *et al.*, 2004)。本研究にこれを適用するならば、認知負荷が高い場合に、妨害情報を抑制することに困難が生じたはずである。すなわち、「認知負荷が低い場合には妨害情報の影響を受けず、認知負荷が高い場合に影響を受ける」という仮説2を支持する結果になると予想される。本研究は、妨害情報の抑制ではなく、状況の把握という新しい側面を明らかにしたといえる。

ただし、残された課題もある。今回の実験からは、認知負荷が効果をもった段階が不明確である。状況を記憶する段階か、台詞を聞く段階か、状況を言葉の理解へ利用する段階か、今後の検討が必要であろう。具体的には、状況把握の段階では認知負荷の実験操作を行わず、セリフ伝達から意図選択の段階に認知負荷の実験操作を行う方法がある。結果が実験1のようになるならば、台詞を聞いて推測が始まる段階が意識的な処理といえるであろう。実験2のようになるならば、状況把握する段階が意識的であるといえるであろう。

引用文献

- 秋元頼孝・邑本俊亮 (2009). 共通基盤を考慮する前にアイロニーの意味の活性化は生じるのか 心理学研究, 80, 422-430.
- Clark, H. H. (1996). *Using language*. New York.: Cambridge University Press
- Epley, N., Keysar, B., Van Boven, L., & Gilovich, T. (2004). Perspective Taking as Egocentric Anchoring and Adjustment. *Journal of Personality and Social Psychology*, 87, 327-339.
- Gilbert, D. T. & Hixon, J. G. (1991). The Trouble of Thinking : Activation and Application of Stereotypic Beliefs. *Journal of Personality and Social Psychology*, 60, 509-517.
- Grice, P. (1989/1991). *Studies in the way of words*. Cambridge: Harvard University Press. (グライス, P. (著), 清塚邦彦(訳) (1998). 論理と会話 勁草書房)
- Hansen, M., Spada, H., Schneider, A. (2007). Supporting and hindering knowledge communication in a collaborative picture-sorting task. *Journal of Psychology*, 215, 228-236.
- 春木茂宏 (2006). アイロニーの記述的研究(3) 賛辞、世辞、からかいとの比較 文学・芸術・文化：近畿大学文学部論集 18, 39-69.
- 伊藤斉子・高原朗子・土田玲子・李家正剛・川村伶子・津田剛・瀧上英一・川崎千里 (2001). 紙芝居形式による「心の理論」高次テスト作成に関する予備的研究 — 健康青年の反応特性 — 長崎大学医療技術短期大学部紀要, 14, 69-76.
- Keysar, B. (1994). The Illusory Transparency of Intention: Linguistic Perspective Taking in Text. *Cognitive Psychology*, 26, 165-208.
- 岡本真一郎 (2010). ことばの社会心理学 第4版 ナカニシヤ出版
- 三宮真智子 (1987). 人間関係の中の誤解 — 言語表現の誤解に関する基礎調査 — 鳴門教育大学研究紀要(教育学編), 2, pp. 31-46.
- Sperber, D. & Wilson, D. (1995). *Relevance: Communication and cognition. 2nd Edition*. Malden: Blackwell Pub. (内田聖二・宋南先・中達俊明・田中圭子(訳) (1999). 関連性理論 — 伝達と認知(第2版) 研究者出版)
- 瀧澤純 (2019). 修辞判断の認知プロセス — 本音、アイロニー、皮肉、嫌味、優しい嘘、欺瞞、間違い、冗談、からかい、照れ隠し — 総合研究 (ノースアジア大学総合研究センター紀要), 7, pp. 223-230.

瀧澤純・山下利之 (2013). 他者の心の推測における自己中心性バイアスに及ぼす特権情報の考慮の効果 認知科学, 20, 343-352.

付記

本稿における実験1と実験2の一部は、東北心理学会第68回大会にて発表を行った。本稿は、発表後に実験参加者を追加した上で結果の再分析を行い、加筆修正を行ったものである。

人と想像力

－『鬼滅の刃』の死生観－

橋元志保

I. はじめに

鬼とはいかなる存在なのか。鬼たちはいつ頃から、人間を脅かす存在となったのだろうか。そして、この令和の時代に何故ここまで多くの人々が、鬼の住む異界としての大正時代と鬼狩りの少年の物語に惹きつけられるのだろうか。

社会現象とまで言われる『鬼滅の刃』の大ヒットは、とどまることを知らないかのようだ。『少年ジャンプ』に2016年11号から2020年24号まで連載された吾峠呼世晴の『鬼滅の刃』は、2019年4月にアニメ化されたことで人気に火がつき、2020年10月に映画化されると歴代興行収入1位に躍り出る大ヒットとなった。シリーズ総売上も1億部を突破した史上2作目となるという。

物語の始まりにおいて、主人公の竈門炭治郎はごく普通の家族思いの少年であった。東京・山梨・埼玉の3都県にまたがる雲取山で、父を亡くした母子7人は炭焼きで生計を立てていた。長男である炭治郎は、一家のために雪の舞う年の暮れ、重い荷を担いで町へ炭を売りに出掛けた。その炭治郎の留守中に、一家は鬼に惨殺され、ただ一人残された妹の禰豆子は傷口から混じった鬼の血のために鬼女と化してしまうのだ。そして、炭治郎は妹を鬼から人間に戻したい一心で、鬼との闘いに身を投じていくことになる。古より存続する鬼殺隊の剣士となり、数々の修羅場を経て人間的にも大きく成長していくことになるのである。

しかしながら、それはある意味、絶望的とも言える鬼と人間の闘いの記録でもある。鬼は人間より身体も力もけた外れに強く、血鬼術と呼ばれる様々な能力を持ち、多少の傷はすぐに治し、再生してしまう。すべての鬼の始祖とされ、平安時代からの命脈を保つ鬼舞辻無残などは5つの脳と7つの心臓を持ち、自在に姿を変え、数えきれないほど多くの人々を喰い、配下の鬼たちを操って千年もの時を生き抜いてきたのだ。生身の人間がいくら修行を重ねて特別な呼吸法と武術を身につけ、鬼殺の日輪刀で闘いを挑んだ

としても、怪我もすれば体力の限界もある。鬼殺隊の歴史は文字通り血塗られた隊士たちの死の歴史であり、その日常は常に仲間や自らの死と隣り合わせの過酷なものであった。鬼殺隊の中でも主力をなす「柱」と呼ばれる9人の剣士たちも、鬼舞辻無残やその配下の十二鬼月と呼ばれる強靱な鬼たちとの闘いで、次々と傷つき、落命することになる。

本稿では、まず鬼という存在が古より日本の文化の中でどのように育まれて来たのかを概観し、その上で『鬼滅の刃』の鬼たちがいかなる存在であるのかを明らかにしたいと思う。そして、それらを踏まえて、なぜ人間たちが圧倒的に力の差のある鬼たちに挑みつづけるのか、『鬼滅の刃』における死生観についても考察してみたい。

II. 鬼という存在

『鬼滅の刃』において全ての鬼たちの祖であるとされる、鬼舞辻無残が鬼になったのは、平安時代であるという。確かに歴史上、鬼たちが最も多く闇の中を生き生きと跳梁し、人を浚い、殺し、貪り喰ったのは王朝時代であっただろう。桓武天皇が都を山背の地に移してから約三百年、武士たちが台頭する世になるまで鬼たちは様々なかたちで都人を脅かし続けたのだった。⁽¹⁾『今昔物語』にはその当時の多様な怪異譚が描かれているが、まずは鬼の起源から辿っていこう。

『國史大辞典』によると、鬼は「想像上の怪物」であり、「中国では祀られざる死者の霊を鬼（き）といい、この世をうろついて禍の原因となるという」。⁽²⁾ 鬼という概念が日本において形成されていく過程では、古代中国の死者の霊に対する考えや、インドのベーダ神話の悪神が仏教に取り入れられて地獄の獄卒となる等、外国からの様々な影響を受けた。⁽³⁾ 最古の歴史書である『日本書紀』においても鬼の記述は見られ、巻第二「神代」では高皇産靈尊が葦原中国を平定しようと、皇孫瓊瓊杵尊の先触れを派遣する際に次のように語る。「吾、葦原中国の邪鬼を払ひ平けしめむと欲ふ。誰を遣さば宜けむ」。⁽⁴⁾ つまり、豊かな葦原中国の先住者たちは「邪鬼」と呼称されたのである。皇孫瓊瓊杵尊とは天孫降臨で名高い天皇家の始祖である。このように大和政権に敵対する勢力は「鬼」「土蜘蛛」等と呼ばれ、卑しめられた。⁽⁵⁾ たとえば、『日本書紀』巻第七「大足彦忍代別天皇 景行天皇」において、天皇が第二皇子である日本武尊を東方の鄙の国の制定に向かわせる際に、反乱で荒れている地方のことを「亦山に邪神有り、郊に姦鬼有り」⁽⁶⁾ と語っている。「姦鬼」とは「心がねじけて正しくない」との意であるという。このように大和政権に敵対する者は蔑まれ、その呼称の一つとして「鬼」があてられていたのである。

また一方で、私たちがイメージする鬼である、凶暴な人喰い鬼も同時期に顕現する。

8世紀初頭に編纂された『出雲国風土記』には次のような鬼の記述が見られる。

阿用の郷。郡家の東南一十三里八十歩なり。古老伝へて云ひしく、昔、或る人、此処に山田を佃りて守りき。その時、目一つの鬼来て、佃る人の男を食ふ。その時、男の父母、竹原の中に隠れて居りき。時に、竹の葉動けり。その時、食はるる男「動く動く」と云ひき。故れ、阿欲と云ふ。神亀三年、字を阿用と改む。⁽⁷⁾

阿用の郷の地名の由縁を語る記述であるが、何とも酷い話である。山田を作って耕していた男が、両親の目の前で鬼に喰われてしまった。その際に自らは鬼に喰われようとしているのにも関わらず、父母の隠れている竹藪が揺れ動くので、鬼に見つかることを案じて「動く動く（動いているよ、動いているよ）」と、息子が警告を発したというのである。

このように、その起源から鬼は人を喰うものであり、また人を跡形もなく浚ったり、夥しい血と食べ残しの身体の一部——頭部や、腕または足の一部など——を残して、消え去るものでもあった。たとえば『今昔物語』巻二十七には次のような話がある。

今昔、小松ノ天皇ノ御代ニ、武徳殿ノ松原ヲ、若キ女三人打群テ、内様へ行ケリ。八月十七日ノ夜ノ事ナレバ、月キ極テ明シ。

而ル間、松ノ木ノ本ニ男一人出来タリ。此ノ過ル女ノ中ニ一人ヲ引ヘテ、松ノ木ノ木景ニテ、女ノ手ヲ捕ヘテ物語シケリ。今二人ノ女ハ、「今ヤ物云畢テ来ル」ト待立テリケルニ、良久ク不見エズ、物云フ音モ不為ザリケレバ、「何ナル事ゾ」ト怪シク思テ、二人ノ女寄テ見ルニ、女モ男モ無シ。「此ハ何クへ行ニケルゾ」ト思テ、吉ク見レバ、只女ノ足手許離レテ有リ。＜中略＞

「此レハ鬼ノ、人ノ形ト成テ此ノ女ヲ噉テケル也ケリ」トゾ人云ケル。⁽⁸⁾

小松の天皇とは『百人一首』にもその歌が残されている、第58代、光孝天皇（830—887年）のことである。9世紀後半、大内裏の宜秋門の西に松原を隔てて武徳殿という建物があった。8月の月の明るい夜にその松原を、おそらく御所に使える女房か雑仕女が3人連れ立って歩いていると、松の樹の下から一人の男が出て来て、女の手を取り、話しかけて来た。あとの二人の女たちはすぐに話し終わって戻ってくるだろうと、その女を待っていたが、なかなか戻って来ない。そのうち話し声もしなくなったので、松の樹の下に戻ってみると女の姿も男の姿もなく、よくよく見ると女の手足だけがばらばらになって落ちていたというのである。もちろん大騒ぎとなったが、人々は「これは鬼が人に化けて、この女を喰ってしまったのだ」と噂したのだというのである。⁽⁹⁾

同様の話が『今昔物語』巻二十七には続けて記載されており、今度は夜明け前の官庁で「朝庁」という政務に励んでいた弁の何某という太政官が、血塗れの首となって転がっているのを、遅参した下役あさまつりごとの史が発見して大騒ぎとなった。敷物の薄縁の上には夥しい血がこぼれており、血塗れの笏や沓も落ちていたという。⁽¹⁰⁾つまり、平安時代においては、鬼は決して人里離れた山中にばかり出現する者ではなく、京の中心である大内裏にまで出没し、闇に紛れて人を喰らう、常に人々の生活や生存を脅かす存在として捉えられていたのである。

無論、鬼の出没する場所は山中や橋、廃屋や廃寺、都の外れの羅生門等をはじめとする人気のない場所が多いのであるが、前述のような内裏や民家、都大路などの例も散見する。これらはどのような都人たちの状況を反映しているのだろうか。当時は現代と違って、超自然的な存在、人智では計り知れないものの存在を多くの人々が信じていた時代である。そのような時代に、例えば次のような事件が起こったら、人々はどのように解釈するのだろうか。

『今昔物語』巻二十九には次のような強盗事件が記されている。

今昔、下野ノ守藤原ノ為元ト云フ人有ケリ。家ハ三条ヨリハ南、西ノ洞院ヨリハ西二ナム住ケル。

十二月ノ晦比ニ、其ノ家ニ強盗入ニケリ。隣ノ人驚キ合テ惶ケレバ、墓墓シク物モ否取り不得デ、盗人、「被籠ヌ」ト思エケレバ、其ノ家ニ吉キ女房ノ御ケルヲ、質ニ取テ抱テ出ニケリ。三条ヨリ西様ニ逃テ行ケルヲ、此ノ質ヲバ馬ニ打乗セテ、大宮ノ辻ニ出タルニ、人追テ来ニタリト思エケレバ、此ノ女房ノ御衣ヲ引剥テ、盗人ハ棄テ逃ニケリ。

女房習ヒ不給ヌ心地ニ、裸ニテ怖々シト思ヒケル程ニ、大宮河ニ落入ニケリ。水モ凍シテ風冷キ事無限シ。水ヨリ這上テ人ノ家ニ立寄テ門ヲ叩ケレドモ、恐テ耳ニ聞入ル人無シ。然レバ女房□□テ遂ニ死ニケレバ、狗ニ被食ニケリ。朝見ケレバ、糸長キ髪ト赤キ頭ト紅ノ袴ト、切々ニテゾ凍ノ中ニ有ケル。⁽¹¹⁾

十二月の末頃、下野守であった藤原為元の屋敷に盗賊が押し入った際に、隣人が騒いだせいでろくに物も取れず、そこにいた身分ありげな女房を人質に取って逃げた。追手を恐れた盗賊は、その女房の衣装を身ぐるみ剥いで、深夜の極寒の京の大路に置き去りにしてしまう。運の悪いことに、真っ暗で見えなかったのだろう、その女性は東大宮大路に沿った掘割の水に落ちてしまう。やっとのことで這い上がり、凍えながらも家々の門の戸を叩くが、深夜のことで誰も応じてくれない。やがて凍死した女性は野犬に喰われてしまい、翌朝には、たいそう長い黒髪と血塗れの頭と紅の袴だけが氷の中に残されていたという。

実はこの女房は花山院の落胤であったために、この事件は都中の評判となり、犯人も探し出された。そのため、悲運な姫君の話として語り継がれ、またその犯人も人間の強盗の仕業として語られている。⁽¹²⁾しかし、この悲運な女房がそれほど高い身分の女性ではなく、また犯人も捕まらなかったら、どうであったのだろうか。翌朝、残された血塗れの頭部と紅の袴を見て、鬼の仕業と言う者は、一人として出てこなかったであろうか。

鬼が出現し、人が殺される時、夥しい血や遺体の一部が残されることが多い。前述の二つの内裏における殺人事件のように。つまりは、そのような不慮の死や無残な遺体を目の当たりにした当時の人々は、鬼の関与を疑ったのである。

また、当時はそのような不慮の事故や殺人、非業の死が数多く起こる社会であったと見ることもできよう。現代に生きる私たちは、平安時代を豊かな国風文化が育まれた優雅な時代と捉えがちである。豪壮な邸宅に住み、華やかな衣冠束帯や十二単を身につけ、短歌を送りあって恋を囁いていた貴族たちはごく一部の特権階級であった。平安時代は一部の富裕層と大多数の貧困層への二極化がいつそう進んだ時代でもあったし、治安も悪かった。略奪や暴行、強姦、殺人、首取り等々、強盗だけでなく、貴族たちも権力にまかせて様々な事件を引き起こしていた。そしてもちろん、天災や疫病、飢饉等も人々を苦しめていた。⁽¹³⁾そのような不安定な社会の中で、人々を脅かす存在が次第に具象化され、物の怪や妖怪、そして鬼として信じられるようになっていったのだろう。

『鬼の研究』において、馬場あき子は、鬼とは「王朝繁栄の暗黒部に生きた人びと」⁽¹⁴⁾であると述べている。また、馬場は鬼の系譜として、以下の五つを挙げている。一つ目は日本民俗学上の鬼（祝福にくる祖霊や地霊）であり、最古の原像である。二つ目は、修験道の発展と共に山人系の人々が活躍していく山伏系の鬼や、天狗がいる。三つ目として、仏教系の邪鬼、夜叉、羅刹、地獄卒、馬頭鬼の出没も人々を恐れさせた。四つ目として、人鬼系というか、放逐者、賤民、盗賊などである。五つ目は、変身譚系として、怨恨・憤怒・雪辱等の契機により、その情念をエネルギーとして、復讐を遂げるために鬼になることを選んだ者である。⁽¹⁵⁾

『鬼滅の刃』における鬼はすべて、元は人間である。たとえば第65話で、炎柱である煉獄杏寿郎を倒した上弦の鬼である猗窩座は、正に人鬼系もしくは変身譚系の典型である。盗賊であり、その強情さに子どもの頃から鬼子と呼ばれ、大人になってからは許婚の恋雪とその父を毒殺されて憤怒のあまり生きながら鬼となった。復讐の鬼となった彼は犯人のいた道場の人間すべてを撲殺したのである。その事件を知った無残によって、鬼にされ、上弦の鬼として百年以上のあいだ戦う人間を探し、負けた相手を喰らってきたのだ。

ただ猗窩座は決して人間の女を喰わなかったという。しかし、鬼の中には好んで女を喰らう、沼の鬼や、童磨等もいる。十二鬼月の中でも抜きんでた力を持つ上弦の式であ

る童磨は、表向きは新興宗教である万世極楽教の教祖として暮らしている。その実、信者たちを、特に女性達を好きな時に喰い散らす生活を送っているのだ。童磨や同じく上弦の鬼である、吉原遊郭に巣喰う堕姫も美しい女性たちを食料として異次元にある自分の帯の中に蓄え、好きな時に喰らう。その様は、御伽草子の酒伝童子たちを思わせる。⁽¹⁶⁾

以上のように、『鬼滅の刃』における鬼たちは猗窩座やまた上弦の壺である黒死牟等の一部の武闘派の鬼たちを除いては、人間と戦うことを好んでいるわけではなく、ただただ人間を苦しめ苛み、その身体を貪り喰ったり、人間の血を好む存在として描かれている。そして、最大の特徴はそのすべてが元人間であり、その始祖は鬼舞辻無残であり、その血を分け与えられることによって鬼になった、という点である。前述したように日本の鬼の系譜は様々な系統があり、天孫降臨の時代に存在した「邪鬼」や「土蜘蛛」がその始祖とはいえない。出雲国の阿用の一つ目の鬼も同様である。鬼の特徴である「人の男を食ふ」という行為は語り伝えられているが、その後阿用の鬼から様々な鬼の系統が生まれていったわけではない。人里離れた山中といわず、都の中心たる内裏といわず、日本の各地において、様々な老若男女たちが、鬼と出会い、鬼に襲われ、無残な死を遂げるか、生き延びたかという多様な伝承が伝わっているばかりである。つまり、唯一無二の鬼の王、鬼の系譜というものは、日本の伝承及び物語の中には存在しない。

しかし、『鬼滅の刃』においては、唯一無二の鬼の帝王としての鬼舞辻無残の姿が繰り返し描かれる。彼が生み出した全ての鬼たちは彼の命令には絶対服従であり、わずかでも逆らえば容赦ない処罰か死が待っている。十二鬼月の鬼たちも例外ではなく、無残を頂点とした完全なるヒエラルキーが『鬼滅の刃』の鬼たちの世界である。平安時代に貴族の子として生まれ、千年もの歳月を数多の人々の命を奪い続けながら、生き続けてきた無残は、更なる永遠を願っている。すなわち、「太陽の光を克服すること」、それが、彼が多様な体質の人間を鬼にする目的だというのである。

『鬼滅の刃』の鬼たちは、人間から見ればほぼ不死身であり、鬼滅隊の隊士たちが所持する、日輪刀という特殊な鉱物から造られた刀でその首を落とされるか、太陽の光に当たらない限り、死ぬことはない。後述するが、鬼の首を刀で落とすのは、日本古来の鬼の退治方法であるが、太陽の光を浴びた途端に鬼の身体が焼けただけ、塵のように消滅してしまうことも『鬼滅の刃』の鬼の特徴の一つだろう。無論、鬼という存在は本来、真っ暗な夜の闇の中を跳梁する者であり、昼日中に鬼が出没するという伝承や物語は少ない。しかし、陽の光を浴びると灰のように消え失せるという特徴は日本の鬼のものではない。

それは、世界中で知られている、ある西洋の鬼たちの特徴を示している。鬼たちの帝王である鬼舞辻無残の血を分け与えられることによって、人間が鬼になるという特徴も同様である。1897年にアイルランド生まれのイギリスの作家ブラム・ストーカーが長

編小説『ドラキュラ』を書いたことで、有名になった吸血鬼（ヴァンパイア）である。吸血鬼の伝説は世界各地にあるが、特に東ヨーロッパからロシアにかけて居住するスラヴ民族の文化圏で数多く見られる。中世から18世紀にかけて様々な吸血鬼の伝承が、スラヴ文化圏の中でも特に文化の遅れた山間部で多く生まれたという。住民の無知と迷信深さ、相次ぐ戦争や天災など、生活環境の悪化や閉鎖的な社会の情報不足などが、吸血鬼現象を生み出した原因だと考えられている。そして、この東欧を中心とするスラヴ文化圏の民間伝承と、実在した残虐な人物が結びついて様々な吸血鬼の物語が生まれた。⁽¹⁷⁾ その中でも最も有名なのが15世紀中頃、現在のルーマニア南部であるワラキアの支配者であったヴラド・ツェペシュをモデルとした、ブラム・ストーカーの『ドラキュラ』なのである。⁽¹⁸⁾

「ドラキュラ」とは「ドラクル」の子という意味のルーマニア語であり、父であるワラキア公の綽名であった「ドラクル」は竜、または悪魔という意味である。父の名も同名のヴラドであったためにヴラド・ツェペシュと呼ばれるこのワラキア公は、父と同様に残虐で独裁政治を行い、敵である数千ものトルコ人捕虜の串刺し死体をトルコ軍の進撃路に置いたことでも知られている。そのため、「ツェペシュ（串刺し公）」「ドラキュラ（悪魔の子）」と綽名されるようになったのである。⁽¹⁹⁾

ブラム・ストーカーは、当時のイギリスから見れば秘境であった東ヨーロッパのトランシルヴァニアの山岳地帯を舞台に選び、その古城から19世紀末の大英帝国の首都ロンドンへとやってくる恐ろしい吸血鬼を、ヴラド・ツェペシュをモデルとして描いた。貴族らしい風貌と人間を襲う時の残虐性、そして襲われた人間が吸血鬼として蘇る姿の不気味さ等、現代の私たちが認識している吸血鬼の原型がそこに描かれている。⁽²⁰⁾ その凶暴さに満ちた不気味な力、帝王然とした吸血鬼の姿はすべての鬼たちを統べる鬼舞辻無残の造形に影響を与えていないだろうか。また、吸血鬼たちは当然ながら、人間の血に対する強い渴望があり、太陽の光には弱く、夜の闇の中でしか活動できない。そしてまた、特別な方法でしか殺せず、「善良で勇敢な男たち」⁽²¹⁾ が文字通り命がけで吸血鬼に立ち向かうこと、彼等の婚約者の女性が二人、ドラキュラに血を吸われて一人は完全な吸血鬼にされ滅んでしまうが、もう一人の女性は生き残って人間に戻ることに、吸血鬼に襲われた人間の症状の解明や吸血鬼退治に関して医学や薬学の関与があること等、『鬼滅の刃』における鬼の造形や鬼退治の方法、そして主人公竈門炭治郎の妹禰豆子の人物造形等に影響を与えたと思われる点が幾つも見られるのである。

しかし、紙面の都合上、ブラム・ストーカーの『ドラキュラ』等の吸血鬼の物語が『鬼滅の刃』に与えた影響に関しては別稿を期したい。ここでは鬼舞辻無残をはじめとする『鬼滅の刃』の鬼たちが、明らかに平安時代から存在する日本の鬼として描かれながらも、その一部に吸血鬼の特徴を備えていること、また『鬼滅の刃』において医学や薬学の知

識を駆使して、鬼に襲われた人間の治療を行ったり、鬼を滅ぼそうとする胡蝶しのぶや珠世、そして鬼狩りたちと同行する炭治郎の妹禰豆子の人物造形や鬼退治の方法等への『ドラキュラ』等の吸血鬼の物語からの影響を指摘するのに留めたい。そしてまた、鬼や吸血鬼が生まれ、盛んにその物語が語られる契機は日本であれ、東ヨーロッパであれ、天災や紛争、貧富の差の拡大等といった環境の悪化や、社会的な不安がその土壌となっていることも改めて指摘しておきたい。

III. 鬼を滅ぼす者たち

前節で触れたように、日本において鬼たちが闇の中を生き生きと跳梁し、様々な場所で次々と人間たちを襲い始めたのは、平安時代からであった。『今昔物語』には人間が様々な鬼たちに出会った物語が描かれているが、その中には鬼に喰われずに生き残った者の話や、鬼を撃退した人物の物語も描かれている。大別すると、知恵や仏法、陰陽師等の加護によって生き残った者たちと、武士や刀の力によって生き延びた者たちである。⁽²²⁾ もちろん、『鬼滅の刃』に影響を与えたのは明らかに武士による鬼退治であろう。『今昔物語』巻二十七にも、或る人の屋敷で、夜更けに鬼が板に化けてひらひらと飛び、太刀を持ち油断せずにいる二人の若侍は生き延び、油断して太刀・刀も持たずに眠りこけていた五位の侍が、鬼にぺしゃんこにされて殺されているのが発見されたという話がある。⁽²³⁾

後世になると「刀は武士の魂」とまで言われたが、侍と刀、そして鬼斬りの逸話は、武士の時代の到来と共に数多く生まれていくことになる。例えば『平家物語』巻第十一「剣の巻」で語られているのは、有名な「渡辺の源四郎綱鬼切る事」である。源家には古来、二つの名刀「鬚切」と「膝丸」が伝わっていた。円融・花山・一条・三条・後一条と五代の天皇に仕え、諸国守を歴任し、昇殿まで許された源頼光には四天王といわれる優れた家来がいた。そのうちの一人、渡辺綱が主命を帯びて夜更けに騎馬で一条堀川の戻橋を通りかかると、若く美しい女房に声をかけられる。これが実は鬼女であり、たちまちその本性を現して渡辺綱に襲いかかったので、綱はその手を斬り落としてしまった。その時に用いたのが、前述の名刀「鬚切」である。しかし、鬼女は渡辺綱の養母である伯母に化けて、その腕を取り返しに来る。⁽²⁴⁾

来し方、行く末の物語りして、「さても、物忌とは何事ぞ」とたづねければ、隠すべきことならねば、ありのままに語る。母、「さほどのこととは知らずして恨みしことのくやしさを。されども親はまぼりなれば、いよいよつつがなかるべし。さて、その鬼の手といふなるもの、世の物語に見ばや」とぞ望みける。綱は「見せじ」とは思

へども、さきの恨みが肝に染み、深く封じたる鬼の手を取り出し、養母に見せければ、「これはわが手ぞや」とて、おそろしげなる鬼になり、破風蹴破り、出でにけり。それより渡辺党は家に破風をたてず。あづまやにつくるなり。鬚切、鬼を切りてより「鬼丸」と改名しけり。⁽²⁵⁾

主君である源頼光も、渡辺綱も御伽草子の『酒伝童子絵』に描かれた近江の伊吹山の鬼退治でも有名な武将である。⁽²⁶⁾ この「渡辺の源四郎綱鬼切る事」も良く知られた逸話であり、謡曲にもうたわれている。鬼が腕を斬られて逃亡する様などは、正に『鬼滅の刃』の一場面を思わせるが、ここで指摘したいのは鬼と刀の縁の深さである。源家に伝わる名刀が鬼を斬ったという逸話により、「鬚切」から「鬼丸」に改名がなされている。このように名刀の保証として鬼との戦いが語られ、その名称にも影響を与えたのである。つまり、武士が戦う相手として、人間の敵だけでなく、人間以上の力や強さを持つ鬼も想定されていたこと、また武勇に優れた武士が名刀を振るえば鬼も斬れると信じられていたこと、もしくはそのように日本の古典では物語られて来たことを、ここでは確認しておきたい。

さて、繰り返しになるが『鬼滅の刃』の鬼たちは人間の目から見ればほぼ不死身であり、特別な訓練を受け、鬼に致命傷を与えることのできる唯一の武器である日輪刀を所持している鬼滅隊の隊士でなければ、到底立ち向かえるものではない。その鬼滅隊の隊士たちの中でもトップクラスの力を持つ剣士たちは「柱」と呼ばれており、それぞれの剣技における呼吸の方法により炎柱、水柱など九人の柱たちが存在している。それらの元になったのが戦国時代に現れた伝説的な剣士、継国縁壺の生み出した「日の呼吸（始まりの呼吸）」である。彼は唯一、鬼舞辻無残に消えない傷を負わせ、追い詰めることの出来た剣士であり、他の呼吸はすべてこの「日の呼吸」から派生した。そして、歴史の流れの中で途絶えかけた、「日の呼吸」を受け継ぐのが主人公竈門炭治郎なのである。

『鬼滅の刃』の舞台は、武士たちの時代が終わりを告げてから既に40年以上が経過した大正時代であるが、『鬼滅の刃』の物語の根底には密やかに武士の精神が息づいている。たとえば第45～47話で、隊務として鬼退治に出動する際にも鬼の妹を連れ歩いている炭治郎は、前代未聞であるとして、鬼殺隊のトップが集まる柱合会議で詮議されることになる。平安時代から鬼の討伐に尽力し、鬼殺隊を指揮する産屋敷家の当主耀哉は、鬼である禰豆子も、その妹を平気で連れ歩く炭治郎も断罪せよ、つまりは処刑せよといきり立つ柱たちを前に一通の手紙を読み上げる。それは、狭霧山で炭治郎に厳しい修行をさせ、一人前の剣士に育てあげた育手であり、元水柱である鱗滝左近次からの手紙であった。その手紙には、禰豆子が強い精神力で人としての理性を保ち、この2年間一度も人を襲っていないこと、もしも彼女が人を襲うようなことがあれば炭治郎だけで

なく、自分もそして最初に彼等を救った水柱の富岡義勇も責任を取って自刃すると書かれてあった。その言葉を聞いた炭治郎は涙し、禰豆子と共にすべての悪と人々の不幸の根源である鬼舞辻無残を倒すことを誓い、また禰豆子は風柱の不死川実弥の度重なる挑発にも乗らず、自ら人間を襲わない稀有な鬼であることを証明するのである。

鬼滅隊の「柱」もしくは「元柱」である二人が、もしも自分たちがその身を保証した禰豆子が人を襲った場合には、自刃して責任を取ると述べていることは注目に値する。「柱」たちは卓越した剣技で、人々を鬼たちから守ってきた。鬼と戦う鬼滅隊は常に夥しい犠牲者を出してきた。しかし、「柱」たちは違う。十二鬼月と呼ばれる、鬼舞辻無残の作り出した鬼たちの中でも最も強靱な者を一人でも倒すか、または鬼を五十体も屠らなければ「柱」にはなれない。その上、それだけの数の鬼を倒し人々を守りながらも、自らの進退だけでなく、自ら育てた弟子の行動までその命をかけて責任を持つというのである。

また、物語の終盤には、同様の理由で実際に命を絶った元柱も現れる。炭治郎の親しい仲間である我妻善逸の育手である元鳴柱、桑島慈悟郎である。雷の呼吸の優れた使い手であった彼は、引退してからも剣士たちを育て続け、善逸は「爺ちゃん」と呼んで大変慕っていた。しかし、兄弟子の猱岳は生き延びるため、より強くなるために鬼の誘惑に負け、上弦の鬼となってしまう。鬼を退治すべき雷の呼吸の使い手から鬼を出したという、その責任を取って桑島慈悟郎は自刃したのである。

このような元柱および柱たちの倫理観や身の処し方は、正に武士そのものであろう。『鬼滅の刃』の時代のほんの数十年前までは確かに武士たちは、「罪を償い、過ちを謝し、恥を免れ、友を贖い、もしくは自己の誠実を証明するために」切腹を行ってきた。⁽²⁷⁾ もちろん、炭焼きを生業としていた竈門家の長男である主人公の炭治郎をはじめ、鬼滅隊士たちの出自は様々である。しかし、鬼の首を斬り落とすことにこだわる退治方法は残虐というよりもむしろ、武士同士の戦いとその結果を、つまりは負けた者は首を取られるという事実を、再現しているように思われるのである。

歴史的に見ても、明治から大正へと移り変わる文明開化の時代にもまだ消え去ることなく、微かに武士の精神は生きていた。例えば、明治天皇の後を追って殉死した乃木大将の行為はあまりにも有名である。白樺派の文学青年たちはこの乃木大将の殉死を愚かな行為だと見做したが、明治元年や幕末生まれの作家達、すなわち夏目漱石と森鷗外は強い感銘を受け、漱石は名作『こゝろ』を、鷗外は歴史小説『興津弥五右衛門の遺書』『阿部一族』をそれぞれ著したのである。特に鷗外の作品には、前近代の社会を生きた人々が常に強くその胸に抱いていた武士道の精神に対する畏敬の念が感じられるのである。

また、命をかけて上弦の参の鬼、猱窩座から無限列車の乗客約二百人と炭治郎たち若手隊士を守りきった炎柱、煉獄杏寿郎の信念や行為もまた、武士道に則ったものであっ

たといえるだろう。煉獄家は代々、炎柱を輩出してきた家柄である。戦国時代に存在したという、始まりの呼吸の剣士たちの中にも既に炎柱はいた。幼少期は父である炎柱の手ほどきを受け、また絶えることなく続いてきた炎柱の三冊の指南書を読み込んで修行を重ね、彼はまだ十代の若さで炎柱となる。「弱き人を助けることは強く生まれた者の責務」であるという、正に武士道における仁を説く、亡き母の教えそのままに行動し、上弦の鬼との闘いの中で散っていった彼はまだ二十歳の若さであった。

以上のように『鬼滅の刃』には、大正時代には既に時代遅れとなっていた武士道の精神や、同様に前近代的である敵討ちの念を心に抱きながら、懸命に生きる鬼殺隊隊士やその周辺の人々と、自らの欲望のまま人間を踏みこむ鬼たちの姿が、実に対照的に描かれている。『鬼滅の刃』の鬼たちはすべて元人間である。ゆえに、鬼舞辻無残をはじめとする鬼たちは人間たちを襲い、その身を打ち砕き、その血肉を喰らいながらも、常に人間たちを誘惑する。鬼になれ、共に永遠の時を生きようと。それを受け入れるか拒絶するかで、もちろんその人間の人生は大きく変わっていく。たとえば、共に雷の呼吸を学んだ剣士である兄弟子の獺岳と同門の弟子の善逸、始まりの呼吸の剣士である継国縁壺と、その兄巖勝であった上弦の壺の鬼、黒死牟のように。一度は、共に武芸に励み、精進し、誰よりも近くにいた二人の歩む道は遠く隔たり、二度と交わることはない。そのような対照的な二人の弟子、兄弟、因縁の相手を描くことで、『鬼滅の刃』は、読者の私たちに様々な問いを投げかけてくる。

永遠と感じるような長い時を鬼のように、自らの欲望を遂げるために、恣に生きるのか。それとも限りある、制約の多い、辛く苦しい人生を精一杯生きるのか。鬼も人も死に瀕する時、自らの過去の人生を走馬燈のように見つめることになる。あの時、どの道を選べば良かったのか。人生において、いったい自分は何を望んで来たのか。そして、どのような生き方が本来、人の生きるべき道なのか、と。

IV. おわりに

第63話において上弦の鬼、猗窩座から闘いを挑まれ、死闘を繰り広げた煉獄杏寿郎は、正にその強さから武闘派である猗窩座に見込まれ、「永遠に戦い続けよう」「鬼になれ」と誘惑され続ける。しかし、煉獄はそれを固く拒絶して次のように語る。

老いることも死ぬことも、人間という儂い生き物の美しさだ。
老いるからこそ、死ぬからこそ、堪らなく愛おしく尊いのだ。

これは、通常的生活を送ってきた二十歳の青年の言葉ではない。明らかに心に大きな

傷と痛みを負った、大切な人の死を経験して来た者の言葉である。作中では母の早逝が語られているが、恐らくは炎柱として、多くの仲間たちの死を経験しながらも闘いつづけ、なお人間への深い愛情を失わなかったことが、この言葉からも、そして煉獄の最期からも看取できよう。産屋敷耀哉もその最期に「永遠というのは人の想いだ」と、千年も生き続ける鬼の始祖に向かって言い放つ。鬼を討とうとする、人々の想いが受け継がれ続けて、遂には無残を貫く刃となって行くのである。

つまり、『鬼滅の刃』において繰り返し描かれるのは残酷な鬼と鬼狩りたちの闘いではない。永遠に繋がるような人の想いや、その発露の瞬間を伝えるために、永遠の不条理であり、悪の象徴である鬼と戦い続ける人間たちの姿を描いているのである。

2020年の世界は、思ってもみなかった姿で私たちの前に現れた。コロナウィルスの大規模な感染は世界中を席捲し、私たちの誰もが今も感染や重病化への不安を抱えている。前述したように、鬼や吸血鬼といった人間の想像力から生まれた怪異や脅威は、常に天災・紛争・貧困といった環境の悪化とそれに伴う社会不安という土壌の中で育まれる。しかし、『鬼滅の刃』が生まれた土壌はコロナウィルスが席捲する暗い不安な世相であっても、その世界で生きる炭治郎たちが、私たちの心に未来と希望の光を届けてくれるだろう。

〔注〕

- (1) 『今昔物語』 卷二十七の主旨には「京都周辺の伝承を中心に広く霊怪譚を収録し、人間と超自然的靈性のかかり合いを多面的に写している」とある（新編 日本古典文学全集38『今昔物語集』 第4巻 小学館 平成14年3月）。馬場あき子も王朝時代の鬼の出現と撰閔政治との関わり合いを指摘し、『今昔物語』や『古今著聞集』等に描かれた惨事は鬼の存在を肯定する立場から描かれていると述べている（馬場あき子『鬼の研究』（谷川健一・大和岩雄編『民衆史の遺産 第2巻 鬼』 大和書房 平成24年7月）。
- (2) 『國史大辞典』 第2巻（吉川弘文館 昭和57年10月）
- (3) 同注（2）
- (4) 『日本書紀』 卷第二「神代 下」（新編 日本古典文学全集2『日本書紀』 第1巻 小学館 平成6年4月）
- (5) 『日本書紀』 卷第七「景行天皇」（新編 日本古典文学全集2『日本書紀』 第1巻 小学館 平成6年4月）
- (6) 同注（5）
- (7) 『出雲国風土記』 「大原の郡」（新編 日本古典文学全集5『風土記』 小学館 平成13年3月）
- (8) 『今昔物語』 卷二十七「本朝付霊鬼」（新編 日本古典文学全集38『今昔物語集』 第4巻 小学館 平成14年3月）
- (9) 同注（8）
- (10) 同注（8）
- (11) 『今昔物語』 卷二十九「本朝付悪行」（新編 日本古典文学全集38『今昔物語集』 第4巻 小学館 平成14年3月）
- (12) 同注（11）
- (13) 繁田信一 『殴り合う貴族たち』（文藝春秋 平成30年8月）
- (14) 馬場あき子『鬼の研究』（谷川健一・大和岩雄編『民衆史の遺産 第2巻 鬼』 大和書房 平成24年7月）
- (15) 同注（14）

- (16) 『酒伝童子絵』には、都の北にあたる伊吹の千町ヶ獄に鬼のすみかである岩屋があり、そこには美しい女の人たちが三十人あまりも、酒伝童子をはじめとする鬼たちによって都から攫われて、牢屋に閉じ込められている様子が描かれている。時々女性たちを取り出してはその生き血を酒として飲み、その肉を切って餌食としたという。なお、この鬼神の名は、「酒伝童子」「酒呑童子」「酒天童子」など、様々な漢字をあてて表されるという（新編日本古典文学全集第63巻『室町物語草子集』小学館 平成14年9月）。
- (17) 仁賀克雄『ドラキュラ誕生』（講談社 平成7年9月）
- (18) 同注（17）
- (19) 同注（17）
- (20) ブラム・ストーカー著 新妻昭彦・丹治愛訳『ドラキュラ【完訳詳注版】』（水星社 平成12年4月）
- (21) 同注（20）
- (22) 同注（8）
- (23) 同注（8）
- (24) 『平家物語』巻第十一「剣の巻 下」（新潮日本古典集成＜新装版＞『平家物語』下巻 新潮社 平成28年4月）
- (25) 同注（24）
- (26) 『酒伝童子絵』（新編日本古典文学全集第63巻『室町物語草子集』小学館 平成14年9月）。
- (27) 新渡戸稲造著・矢内原忠雄訳『武士道』（岩波書店 平成22年12月）

[附記] 『日本書紀』、『今昔物語』、『出雲国風土記』、『平家物語』からの引用に際し、旧字は新字に改め、ルビは適宜省略した。

執筆者紹介（掲載順）

- 橋本五郎 ノースアジア大学 客員教授
- 福岡政行 ノースアジア大学総合研究センター 客員教授
- 花田富二夫 ノースアジア大学経済学部 教授
- 光田基郎 ノースアジア大学経済学部 教授
- 瀧澤純 ノースアジア大学法学部 准教授
- 橋元志保 ノースアジア大学法学部 教授

総合研究 第9号

2021年（令和3年）3月31日発行

編集・発行 ノースアジア大学総合研究センター
秋田市下北手桜守沢46-1
TEL 018-836-6592 FAX 018-836-6530
URL <http://www.nau-grc.jp>

印刷 秋田活版印刷株式会社
秋田市寺内字三千刈110-1
電話 018-888-3500

General Research

The 9th issue

March, 2021

CONTENTS

Lectures

- Japanese politics in the Covid-19 pandemic Hashimoto Goro
 Politics, Diplomacy, Economy and Akita in Japan Before Olympic
 Fukuoka Masayuki
 Nothing and no one for Japanese problem Fukuoka Masayuki
 Corona shock and Restructuring shock of Suga Prime Minister
 –When is Dissolution and General Election– Fukuoka Masayuki

Articles

- Study of the Books for *Kanzen* in the early EDO period Hanada Fujio
 Theory of mind in adolescence: Effects of working memory,
 attentional inhibition and analogy use in story comprehension Mitsuda Motoo
 The effect of cognitive load on privileged information using in
 figurative judgment Takizawa Jun

Notes

- An Essay of *Kimetsu no Yaiba* from the Viewpoint of Life and Death
 Hashimoto Shiho

North Asia University General Research Institute
 Akita, Japan